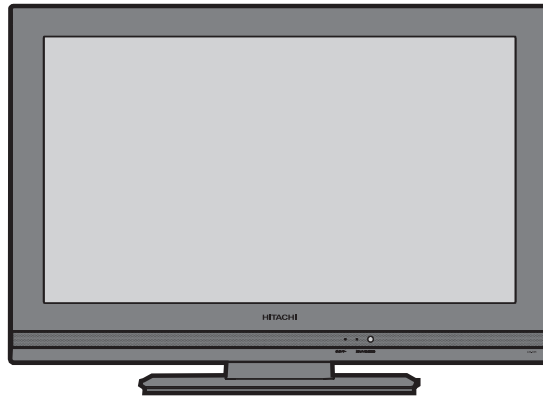
取扱説明書

日立液晶テレビ
(地上・BS・110度CSデジタルチューナー内蔵）

形名
L32-C05

このたびは日立液晶テレビをお求めいただき、ありがとうございました。

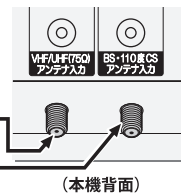
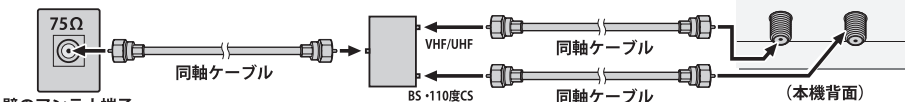
この取扱説明書に記載の「使用上のご注意」をお読みください。
本体の取扱いは、この取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。
取扱説明書と保証書は大切に保管してください。『保証書』は梱包箱の上部内側に添付されています。

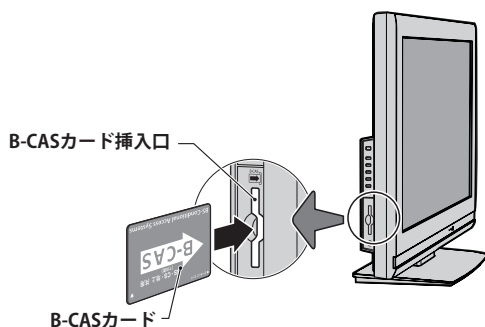
かんたん 操作ガイド

テレビを見るためには ...

1

アンテナ線を図のように配線します。

＊ UHF/ VHF アンテナが独立の時など、混合器の取り付けが必要な場合は、販売店にご相談ください。

＊ 110 度ＣＳ対応ＢＳデジタルアンテナを個別に設置して受信する場合は、アンテナのコンバーターへの電源供給が必要です。詳しくは 50 をご覧ください。

2

＊ B-CAS カードの、文字の向きが上下左右逆になりますが、そのまま挿入します。

テレビの電源プラグをコンセントに接続しない状態で、B-CAS カードを上の図のように差込みます。

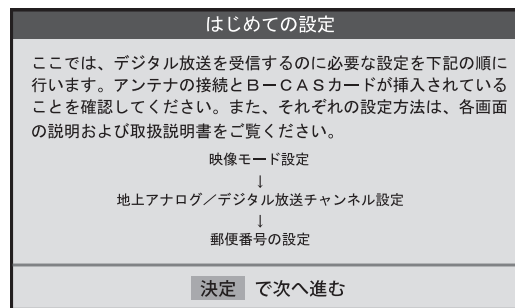
＊ B-CAS カードはデジタル放送の視聴や予約のために必要なカードです。

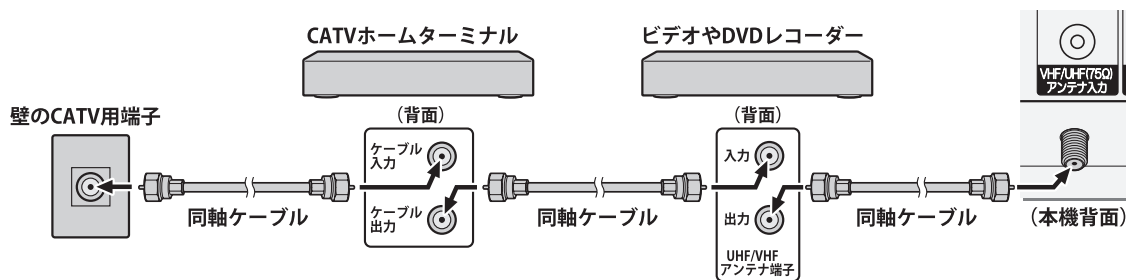
3

はじめての設定

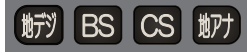
ここでは、デジタル放送を受信するのに必要な設定を下記の順に行います。アンテナの接続とＢ－ＣＡＳカードが挿入されていることを確認してください。また、それぞれの設定方法は、各画面の説明および取扱説明書をご覧ください。

映像モード設定
↓
地上アナログ／デジタル放送チャンネル設定
↓
郵便番号の設定

決定 で次へ進む

テレビの電源プラグをコンセントに接続し、本体の電源を ON にして画面の「はじめての設定」のガイドに従って設定してください。

CATV (ケーブルテレビ) をご利用のとき

● CATV ホームターミナルによっては端子の名称が異なる場合があります。接続方法や、 地上デジタル放送の視聴についてなど、詳しくは、ケーブルテレビ会社にご相談ください。

1 「電源」ボタンを押します。

2 ご覧になりたい放送波を選びます。

3 ご覧になりたいチャンネルを選びます。

4 音量を調節します。

1 電源

2 地デジ BS CS 地アナ

3 1〜12

4 音量

音声を一時的に消します。元に戻したいときはもう一度押します。（消音）

DVD レコーダーやゲーム機などの接続している周辺機器を選びます。（入力切換）

チャンネルを順または逆送りで選びます。（チャンネル）

3 桁のチャンネル番号を直接入力して選局できます。（地上デジタル、BS デジタル、CS デジタル放送、CATV）（Ch番号入力）

電子番組表 (EPG) を呼び出すことができます。（デジタル放送のみ）（番組表）

メニュー画面を呼び出し、画質や音声などいろいろな設定を変更することができます。（メニュー）

設定の途中で、前のメニュー画面に戻るときに使います。(状態によっては戻れない場合もあります)（戻る）

データ放送の画面を表示します。（連動データ）

チャンネル番号などの情報がテレビの画面に表示されます。（画面表示）

2 ヶ国語放送の外国語やドラマの副音声などを聞きたい時に使います。（音声切換）

映像が静止します。元に戻したいときはもう一度押します。（静止）

消音 入力切換 番組表 Ch番号入力 決定 メニュー 戻る 青 赤 緑 黄 連動データ 静止 音声切換 画面表示 デジタルテレビ HITACHI C-RV1

視聴予約をする

①「番組表」ボタンを押します。
番組表
視聴予約された番組です。
選択中の番組のタイトルを表示します。
カーソルボタン で番組を選択し「決定」ボタンで番組の詳しい説明を見たり、視聴予約ができます。
日付を切り換えます。
番組表の文字のサイズなどを変更することができます。
② 視聴予約したい番組を選択して、決定ボタンを押します。
③ 視聴予約完了です。
電源が「入」の状態で番組開始時刻になると、チャンネルが自動で切り換わり、受信が始まります。
番組説明
韓国ドラマ「太陽をのみ込め」第9話 愛する資格
9 BS 191 WOWOW
2010/ 8/ 6(金) PM 7:00~PM 8:06
テレビ HD:1080i 16:9 ステレオ
光デジタルコピー1 アナログコピー可 ダビング
＜番組概要＞
＜放送局名＞
WOWOW
＜番組詳細情報＞
詳細情報を取得していません
視聴予約をする
番組表に戻る
で選択 決定 を押す 戻る で前画面 黄 で詳細情報取得
予約を設定しました。
決定 を押す
電源
地デジ BS CS 地アナ
番組表 Ch番号入力
決定
メニュー 戻る
青 赤 緑 黄
連動データ 静止 音声切換 画面表示
デジタルテレビ
HITACHI
C-RV1

準備編もくじ

この取扱説明書内のマークの見かた

参照していただきたい情報が記載されているページの番号を示しています。

機能などの補足説明、参考にしていただきたいこと、制限事項などを記載しています。

取扱上のお願いを記載しています。

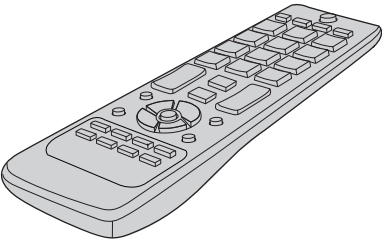
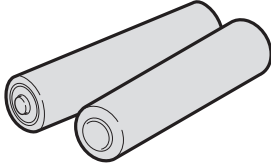
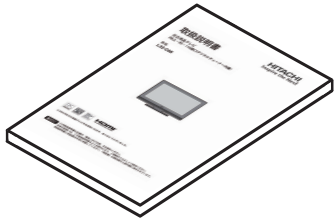
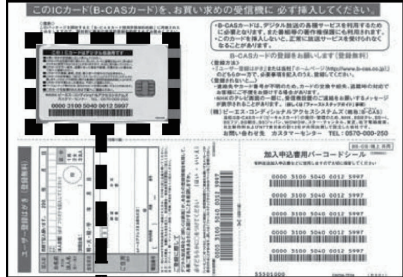
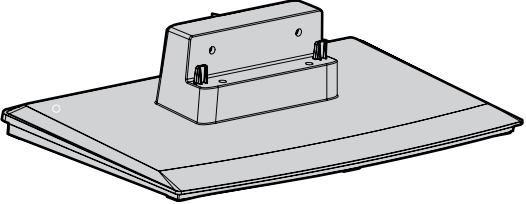
取扱上のご注意を記載しています。

操作編もくじ

本機の特長

地上デジタル放送受信

※ 地上デジタル放送で本機が受信できるのは、ご家庭のテレビで受信する固定受信サービスと車などでの受信も考えた移動体受信サービスです。(本機は車両や船舶などに搭載しての使用を意図していません)
携帯電話などで受信できる部分受信サービス（ワンセグ）は、受信できません。
また、地上デジタル音声放送は受信できません。

番組表機能を搭載

● 6 チャンネル 5 時間分（" マルチ表示 " と "1CH 表示 " 表示も選択可能）の番組表を一度に表示し、見たい番組を探すことができます。

オンタイマー搭載

● 設定した時刻に、設定されたチャンネルと音量で、自動的に本機の電源を入れることができます。91☞
※ オンタイマー機能は、地上デジタル放送の時刻情報を利用しています。

付属品

● 本機には以下の付属品があります。お確かめください。
● アンテナや外部機器などに接続するためのケーブルやコード、器具・機器などは付属されておりません。機器の配置や端子の形状、使用環境などに合わせて適切な市販品を別途お買い求めください。

付属品／名称	付属数
リモコン	1 個
単四形乾電池（R03）	2 本
クリップ ● 柱や丈夫な壁などに転倒防止の処置をするのに使います。 27	1 個

付属品／名称	付属数
取扱説明書	1 部
B-CAS（ビーキャス）カード B-CAS カード	1 枚
スタンド	1 個
スタンド取付ネジ (付属品袋の中にはいっています）	4 本

使用上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示について

	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷＊[1]を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷＊[2]を負う可能性が想定される内容および物的損害＊[3]のみの発生が想定される内容を示しています。

※1：重傷とは失明や、けが、やけど（高温・低温)、感電、骨折、中毒など後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさしています。
※2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをさしています。
※3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさしています。

図記号の例

気をつけなければならない。「注意」を示します。

感電に気をつけなければならない。「感電注意」を示します。

してはいけない。「禁止」を示します。

必ず行う。「強制」を示します。

使用上のご注意　つづき

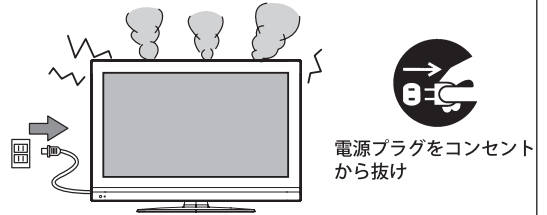
安全上のご注意

● イラストはイメージであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

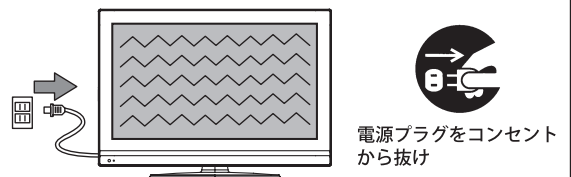
異常や故障のとき

⚠警告

■ **煙が出ている、へんなにおいや音がするときは、すぐに本機の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く**

異常のまま使用すると、
火災・感電の原因となります。
煙が出なくなることを確認して
販売店に修理をご依頼ください。

⚠注意

■ **画面が映らない、音が出ないなどの故障の場合には、すぐに本機の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く**

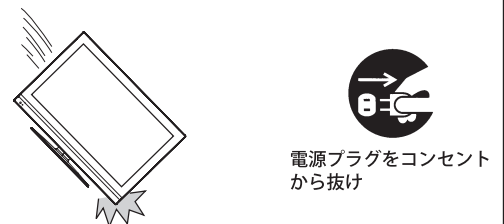
それから販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると
火災・感電の原因となります

電源プラグをコンセント
から抜け

■ **内部に水や異物などが入った場合は、すぐに本機の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く**

それから販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
特に小さなお子様がいるご家庭ではご注意ください。

電源プラグをコンセント
から抜け

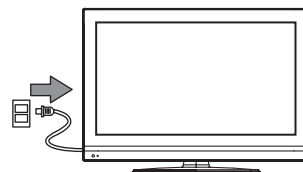
■ **本機を落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに本機の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く**

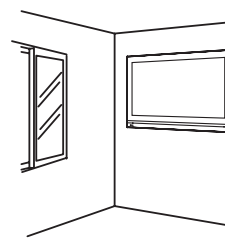
それから販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります

電源プラグをコンセント
から抜け

設置するとき

⚠警告

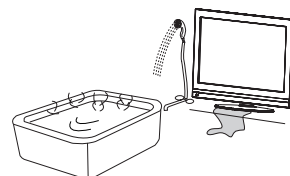
■ 電源プラグをすぐに抜くことができるように本機を据え付ける

本機が異常や故障となったとき、
電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと、
火災・感電の原因となることがあります。
本機は電源スイッチが「切」の状態でも、微弱な電流が流れています。

■ 壁に取り付ける場合は、必ず別売の専用の壁掛け金具を使用し、専門の業者に依頼する

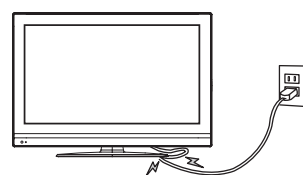
専門業者以外の人が壁掛け金具を使用して設置すると、
壁への取り付けがもろい場合に、本機が落下し、
打撲や骨折など大けがの原因となります。

■ ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない

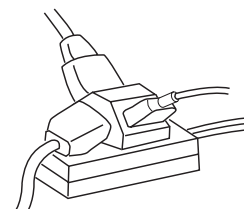
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■ 風呂、シャワー室では使用しない

火災・感電の原因となります。

風呂場やシャワー室での使用禁止

■ 電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない

コードに傷が付いて、火災・感電の原因となります。
コードを敷物などで覆ってしまうと、
気付かずに重い物をのせてしまうことがあります。

■ コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流 100V（50/60Hz）以外では使用しない

●たこ足配線など、定格を超えると発熱により、
　火災・感電の原因となります。
●表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります

■ 湿気やほこりの多い場所、調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所やエアコンの下など、水滴が落ちる場合のある場所に置かない

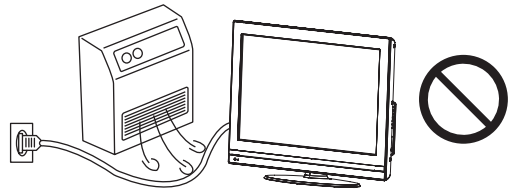
火災・感電の原因となることがあります。

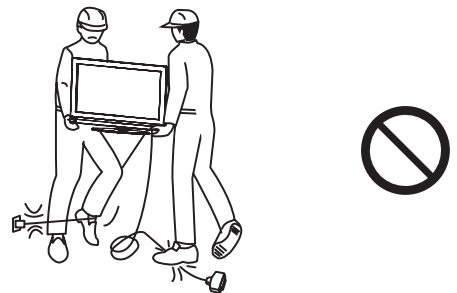
使用上のご注意　つづき

設置するとき (つづき)

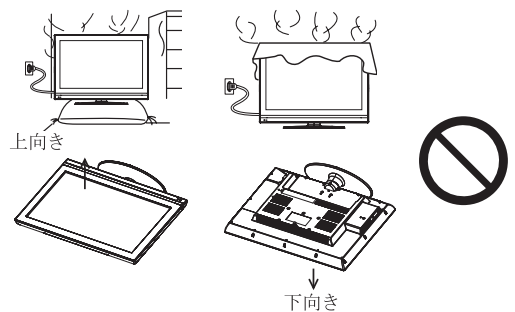
⚠注意

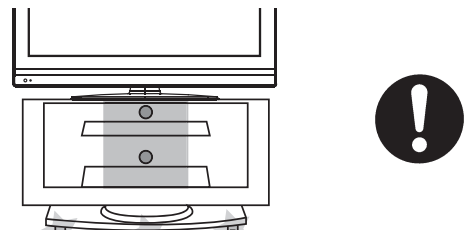
■ 電源コードを熱器具に近づけない

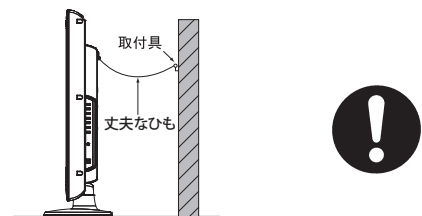
コードの被ふくが溶けて、
火災・感電の原因となることがあります。

■ 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く

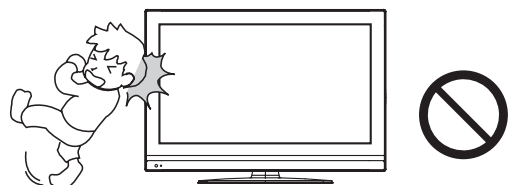
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- ● アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。
- ● 本機は質量が大きく奥行きが無くて不安定なため、一人で作業をすると思わぬけがの原因になります。

■ 本機の通風孔をふさがない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。
また、本機の設置は、壁から左右 10cm 以上、
上部は 30cm 以上離す。(壁掛け設置をする場合は除く)

特に次のような使い方はしない。故障の原因となります。
- ● 本機を上向きや横倒し、下向きにする。
- ● 押入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
- ● じゅうたんや布団の上に置く。
- ● テーブルクロスなどを掛ける。

■ キャスター付きテレビ台に本機を設置する場合にはキャスター止めをする

動いて思わぬけがの原因となることがあります。

■ 転倒防止の処置を行なう

テレビが転倒し、けがの原因となることがあります。

■ 本機を頭や顔、手足などをぶつけるような場所に設置しない

けがの原因になることがあります。
特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- ● 壁掛け・天吊り据え付け時には、頭などをぶつけることのないように、取り付けの高さにご注意ください。

⚠注意

■ 本機を医療機器の近く（同部屋）には設置しないでください

医療機器の誤動作の原因となることがあります。

■ アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください

● 送配電線から離れた場所に設置する。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。
● BS、CS 放送受信用アンテナは、強風の影響を受けやすいので、堅固に取り付ける。

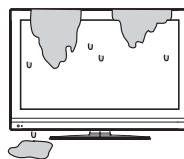
使用するとき

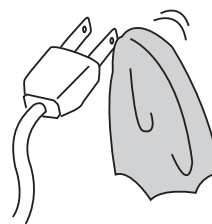
⚠警告

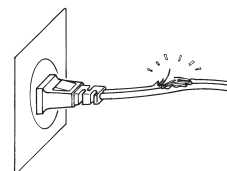
■ 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器を置かない

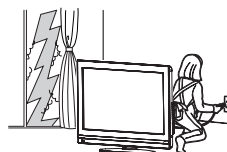
こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ 本機に水をこぼしたり、ぬらしたりしない

火災・感電の原因となります。
● 雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

■ 電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
定期的（年に 1 回くらい）に清掃してください

■ 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない

コードが破損して、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。

■ 雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグには触れない

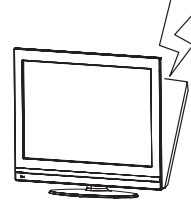
感電の原因となります。

使用上のご注意　つづき

使用するとき　（つづき）

⚠注意

■ 本機の裏ぶた、前面枠、カバーは外さない、本機を改造しない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

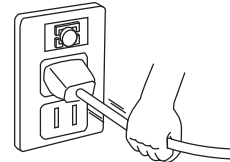
分解禁止

■ 前面パネルには、絶対に衝撃を加えない

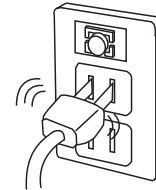
本機の前面パネルをたたくなどして衝撃を加えるとパネルが割れ、
火災・けがの原因となります。

■ 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと発熱したり、
ほこりが付着して火災の原因となることがあります。
また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

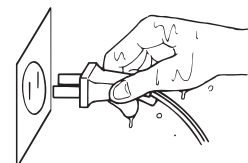
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

■ 電源プラグは根元まで差し込んでも ゆるみがあるコンセントに接続しない

発熱して火災の原因となることがあります。
販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

■ 本機に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

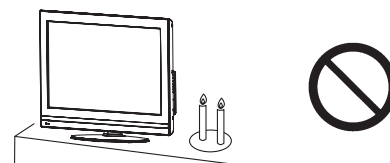
■ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

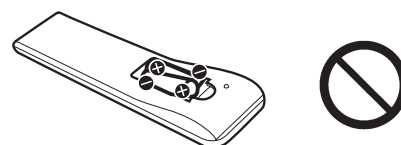
感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

使用するとき （つづき）

⚠注意

■ 機器の近くにロウソクなどの裸火を置かない

火災・感電の原因となることがあります。

■ 間違った電池の使い方をしない

●乾電池は充電しない。
●指定以外の電池は使用しない。
●新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
●極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意し、表示どおりに入れる。
電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■ 本機の上に重い物を置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下して、
けがの原因となることがあります。

■ 旅行などで長時間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く

火災の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜け

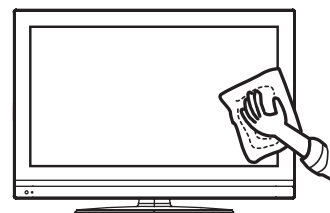
お手入れするとき

■ お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜け

■ 前面枠およびスタンド上面のお手入れには、ネルなどの柔らかい布をお使いください。

前面枠の光沢部分は傷が付き易いので、
お手入れの際には必ずネルなどの柔らかい布をお使いください。
ほこりのついた布や硬い布で拭くと傷がつく恐れがあります。

使用上のご注意　つづき

お手入れするとき　(つづき)

■ 年に一度くらいは、内部の掃除を販売店などにご相談ください

本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。

お守りください

■ 高温になるところに置かないでください

前面枠、バックカバーやその他の部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。
●直射日光や熱器具の近くなど。

■ 平坦で安定する場所に設置してください

● テレビをフローリングに直接床置きすることはさけてください。フローリングの材質・表面状 態によっては床面とスタンドのスベリ止めが強く密着し、テレビを持ち上げた際、フローリングの表面がはがれる場合があります。

● 故障の原因となるため、設置場所は十分な耐荷重強度のある、平坦で安定した場所を選んでください。（傾斜面や、カーペット・畳などの安定しない面、変形する面などに設置しないでください。）

■ 超音波式加湿器のそばに置かないで下さい

超音波式加湿器をご使用の場合、水質によっては水道水に含まれるカルキやミネラル成分がそのまま霧化され、テレビ内部に白い粉状のものが入り込んで画面の隅が暗くなったり、色ムラ状に見える場合があります。あるいは故障の原因になる恐れがありますのでご注意下さい。

■ パネルを押したり、物をぶつけたりしないでください

液晶パネル表面には保護ガラスがありません。指・手などで押したり物をぶつけると、液晶セル・ガラスが破損し、故障やけがの原因となります。

■ B-CAS カード挿入口に異物を挿入しないでください

B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。また、コインなどの金属物や異物を挿入しないでください。故障や破損の原因となります。

■ パネルのお手入れは、柔らかい布で拭いてください

● 本機のパネル表面は、特殊なフィルムやコーティングが施されています。お手入れの際には、柔らかい布（綿・ネル等）で軽く乾拭きしてください。
● 硬い布で拭いたり、強く擦ったりしますと、パネル表面のフィルムや特殊コーティングが傷付きますのでご注意ください。
● 指紋など油脂類の汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に柔らかい布をひたしよく絞ってからふき取り、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
● ガラス用クリーナーやスプレー式のクリーナーは、パネル表面が変質したり、フィルムや特殊コーティングがはがれたり、内部に侵入し、故障の原因になる恐れがあるので、使用しないでください。
● 化学ぞうきんやアルコール、ベンジン、シンナー、酸性 / アルカリ性 / 研磨剤入り洗浄剤などは、その成分により、パネル表面が変質したり、フィルムや特殊コーティングがはがれたり、変色する恐れがありますので、ご使用にならないでください。

■ 前面枠やバックカバー、スタンド上面のお手入れの際、ベンジン、シンナーなどは使用しないでください

● 前面枠やバックカバーの表面、スタンド上面をベンジン、シンナーなどでふいたり、殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはがれるなどの原因となります。
● 化学ぞうきんは、前面枠やバックカバー、スタンド上面が変質する原因となりますのでご使用にならないでください。
● 前面枠や操作パネル部分およびスタンド上面の汚れは、ネルなどの柔らかい布で軽くふき取ってください。

汚れがひどいときには、水で薄めた中性洗剤に布をひたしよく絞ってからふき取り、乾いた布で仕上げてください。

特に、次の洗剤などは亀裂や変色、傷付きの原因となりますので使用しないでください。

・酸・アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、みがき粉、粉石鹸、OA クリーナー、カーワックス、ガラスクリーナー類、化学ぞうきんなど

● 前面枠およびスタンド上面の光沢部分は、傷が目立ちやすいので、お手入れ、お取扱いには特にご注意願います。

■ 輸送する場合は、必ず本機用の梱包箱・クッションをご使用ください

● 引越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱包箱とクッション材をご使用ください。

● 横倒しでの輸送はしないでください。パネルが破損する、または面欠点が増加する可能性があります。

■ 乾電池を廃棄する場合は、プラス・マイナス端子に絶縁テープを貼るなどして絶縁状態にしてから「所在自治体の指示」に従って廃棄してください

他の金属片等導電性のあるものと一緒に廃棄したりするとショートして、発火、破裂の原因となることがあります。

■ 本機および本機の破片、付属品を廃棄するときは、必ず、販売店にご相談ください

■ テレビをご覧になるときは、適度な距離と明るさでご覧ください

● 画面の縦の長さの 3 ～ 7 倍離れた場所でご覧になれば、見やすくて目が疲れにくくなります。

● 暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。

● 長時間連続して画面を見ていると目が疲れます。時々、画面から離れて目を休めてください。

■ 適度な音量で隣り近所へ配慮してください

特に夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを利用したりして、隣り近所に対し十分の配慮をして、生活環境を守りましょう。

■ スピーカー部のお手入れは布を使用しないでください

スピーカー部には小さな穴が開いており、布で拭くとほこりがセットの中に入ってしまいます。お手入れの際は先端に柔らかなブラシのついた掃除機で軽く吸い取って下さい。

使用上のご注意 つづき

お知らせ

■面欠点について

パネルは、精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部に欠点（光らない点）や輝点（余計に光る点）が存在する場合があります。これは故障ではありません。

■残像について

静止画（画面表示、放送局側から送られる時刻表示など）やメニュー表示を短時間（約 1 分程度）表示し、映像内容が変わったときに前の静止画が残像として見えることがありますが、自然に回復します。故障ではありません。

■低温度環境での使用について

液晶の特性により、周囲の温度が下がるにつれ液晶の応答速度が遅くなり、映像が残像として見えることがありますが、故障ではありません。常温環境下に戻し、しばらくすると回復します。

■パネル表面温度について

液晶テレビは、内蔵している蛍光ランプを点灯させることにより映像を表示しています。そのため、液晶パネルの表面温度が高くなる場合があります。

■本機の温度について

本機は、長時間使用したときなどに、上部やパネル表面が熱くなる場合があります。手で触れると熱く感じる場合もありますが、故障ではありません。また、熱で変形しやすいもの（オーディオテープ、ビデオテープなど）を上に置かないでください。

■パネル駆動音について

視聴中に、「ジー」というパネルの駆動音が聞こえることがありますが、故障ではありません。

■インターネットへの接続について

地上・BS デジタル放送では、インターネット網への接続により、さらに多様な双方向データサービスを利用することができます。本機で、このサービスを利用するには、常時接続の回線業者やインターネットサービスプロバイダーとの契約が必要です。インターネット網への接続をしていないと、双方向データサービスを利用できない場合があります。

■本機の電源プラグは常時コンセントに接続しておいてください

長期間留守にされる場合や本機に異常が発生したとき以外は、テレビの電源プラグをコンセントから抜いたままにしないでください。本機は電源オフ（スタンバイ）状態でも、自動的にデジタル放送の情報を受信したり、視聴記録の送信を行ったりする場合があります。

■ダウンロードについて

放送運用などに変更が生じた場合、本機のソフトウェアを更新して対応させるために、放送によるダウンロードサービスを行ないます。このサービスを受けるには、ご使用にならないときは、リモコンで電源を切った状態にしておくことをお勧めします。本体の電源スイッチで電源を「切」にしたり､電源プラグを抜いた場合はこのサービスを受けられません。

■天候不良によって、画質、音質が悪くなる場合があります

雨の影響により衛星からの電波が弱くなっている場合は、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えられます。（降雨対応放送が行われている場合）降雨対応放送に切り換えられるときは、画面にメッセージが表示されます。

降雨対応放送では、画質や音質が少し悪くなります。また、番組情報も表示できない場合があります。

■ 110 度CS デジタル放送をご覧になるには

110 度CS デジタル放送に対応したアンテナが必要です。また、ブースターや分配器などをご使用の場合は、2150MHz またはそれ以上の周波数対応の伝送機器が必要です。詳しくは販売店にご相談ください。

■アンテナの点検・交換について

アンテナは風雨にさらされるため、美しい画像でお楽しみ頂くためにも点検・交換することをおすすめします。

特に、煤煙の多い所、潮風にさらされる所では、アンテナが早く傷みますので、映りが悪くなった場合は、販売店にご相談ください。

■操作できなくなったときは

受信異常などにより操作ができなくなった場合は、本体の主電源ボタンで電源を「切」にし、スタンバイ／受像ランプ消灯後、再度主電源ボタンを押してください。

■ラジオについて

本機の近くでラジオを使用しますと、ラジオの音声に雑音が入る場合があります。本機より離してご使用ください。

■本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください

本機の受信周波数帯域（470MHz ～ 2072MHz）に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。また、アンテナの接続時にアンテナケーブルや分配器、分波器などの機器を使用する場合は、共聴用のものをご使用ください。

■赤外線通信機器について

赤外線コードレスマイクや赤外線コードレスヘッドホンなどの通信機器は、通信障害により、使用できない場合があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

■本機に記憶される個人情報などについて

● 本機には、放送局とデータの送受信を行うために入力したお客様の個人情報が記録されます。本機を廃棄、譲渡等する場合には「設定の初期化」66 を実施して、本機内のメモリーに記録されているデータを消去することを強くお勧めします。

● お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気などのノイズの影響を受けたとき、または故障、修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータなどが変化、消失する恐れがあります。これらの場合の損害や不利益について、当社は何ら責任を負うものではありません。

ライセンス等について

■ HDMI、HDMI ロゴおよび High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing、LLC の商標または登録商標です。

■ 本製品は、株式会社 ACCESS の NetFrontBrowser を搭載しています。

ACCESS™ NetFront®

ACCESS、NetFront は、日本国およびその他の国における株式会社 ACCESS の商標または登録商標です。

本製品の一部分に Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。

留意点

■ 付属の B-CAS（ビーキャス）カードは、デジタル放送を視聴していただくために、お客様へ貸与された大切なカードです。破損や紛失などの場合は、ただちに B-CAS（ビーキャス）「（株）ビーエス・コンディショナル アクセス システムズ」カスタマーセンターへご連絡ください。お客様の責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。

■ 国外でこの製品を使用して有料放送サービスを享受することは、有料サービス契約上禁止されています。

■ この説明書に記載の画面イラストは、実際に表示される画面と異なる場合があります。チャンネル番号、チャンネル名、番組名などを含め、実際に表示される内容については画面でご確認ください。

■ 本機の仕様および機能などは、ダウンロードなどにより変更することがあります。

■ ダウンロードとは、デジタル放送を受信してダウンロードデータを取り込み、本機のプログラムを最新のものに書き換える機能です。お買上げ時は「自動ダウンロード」を「する」で行なう設定になっています。「しない」設定にもできますが、最新のプログラムでお楽しみいただくため、通常は「する」の設定でご使用ください。

使用上のお願いとご注意

取扱いについて

- ご使用中、製品本体で熱くなる部分がありますので、ご注意ください。
- 本機に殺虫剤シンナー、ベンジンなど、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 電源プラグは非常時と長期間ご使用にならないとき以外は、常時コンセントに接続してください。（番組情報を取得するためです）
- 外部入力（ビデオ入力 1，2、HDMI 入力 1，2）の映像や音声には若干の遅れが生じます。以下の場合にはこの遅れによる違和感を感じることがあります。
  - ゲーム、カラオケなどを接続して楽しむ場合
  - DVD やビデオなどの音声を、直接 AV アンプなどの外部機器に接続して視聴する場合

蛍光管について

- 本機内部に使用している蛍光管には寿命があります。画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しなくなったりしたときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

本機を廃棄、または他の人に譲渡するとき

- 「すべての初期化」66をして、暗証番号（お客様が本機に記憶させた住所・氏名などの個人情報）なども含めて、初期化することをおすすめします。
- B-CAS（ビーキャス）カードの登録廃止、登録名義変更などについては、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにお問い合わせください。
  お問い合わせ先：
  カスタマーセンター　TEL.0570-000-250
- **一般の廃棄物といっしょにしないでください。**
  ごみ廃棄場で処分されるごみの中にテレビを捨てないでください。
  廃棄の際は、家電リサイクル法に従ってください。

免責事項について

- 地震・雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 他の接続機器との組合せによる誤動作や動作不能、誤操作などから生じた損害（録画機器などの故障、録画内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 誤操作や静電気などのノイズによって本機に記憶されたデータなどが変化・消失することがあります。これらの場合について、当社は一切の責任を負いません。
- 故障・修理のときなどに、データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部あるいはすべてが変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

たいせつなお知らせ

デジタル放送の番組情報取得について

● 番組情報を取得するために、番組情報取得設定（92）を「取得する」にして、毎日2時間以上本機の電源を「切」または「待機」にしておくことをおすすめします。

- デジタル放送では、番組情報（番組名や放送時間など）が放送電波の中にはいって送られてきます。
  本機は、電源が「切」または「待機」のときに番組情報を自動的に取得して、番組表表示や予約などに使用します。電源が「入」のときにも番組情報は取得しますが、視聴中のデジタル放送以外の放送の番組情報は取得できない場合があります。（デジタル放送の種類や本機のご使用状態によって、取得できる内容は異なります）
- 電源プラグを抜いている場合、および番組情報取得設定（92）を「取得しない」に設定している場合には、番組情報は取得できません。番組情報が取得できていない場合には、番組表が正しく表示されなかったり、視聴予約などができなかったりすることがあります。

お問い合わせ先について

● 受信契約など放送受信については、各放送事業者にお問い合わせください。

同梱のB-CAS（ビーキャス）カードについて

● B-CASカードは、常に本体に挿入しておいてください。28
※ B-CASカードは、デジタル放送の受信に必要です。
B-CASカードの登録や取扱いの詳細は、カードが貼ってある説明書をご覧ください。
● カードの破損、紛失、盗難などの場合、および本機の廃棄などでカードが不要となった場合などは、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにご連絡ください。
お問い合わせ先：カスタマーセンター　TEL.0570-000-250

HDMI連動機能 46 について

● 本機にHDMI機器を接続した場合に、本機がHDMI連動機能対応機器として認識し、一部の連動操作ができることがありますが、その動作については保証いたしかねます。

本機の現在時刻の表示（71の図を参照）について

● デジタル放送を視聴していない場合は、現在時刻表示のずれが大きくなる場合があります。
本機は、デジタル放送から現在時刻を取得しています。

取扱説明書について

● 記載されているテレビ画面表示は、実際に表示される画面と文章表現などが異なる場合があります。画面表示については実際のテレビ画面でご確認ください。
● 受信画面の図などに記載されている番組名などは架空のものです。
● 記載されている機能の中には、放送サービス側がその運用をしていない場合には使用できないものがあります。
● 画面に表示されるアイコン（絵文字や絵記号）については、「アイコン一覧」（95）をご覧ください。
● 画面表示、リモコンの操作ボタン名などでは、以下の略語を使用しています。

略　語	意　味
デジタル放送	地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送
地上アナログ、地アナ	地上アナログ放送
地上デジタル、地デジ	地上デジタル放送
BS	BSデジタル放送
110度CS、CS	110度CSデジタル放送

ソフトウェアの更新について

● お買い上げ後、より快適な環境でお使いいただくために、本機内部のソフトウェア（制御プログラム）を更新する場合があります。
本機の自動ダウンロード機能を「する」の状態に設定しておくと、放送電波で送られるソフトウェアを本機が受信し、自動的にソフトウェアを更新することができます。（お買い上げ時は、「する」の状態に設定されています）
ソフトウェアの更新や自動ダウンロードについては、93 をご覧ください。

放送、通信サービスについて

● 放送や通信サービスは、お客さまへの予告なしに、放送事業者や通信事業者などによって一時的に中断したり、内容が変更されたり、サービス自体が終了されたりする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

各部のなまえ

● イラストは、見やすくするために誇張、省略しており、実際とは多少異なります。

● 詳しくは ☞ 内のページをご覧ください。（代表的なページを示しています）

前面

背面

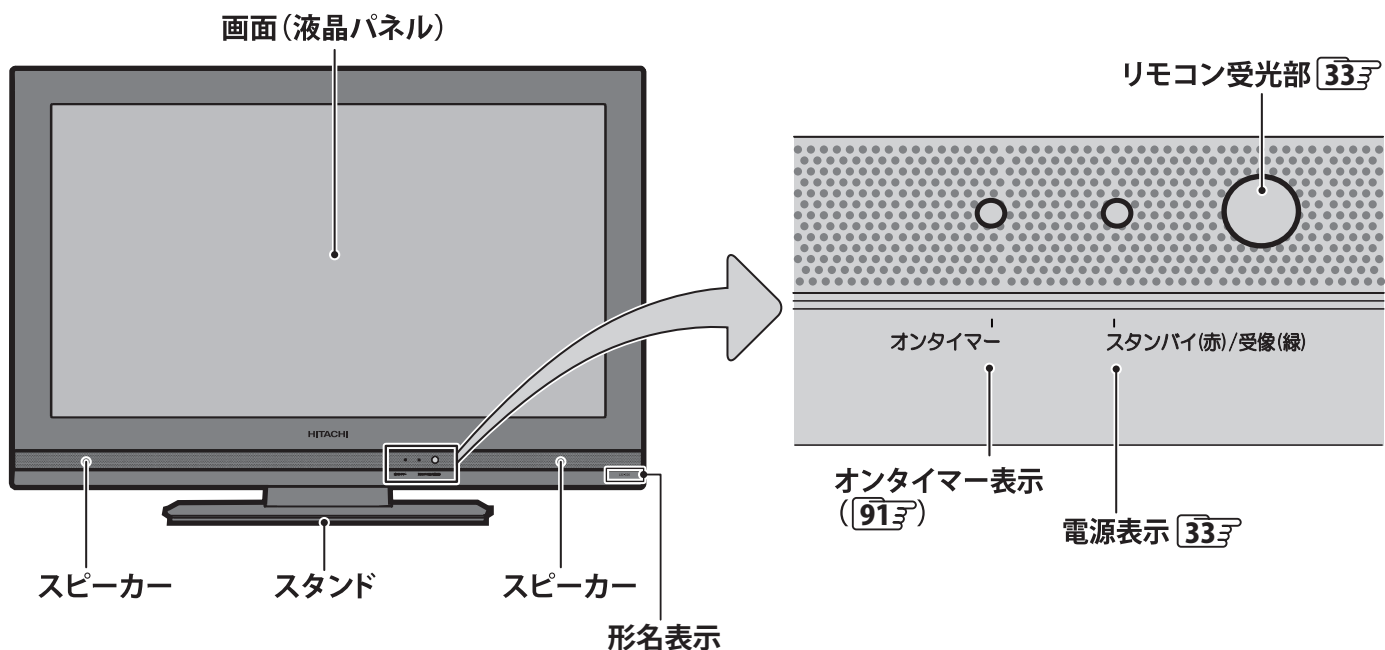
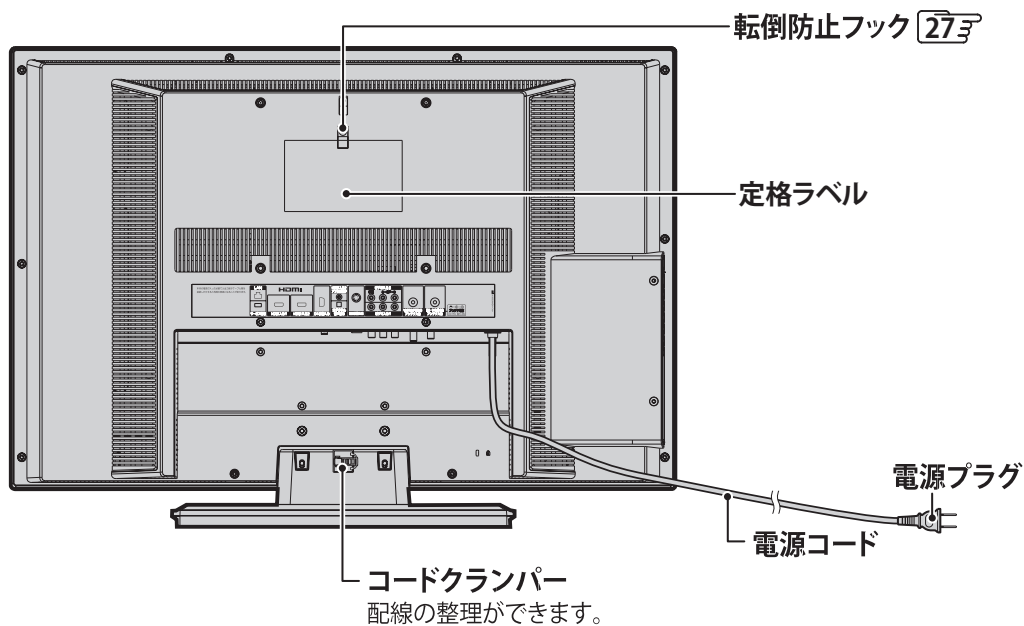
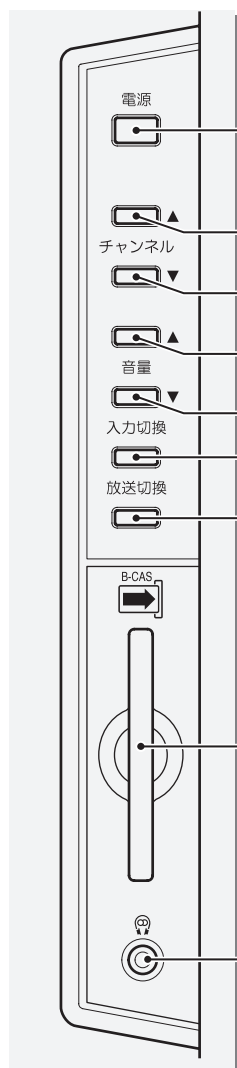
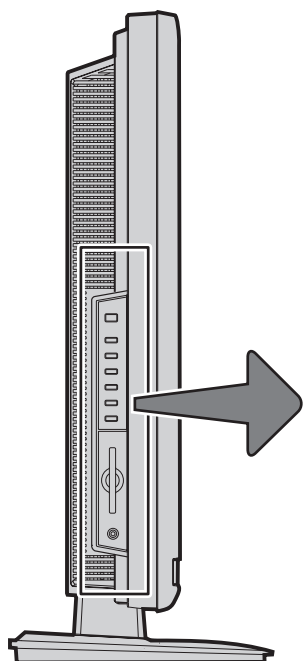
転倒防止フック 27

定格ラベル

電源プラグ

電源コード

コードクランパー
配線の整理ができます。

❶ ❷

左側面

電源 33

• 電源を「入」、「切」にします。

チャンネル ▲·▼（アップ·ダウン）

• チャンネルを順に切り換えます。

音量 ▲·▼

• 音量を調節します。

入力切換

• 入力を順に切り換えます。

放送切換

• 放送の種類を切り換えます。

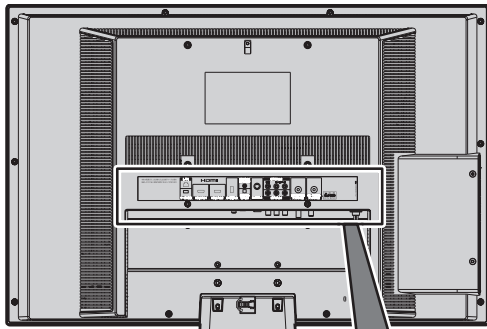
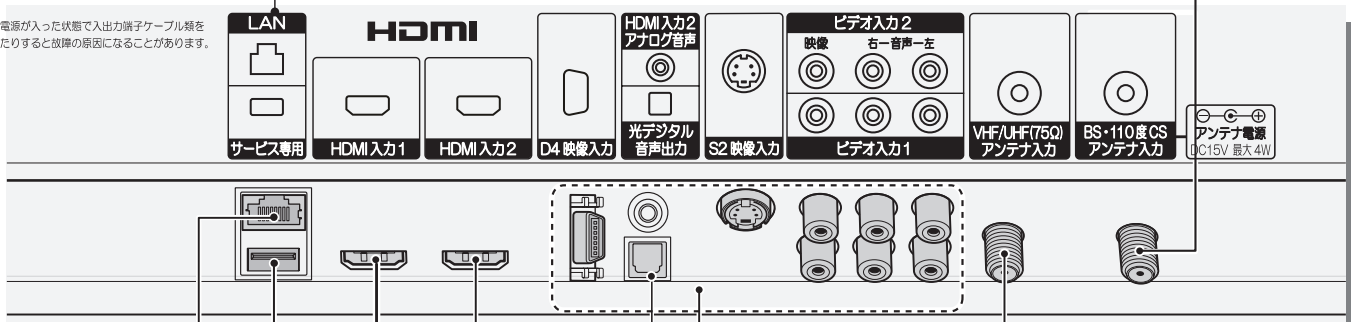
B-CASカード挿入口 28

• B-CAS カードを差し込みます。

ヘッドホン(ミニ)端子

• ヘッドホンで聴くときに、プラグをここに差し込みます。
モノラルイヤホンをつないだ場合は、左音声だけが聞こえます。

各部のなまえ つづき

背面の入出力端子

BS・110度CSアンテナ入力端子 31

- 衛星放送を視聴する場合にBS・110度CSアンテナをつなぎます。

VHF/UHF (75Ω) アンテナ入力端子 29

- 地上放送を視聴する場合にVHF/UHFアンテナをつなぎます。

ビデオ入力1, 2端子 40 41 44

- ビデオやDVDプレーヤー（レコーダー）などの映像機器をつなぎます。
- HDMI入力2 の音声入力端子は、HDMI入力2のアナログ音声入力端子として使用することもできます。（メニュー設定で切り換えます）

光デジタル音声出力端子 42

- オーディオ機器で音声を聴きたい場合などに使います。

HDMI入力1, 2端子 41 44

- HDMI出力端子のある機器をつなぎます。

サービス専用端子

- サービス専用の端子です。ご使用にならないでください。

LAN端子 48

- デジタル放送でイーサネット通信を使用した双方向サービスを利用する場合などに使います。

テレビにスタンドを取り付ける

●ご使用の前に、包装箱からスタンドを取り出し、以下の手順でテレビ本体に取り付けてください。

⚠注意	■二人以上で作業する ひとりで作業をすると、身体を痛めたり、けがをしたりする原因になります。

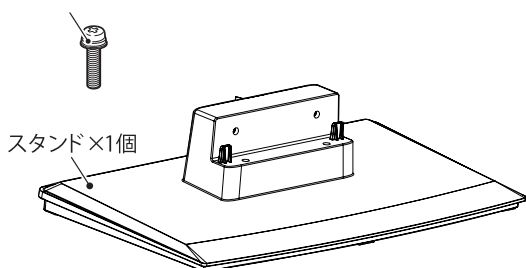
●テレビの画面に力を加えたり、物をぶつけたりしないようにご注意ください。液晶パネルが破損するおそれがあります。

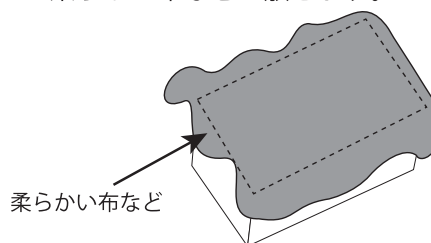
●プラスドライバーをご用意ください。

※スタンドに保護フィルムがついている場合は、保護フィルムを取りはずしてからスタンドを取り付けてください。（図では省略しています）

●据え付けやお手入をするときは、スタンド底面と設置面の間に手や指を挟み込まないようにご注意下さい。

1 スタンドと取付ネジを取り出す。

取付ネジ ×4個（付属品袋の中にはいっています）

2 テレビ本体の幅および高さ寸法よりも十分に広い平らな台を用意します。

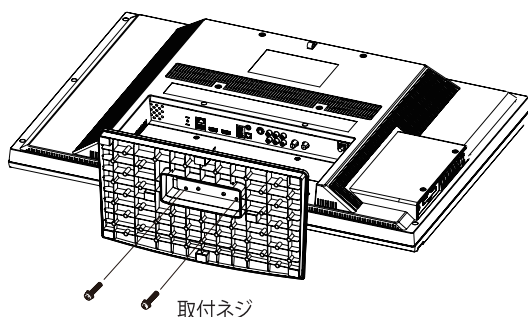
※テレビ本体のパネルを傷つけないょうに、柔らかい布などを敷きます。

3 テレビ本体を箱から取り出し、テレビ本体の下部が台からはみ出るように置きます。

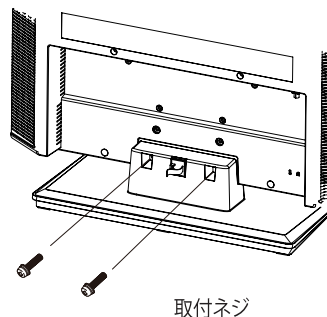
⚠注意

テレビ本体と台の間に指を挟まないよう注意してください。けがの原因となることがあります。

4 スタンドを箱から取り出し、テレビ本体の下部に挿し込み、取り付けます。

5 取付ネジをスタンド下から締めて固定します。(2ヶ所)

取付ネジはしっかりと締めてください。

6 取付ネジをスタンドの後ろから締めて固定します。(2ヶ所)

取付ネジはしっかりと締めてください。

各部のなまえ つづき

リモコン

- 準備編で使用するリモコンのボタンと、そのおもな機能は以下のとおりです。（ボタンによっては、通常の操作時と機能が異なるものがあります）
- イラストは、見やすくするために誇張、省略しており、実際とは多少異なります。
- 詳しくは 内のページをご覧ください。（代表的なページを示しています）

リモコン発光部 33
- 操作するとき、本体のリモコン受光部に向けます。

電源 33
- 電源の「入」、「待機」を切り換えます。

地デジ 34
- 地上デジタル放送に切り換えます。

地アナ 34
- 地上アナログ放送に切り換えます。

CS 50
- 110度CSデジタル放送に切り換えます。

BS 51
- BSデジタル放送に切り換えます。

チャンネルボタン
36 (郵便番号) 48 (LAN設定)
- 文字、数字、記号の入力が必要な設定で使います。通常の操作では選局に使います。

消音 68
- 音声を一時的に消します。
  元に戻したいときはもう一度押します。

チャンネル △・▽ 69
- チャンネルを順番に選びます。

CH番号入力 69
- 3桁のチャンネル番号を直接入力して選局できます。（デジタル放送、CATV）

決定 34
- メニューで選んだ項目を決定します。

▲・▼・◀・▶（カーソル） 34
- メニューなどで項目を選びます。

戻る
- 設定の途中で、前のメニュー画面に戻るときに使います。（状態によっては戻れない場合もあります）

カラーボタン（青、赤、緑、黄）
- 地上アナログ放送チャンネルの手動設定で、微調整をするときに使います。（青、黄 55）
- チャンネルスキップ設定で、放送メディアの種類を切り換えます。（青 59）
- 前日の番組表を表示する。（赤 73）
  翌日の番組表を表示する。（緑 73）

画面表示
- チャンネル番号などの情報がテレビの画面に表示されます。

電池カバー 32
- 乾電池を入れるときに取りはずします。

音量を調節します。 68

番組表 71
- 電子番組表(EPG)を呼び出すことができます。（＊デジタル放送のみ）

入力切換 70
- DVDレコーダーやゲーム機などの接続している周辺機器を選びます。

メニュー
- メニュー画面を呼び出し、画質や音声などいろいろな設定を変更することができます。

連動データ 72
- データ放送の画面を表示します。

静止 79
- 映像が静止します。
  元に戻したいときはもう一度押します。

音声切換 79
- 2ヶ国語放送の外国語やドラマの副音声などを聞きたい時に使います。

テレビを設置する

● 設置の前に「安全上のご注意」9 ～ 19 を必ずお読みください。

⚠ 警告	■ **本機はコンセントから電源プラグが抜きやすいように設置する** 万一の異常や故障のとき、または長期間使用しないときなどに役立ちます。
⚠ 注意	■ **転倒・落下防止の処置をする** 地震などでのテレビの転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止の処置をしてください。

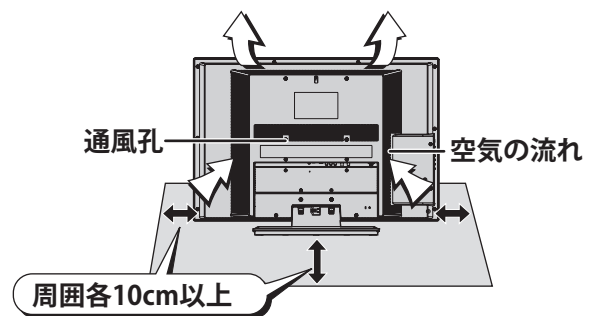
正しい置きかた

■ 丈夫で水平な安定した所に設置してください

■ テレビ台を使用する場合

● テレビ台の取扱説明書をご覧ください。

■ 周囲からはなして置いてください

● 通風孔をふさがないように本機の周囲に 10cm 以上、上部に 30cm 以上の空間を設けてください。

転倒・落下防止のしかた

● 転倒・落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。以下に記載した転倒・落下防止のしかたは、けがなどの危害の軽減を意図したものですが、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

● テレビ本体背面のフックと付属のクリップを使用し、確実に支持できる壁または柱などに丈夫なひもで固定してください。

● クリップはテレビ本体背面のフックと同じくらいの高さの場所にネジ（市販品）で取り付けてください。

※ 針金や鎖など金属製のものは、瞬間的な衝撃に対する柔軟性が乏しく、本機や柱などの取付部分が破損する原因となりますので使用しないでください。

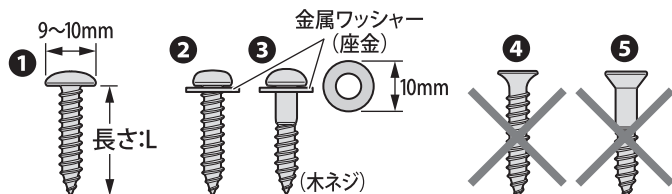
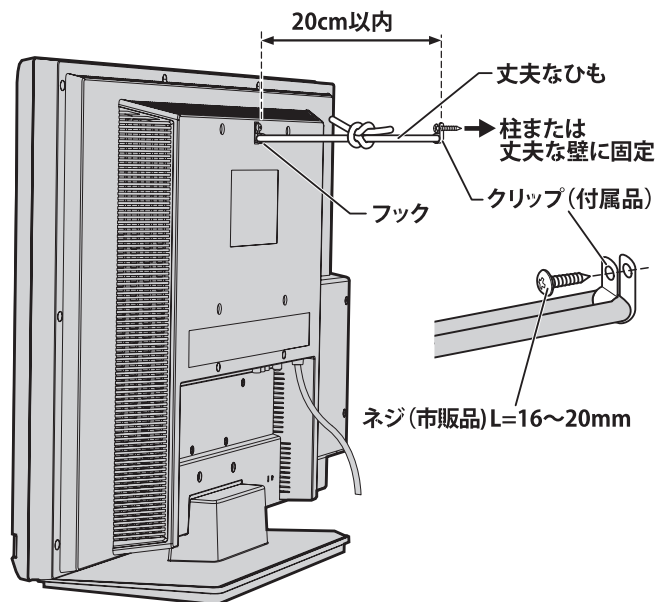
※ 移動や接続をするときは、ひもをはずしてください。

■ 固定用のネジ（市販品）について

● 下図を参考に、固定する場所の状況に応じて、しっかりと固定できる長さのタッピングネジや木ネジをご使用ください。

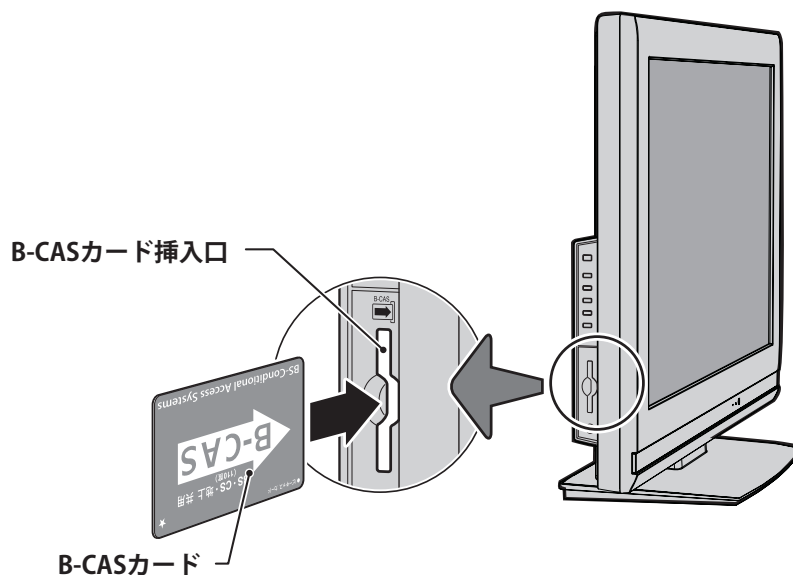
● 頭の形状が❷ : ナベ、❸ : 丸のネジは、固定部の変形・破損防止のためにワッシャーを併用してください。

● 頭の形状が❹ : ラッパ、❺ : 皿のネジは使用しないでください。

● ネジの太さは、公称 3.8 ～ 4.1mm のものをご使用ください。

● 他のデジタル機器や電子レンジなどから出る電磁波によって、本機の映像が乱れたり、雑音が出たりする場合があります。相互に影響しない位置に設置してください。

B - C A S（ビーキャス）カードを入れる

● 同梱の B-CAS カードは、デジタル放送や「放送局からのお知らせ」の受信などに必要です。常に本体に入れておいてください。
※ B-CAS カードを抜き差しするときは、本機の電源を切って、電源プラグをコンセントから抜いてください。

● B-CAS カードの絵柄面を本体の前面側に向けて、奥まで差し込みます。
※ 取り出すときは、B-CAS カードをつかんで抜きます。

● 同梱の B-CAS カードの説明書についている「加入申込書用バーコードシール」は、受信契約をする際に加入申込書に必ず貼ってください。

● 「同梱の B-CAS（ビーキャス）カードについて」21 も必ずお読みください。

● 説明書はよくお読みのうえ、のちのお問い合わせ先確認などにそなえて、たいせつに保管してください。

アンテナを接続する

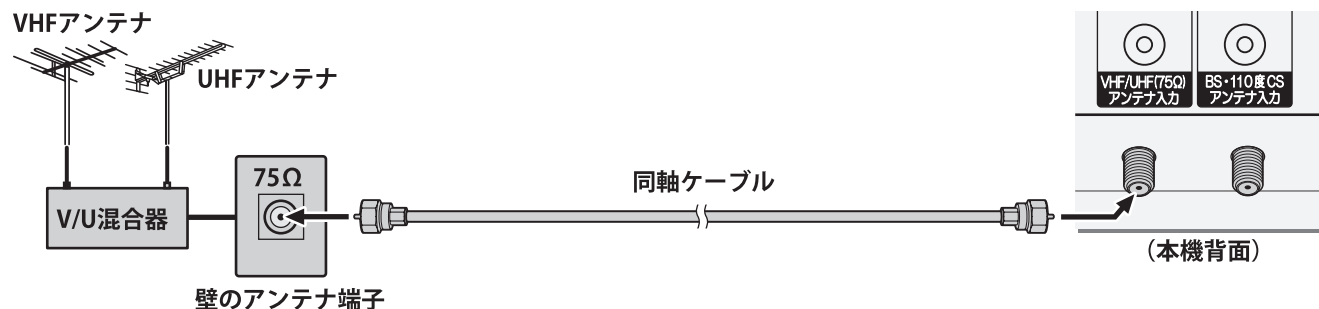
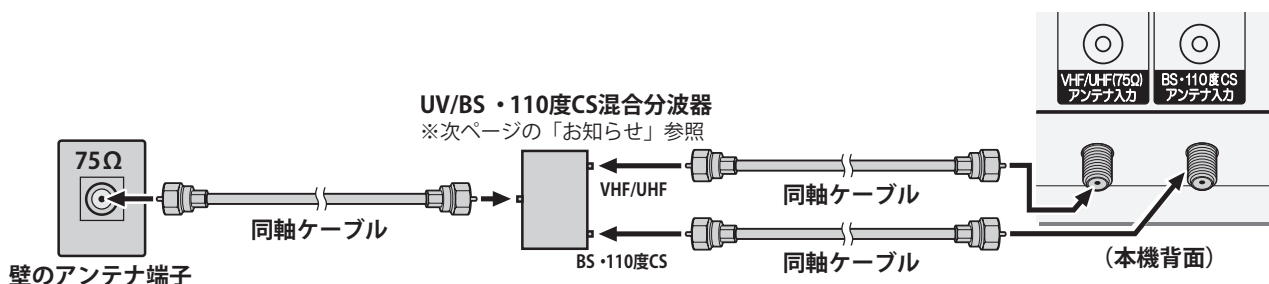
※ アンテナ工事には技術と経験が必要です。アンテナの設置・調整については、お買い上げの販売店にご相談ください。また、アンテナの取扱説明書もよくお読みください。

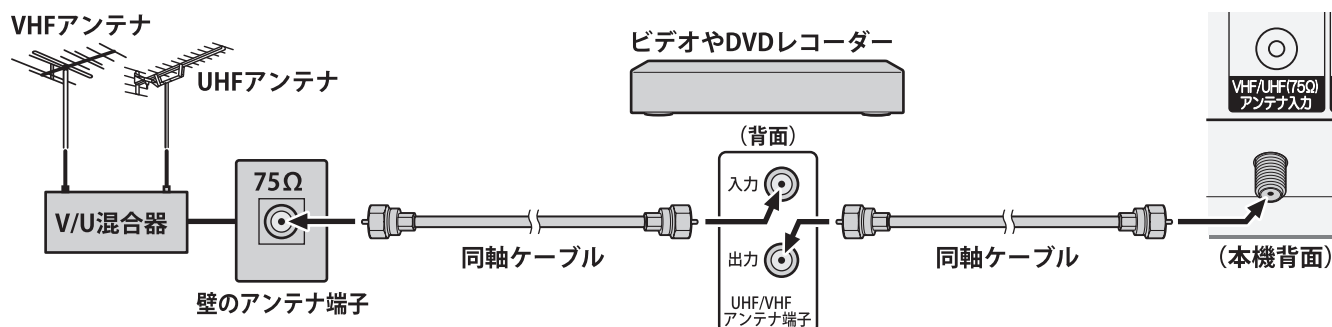
● アンテナや接続に必要なアンテナ線（同軸ケーブル）、混合器、分配器などは付属されておりません。機器の配置や端子の形状、使用環境条件などに合わせて適切な市販品を別途お買い求めください。

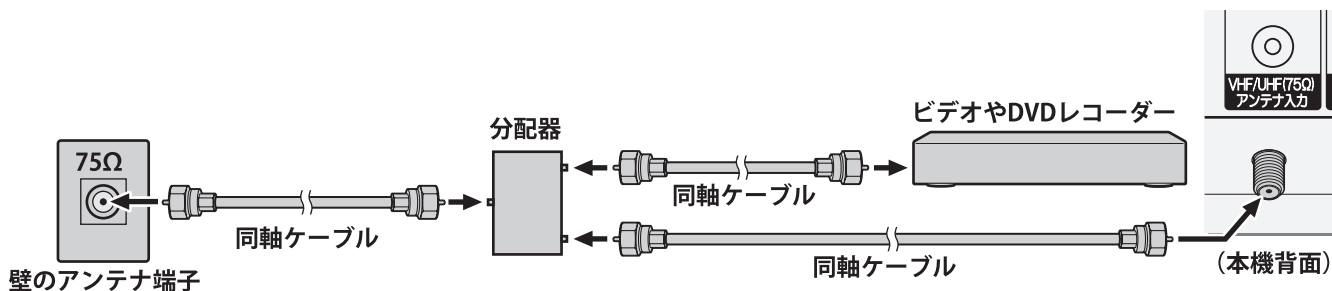
● 同軸ケーブル（アンテナ線）のF型コネクターがネジ式の場合は、ゆるまない程度に手で締めつけてください。工具などで締めつけすぎると、本機内部が破損するおそれがあります。
● F型コネクターが差込式の場合は、本機のアンテナ端子のネジ部分と確実に接触するものをご使用ください。ゆるいものを使用すると接続が不完全になり、正常に受信できなかったり、映らなくなったりすることがあります。

VHF/UHF アンテナ線のつなぎかた

● 接続するときは必ず本機および接続機器の電源を切り、電源プラグを抜いてください。
● 地上デジタル放送はUHFアンテナで受信します。UHFアンテナが設置されている場合はそのままで受信できることもありますが、状況によってはアンテナの交換やアンテナ方向の変更などが必要になる場合があります。
● お住まいの地域で地上デジタル放送を視聴できるかどうかは、お買い上げの販売店または「総務省 地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター」（TEL. 0570-07-0101）にご相談ください。（放送エリア内でも、ビルなどの障害物がある場合は視聴できないことがあります）
● 同軸ケーブル両端のコネクターのピンが曲がっていないか確認してください。曲がったままでつなぐと、ショートすることがあります。ケーブルにF型コネクターを取付加工をする場合は、芯線とアース線がショートしないようにしてください。

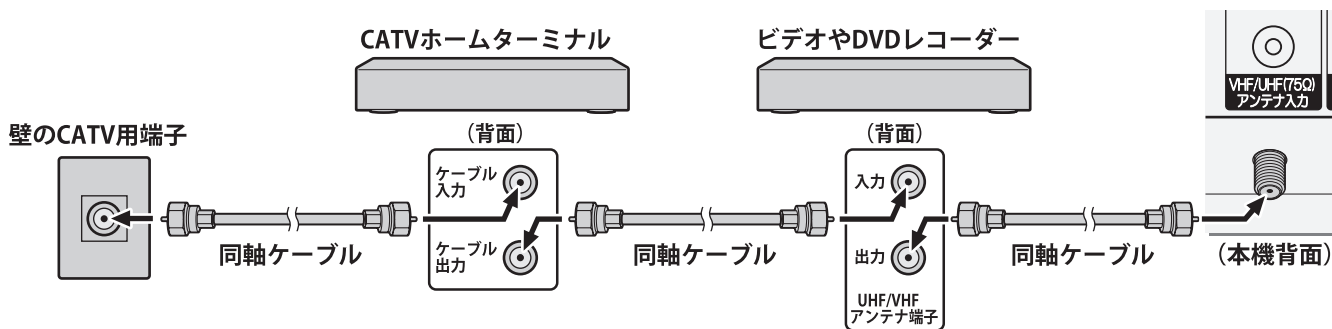
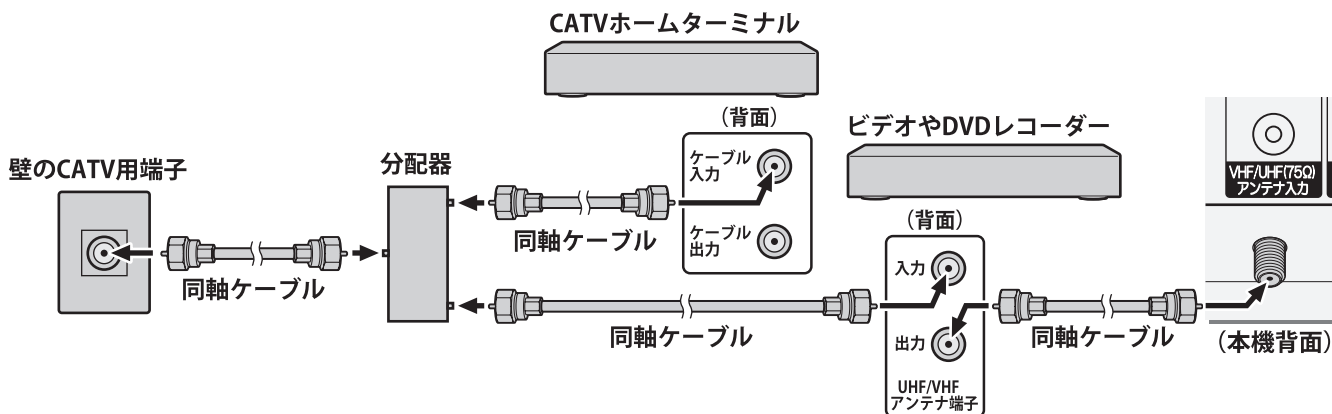
■ アンテナ線がVHF/UHF混合の場合（またはVHFだけ、またはUHFだけの場合）

■ マンションなどの共聴システムのとき（VHF/UHF/BS・110度CS混合のとき）

● 「はじめての設定」 34 のあとで、「コンバーター電源」を「切」に設定してください。詳しくは 50 をご覧ください。

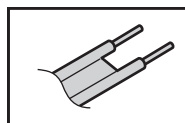
■ ビデオやDVDレコーダーを経由したつなぎかた（壁の端子が75Ωでビデオなどの入力がV・U混合のとき）

アンテナを接続する つづき

分配器を使用したつなぎかた

VHF と UHF のアンテナ線がそれぞれ別になっているとき

- V/U 混合器などが必要です。詳しくは販売店にご相談ください。

CATV（ケーブルテレビ）をご利用のとき

- CATV ホームターミナルによっては端子の名称が異なる場合があります。接続方法や、地上デジタル放送の視聴についてなど、詳しくはご契約のケーブルテレビ会社にご相談ください。

- 地上デジタル放送の UHF 電波が壁の CATV 用端子に送られてきている場合でも､CATV ホームターミナルによっては「ケーブル出力」端子にその電波が出力されないことがあります。その場合には、UHF に対応した市販の分配器を使用して、以下のように接続してください。

- VHF/UHF アンテナ線は同軸ケーブルをおすすめします。
  平行フィーダー線を使用すると受信状態が不安定になることがあり、妨害電波を受けやすくなります。
- やむをえず､平行フィーダー線を使用するときは､平行フィーダー線をBS･110度CSデジタル用アンテナケーブルから妨害を受けない距離まで離してください。（同軸ケーブルを使用する場合でも、妨害を受けるようであれば、BS・110 度 CS デジタル用アンテナケーブルから離してみてください）
- アンテナ線を他のデジタル機器に近づけないでください。受信障害の原因となることがあります。
- VHF、UHF アンテナは定期的な点検・交換をおすすめします。アンテナの設置場所は、屋外のため傷みやすく性能が低下します。特にばい煙の多い地域、温泉、海岸の近くでは傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

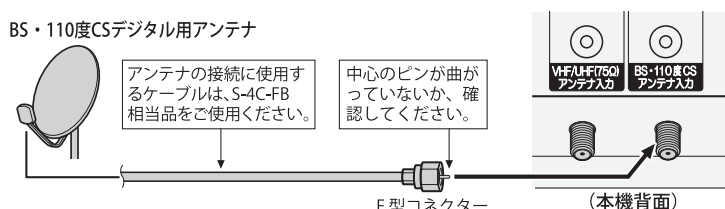
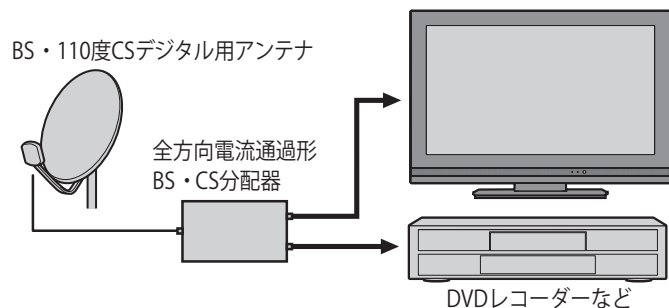
平行フィーダー線

■ 地上デジタル放送を受信する場合

- 混合器、分波器、分岐器、ブースターなどを使用する場合は、地上デジタル放送の伝送チャンネルに対応したものを選び、妨害波の影響などを防ぐために空き端子には終端抵抗器（75 Ω）を接続してください。
- 一般的に地上デジタル放送は UHF アンテナで受信しますが、CATV（ケーブルテレビ）で伝送される場合や共聴システム（VHF 帯、または UHF 帯）で伝送される場合もあります。詳しくは、共聴システム管理者（マンション管理者や管理組合など）や、お住まいの地域のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

BS・110 度 CS デジタル用アンテナ線のつなぎかた

- 接続するときは必ず本機および接続機器の電源を切り、電源プラグを抜いてください。
- F 型コネクターのピンが曲がっていないか、確認してください。曲がったままでつなぐと、ショートすることがあります。
- BS デジタル放送だけを視聴する場合は BS デジタル用アンテナを、110 度 CS デジタル放送も視聴する場合は BS・110 度 CS デジタル用アンテナをご使用ください。（以下、これらのアンテナを BS・110 度 CS デジタル用アンテナと記載します）
- 本機と BS・110 度 CS デジタル用アンテナの接続には、BS・CS デジタル対応のケーブル（S-4C-FB 相当）をご使用ください。
- 110 度 CS デジタル放送を受信する場合でブースターや BS・CS 分配器を使用する場合は、110 度 CS デジタル放送（周波数 2150MHz 以上）に対応したものをお使いください。対応していないものを使用した場合には、110 度 CS デジタル放送を受信できません。
- BS・110 度 CS デジタル用アンテナの取扱説明書もご覧ください。

- **本機の BS・110 度 CS アンテナ入力端子から BS・110 度 CS アンテナに電源が供給されます。ケーブルに F 型コネクターを取付加工する場合は、芯線とアース線がショートしないようにしてください。**

BS・110 度 CS デジタル用アンテナをつなぐとき

BS・110 度 CS デジタル用アンテナ 1 台で、本機など BS や 110 度 CS 機器を 2 台以上つなぐ場合

※ BS や 110 度 CS 機器をつなぐときは、BS や 110 度 CS 機器付属の取扱説明書をご覧ください。

※将来、110 度 CS デジタル放送でチャンネルがふえた場合、ご使用のアンテナによっては分配器は使用できないことがあります。

アンテナ電源について

- BS•110 度 CS デジタル用アンテナは電源を必要とします。本機にはアンテナ電源を供給する機能がありますが、マンションなどの共聴システムや他の機器などから供給されている場合は、本機から供給する必要はありません。
  「はじめての設定」34のあとで、お使いの条件に合わせて「コンバーター電源」50 の設定をしてください。

マンションなどの共同受信の場合

- お住まいのマンションの共同受信設備で BS デジタル放送や 110 度 CS デジタル放送が受信できるかどうかは、マンションの管理会社や管理組合にご確認ください。
  既存の設備で受信できない場合には、BS・110 度 CS デジタル用アンテナの設置・接続が必要です。

■ BS・110 度 CS デジタル用アンテナの設置について
- **マンションなど共同住宅の場合は、出入口や避難設備にはアンテナを設置できません。また、避難通路や消防上必要な通路のじゃまにならない所に設置する必要があります。消防法、地方自治体の条例などに触れないように、ご注意ください。また、建物の管理者にもご相談ください。**

- 本機でアンテナレベルを確認しながら、BS・110 度 CS デジタル用アンテナの方向調整 44 をすることができます。
- 以前の BS アンテナでは BS デジタル放送を受信できないことがあります。また、BS アンテナやスカパー！用のアンテナでは、110 度 CS デジタル放送を受信することはできません。

リモコンの準備

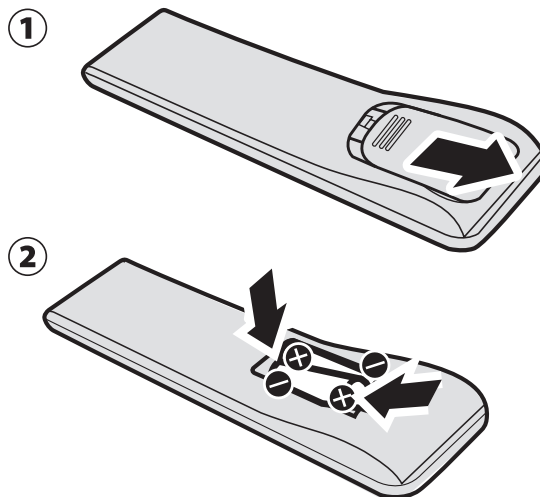
⚠ 注意	■ **リモコンに使用している乾電池は、** **●指定以外の乾電池は使用しない** **●極性表示⊕と⊖を間違えて挿入しない** **●充電・加熱・分解したり、ショートさせたりしない** **●火や直射日光などの過激な熱にさらさない** **●表示されている「使用推奨期限」の過ぎた乾電池や、使い切った乾電池はリモコンに入れておかない** **●種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しない** これらを守らないと、液もれ・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。 もれた液が目にはいったり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目や口にはいったり、皮膚についたりしたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。器具についたときは、液に直接触れないでふき取ってください。

● 単四形乾電池 R03 を 2 個ご使用ください。
お買い上げ時は単四形乾電池 R03 が 2 個付属されています。

■ **カバーをはずし、乾電池を入れる**

① カバーをはずすときは、カバー上部の ▭ 部分を矢印の方向に押しながら、すくい上げます。

② 乾電池の極性表示⊕と⊖を確かめて、図の向きになるように入れます。

● カバーを閉めるときは、カバー下部の突起をリモコン本体のみぞに差し込んで、パチンと音がするまでカバー上部を押し込みます。

■ 乾電池について

● 乾電池の寿命はご使用状態によって変わります。リモコンが動作しにくくなったり、操作できる距離が短くなったりしたら 2 個とも新しい乾電池と交換してください。

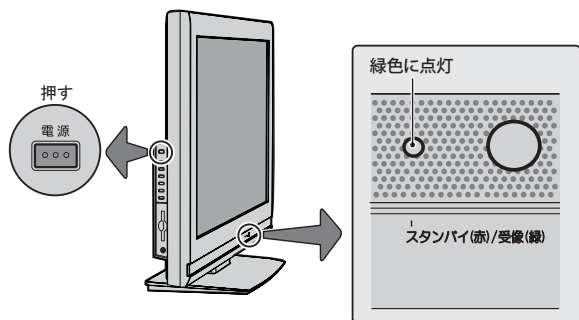
● 使用済の乾電池は、地方自治体またはお住まいの地域で定められた規則に従って廃棄してください。

電源を入れる

● アンテナの接続が終わったら、本機の電源を入れます。

1 電源プラグをコンセントに差し込む

● 電源プラグは交流 100V コンセントに根元まで確実に差し込んでください。
● 番組情報を取得するために、電源プラグは非常時と長期間使用しないとき以外はコンセントに差し込んでおいてください。

2 本体左側面の電源ボタンを押す

● 電源がはいり、本体前面の「電源」表示が緑色に点灯します。
● もう一度本体の電源ボタンを押すと「電源」表示が消灯し、電源が切れます。

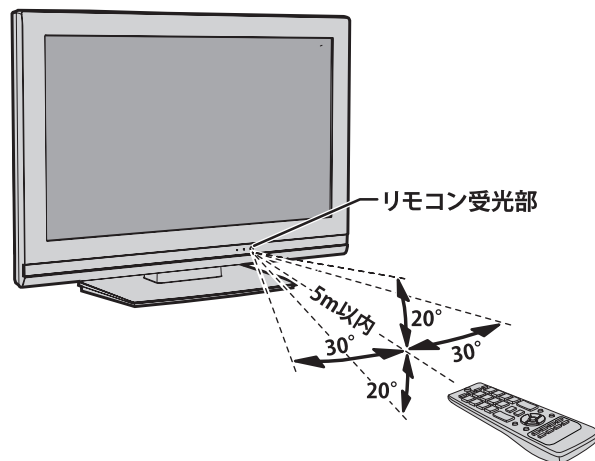
はじめて電源を入れたとき

●「はじめての設定」の画面が表示されます。
次ページ以降の手順に従って設定してください。

リモコンで電源を入 / 待機にするには

● 電源「入」の状態でリモコンの (電源) を押すと待機状態になり、「電源」表示が赤色に点灯します。
●「待機」のときにリモコンの (電源) を押すと電源がはいり、「電源」表示が緑色に点灯します。

リモコンの使用範囲について

● リモコンは、本体のリモコン受光部に向けて使用してください。
● リモコン受光部に強い光を当てないでください。強い光が当たっていると、リモコンが動作しないことがあります。
● リモコン受光部とリモコンの間に障害物を置かないでください。動作しなかったり、動作しにくくなったりします。

● リモコン受光部から
距離 ····· 5m 以内
角度 ····· 左右 30° 以内、上下 20° 以内

ご注意

■ リモコンについて
● 落としたり、振りまわしたり、衝撃などを与えたりしないでください。
● 水をかけたり、ぬれたものの上に置いたりしないでください。
● 分解しないでください。
● 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。

お知らせ

■ 電源を「切」にした直後は、内部でデータ処理をしているため電源ボタンを受け付けないことがあります。

はじめての設定をする

● 本機を使えるようにするための基本的な設定をします。
● 設定項目は下表のとおりです。
「はじめての設定」は何度でもできますが、やり直した場合はそれまでに設定していた内容（地上アナログ放送や地上デジタル放送のチャンネルを手動で設定した内容など、お客様が本機に記憶させた住所・氏名などの個人情報、お客様のポイント数など）は消去されます。

設定項目	内　容
地上アナログ / デジタル放送チャンネル設定	地上アナログ放送と地上デジタル放送のチャンネルを同時に設定します。また、地域の設定もします。
郵便番号の設定	お住まいの地域に密着したデータ放送（たとえば、天気予報や選挙速報など）や緊急警報放送を視聴するための設定です。

■「地上デジタル / アナログ放送チャンネル設定」について
● 地上アナログ放送の場合
入力された地方・地域に応じて、リモコンのチャンネルボタン[1]～[12] に自動的にチャンネルが設定されます。自動設定される内容については「地上アナログ放送の自動設定一覧表」（105～109）をご覧ください。
※ 自動設定された内容の確認や変更をしたい場合は「手動設定」55 をしてください。
● 地上デジタル放送の場合
次ページの手順 **8**（または 53 ）の「初期スキャン」をすることで、本機が地上デジタル放送の受信できるチャンネルを探し、リモコンのチャンネルボタン[1]～[12] に自動設定します。(**「初期スキャン」をしないと、地上デジタル放送は受信できません**)
自動設定は、入力された地方、地域と実際に受信できたチャンネルの情報をもとに、放送システム上の規定などに従って行われます。初期スキャンは（VHF1 ～ 12）→（UHF13 ～ 62）→（CATV13 ～ 63）の順で行われます。
※「初期スキャン」によってチャンネルが設定されても、電波が弱い場合には正常に受信できないことがあります。
※ 自動設定された内容の確認や変更をしたい場合は「手動設定」56 をしてください。

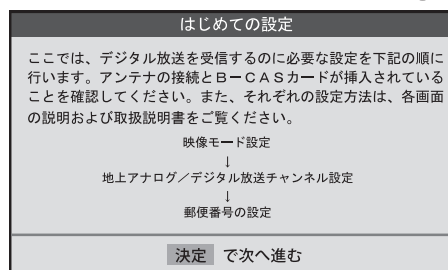
■ 地方と地域の設定について
● チャンネルの自動設定は、「はじめての設定」の手順 **4 ～ 6** で設定された地方・地域に基づいて行われます。手順 **10** の郵便番号でも地域を設定しますが、それは地域に密着したデータ放送（たとえば、天気予報や選挙速報など）を視聴したりするための設定であり、手順 **4 ～ 6** の設定とは別のものです。

■ 新たに開局したチャンネルを追加登録したいとき
● 地上デジタル放送の放送局が新たに開局された場合や、中継局が新設されるなどしてチャンネルがふえた場合などは、「自動設定」の「再スキャン」54 をしてください。新たに受信できたチャンネルが追加設定されます。

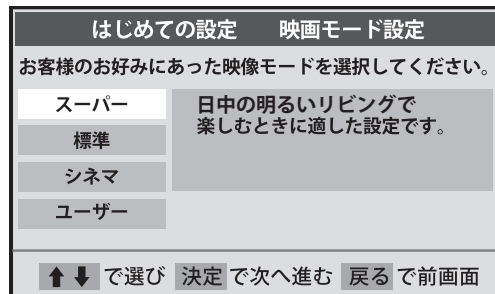
地上アナログ／デジタル放送チャンネル設定

● 地上アナログ放送と地上デジタル放送のチャンネルを同時に設定します。また、データ放送の地域も同時に設定します。
※ B-CAS カードが挿入されていないと「はじめての設定」ができません。あらかじめご確認ください。 28
※ **はじめて電源を入れたときは、手順 2 から操作してください。**

1 以下の操作で「はじめての設定」の説明画面にする

❶ ○メニュー を押す
❷ ▲·▼ で「各種設定」を選び、決定 を押す
❸ ▲·▼ で「初期設定」を選び、決定 を押す
❹ ▲·▼ で「はじめての設定」を選び、決定 を押す

2 画面の説明を読んで、決定 を押す

●「映像モード設定」の説明画面が表示されます。

はじめての設定　　映画モード設定
お客様のお好みにあった映像モードを選択してください。
スーパー
標準
シネマ
ユーザー
日中の明るいリビングで
楽しむときに適した設定です。
⬆⬇ で選び 決定 で次へ進む 戻る で前画面

3 画面の説明を読んで、決定 を押す

●「地上アナログ / デジタル放送チャンネル設定」の説明画面が表示されます。

4 お住まいの地方を ▲·▼·◀·▶ で選び、決定 を押す

例

5 お住まいの都道府県 ▲·▼·◀·▶ で選び、決定を押す

例

はじめての設定　地上アナログ放送チャンネル設定		
お住まいの都道府県を選んでください。		
茨城県	茨木県	群馬県
埼玉県	千葉県	東京都
神奈川県		

⬆⬇ ⬅➡ で選び 決定 で次へ進む 戻る で前画面

6 お住まいの地域を ▲·▼·◀·▶ で選び、決定を押す

例

はじめての設定　地上アナログ放送チャンネル設定		
お住まいの地域を選んでください。		
23区	八王子	多摩

⬆⬇ ⬅➡ で選び 決定 で次へ進む 戻る で前画面

● お住まいの地域名が表示されないときは、近くの地域名を選びます。

7 表示された地上アナログチャンネル一覧の内容を確認して、決定を押す

例

はじめての設定　地上アナログ放送チャンネル設定

リモコン	チャンネル	表示	放送局
1	01	地アナ 01	NHK総合
2	16	地アナ 16	放送大学
3	03	地アナ 03	NHK教育
4	33	地アナ 33	日本テレビ
5	14	地アナ 14	TOKYO MX
6	06	地アナ 06	TBS

⬆⬇ でページ切換 決定 で次へ進む

● 設定された内容を変更したい場合は、「はじめての設定」がすべて終了したあとで、「手動設定」55 で行ってください。

8 画面の説明を読んで、以降の操作をする

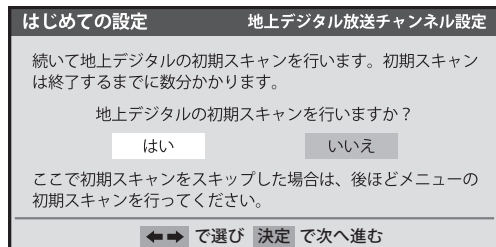
はじめての設定　地上デジタル放送チャンネル設定

続いて地上デジタルの初期スキャンを行います。初期スキャンは終了するまでに数分かかります。

地上デジタルの初期スキャンを行いますか？

はい　いいえ

ここで初期スキャンをスキップした場合は、後ほどメニューの初期スキャンを行ってください。

⬅➡ で選び 決定 で次へ進む

地上デジタル放送の初期スキャンをする場合

❶ ◀·▶ で「はい」を選び、決定を押す

● 初期スキャンが自動的に始まります。
　終了するまでしばらくお待ちください。

● 初期スキャンが終わったら、次は手順 **9** に進みます。

● 下図の画面が表示された場合は「データ放送用メモリーの割当て」63 をしてください。「データ放送用メモリーの割当て」が終了すると、次は手順 **9** に進みます。

例

地上デジタル放送の初期スキャンをあとでする場合

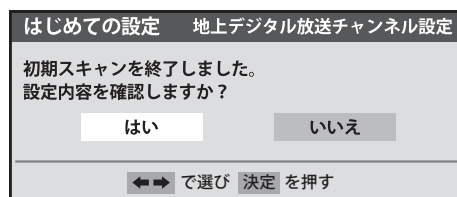
❶ ◀·▶ で「いいえ」を選んで 決定 を押し、「郵便番号の設定」（手順 **10**）に進む

● あとで「自動設定」の「初期スキャン」53 をしてください。

9 下図の画面が表示されたら、以降の操作をする

はじめての設定　地上デジタル放送チャンネル設定

初期スキャンを終了しました。
設定内容を確認しますか？

はい　いいえ

⬅➡ で選び 決定 を押す

❶ ◀·▶ で「はい」を選び、決定を押す

● 設定内容の確認画面が表示されます。

例

はじめての設定　地上デジタル放送チャンネル設定

リモコン	チャンネル	放送局
1	テレビ	NHK総合・東京
2	テレビ	NHK教育・東京
3	---	
4	テレビ	日本テレビ
5	---	
6	テレビ	TBS

⬆⬇ でページ切換 決定 で次へ進む

❷ 設定内容を確認して 決定 を押し、「郵便番号の設定」（手順 **10**）に進む

● 以上で地上デジタル放送チャンネルの自動設定が終了しました。

● チャンネルの欄が「－－－」となった場合は、放送がないか、または受信できなかったことを示します。

● 設定された内容を変更したい場合は、「はじめての設定」がすべて終了したあとで、「手動設定」56 で行ってください。

はじめての設定をする つづき

郵便番号の設定

- お住まいの地域に密着したデータ放送（天気予報・選挙速報など）を視聴したりするための設定です。
- 郵便番号を設定することで、地域が指定されます。

10 お住まいの地域の郵便番号を 1 ～ 10/0 で入力し、決定を押す

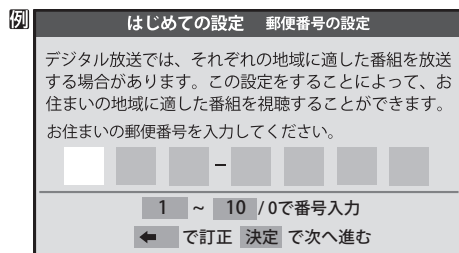
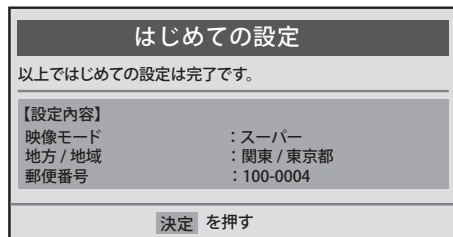
- 間違えて入力したときは、◀でカーソルを戻してからもう一度入力します。
- 郵便番号入力で、上 3 ケタを入力して決定を押すと残りの 4 ケタは自動的に「0」が入力されます。

例
11 以上ではじめての設定は完了です。

はじめての設定

以上ではじめての設定は完了です。

【設定内容】

映像モード	：スーパー
地方 / 地域	：関東 / 東京都
郵便番号	：100-0004

決定 を押す

- データ放送の視聴中に郵便番号の設定を変更した場合、設定を有効にするには設定終了後にデータ放送を選局し直してください。
- 地上デジタル放送や地上アナログ放送が正しく受信できない場合は、次ページをご覧ください。

正しく受信できないとき

「はじめての設定」をしても地上デジタル放送が正しく受信できないとき

● 正しく受信できないチャンネルで以下の操作をして、アンテナレベルの数値を確認してください。

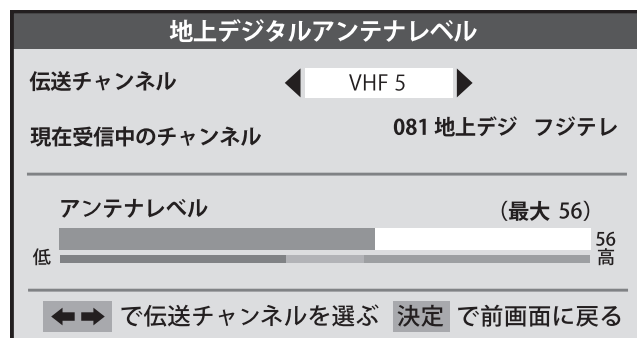
❶ ◯メニュー を押す

❷ ▲・▼ で「その他メニュー」を選び、決定を押す

❸ ▲・▼ で「アンテナレベル」を選び、決定を押す

❹ 以下の確認や処置をする

- ● アンテナレベルが低い場合は、アンテナが正しく接続されているかご確認ください。
- ● 症状が改善されない場合は、アンテナの交換や方向調整が必要になることがあります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、「地上デジタル用アンテナの方向調整」50ページを参照して、アンテナレベルを確認しながらアンテナの方向を調整してください。
- ● CATV をご利用の場合やマンションなどの共聴システムをご利用の場合は、パススルーでの地上デジタル放送受信に対応しているか、ご契約の CATV 会社や共聴システムの管理者にそれぞれお問い合わせください。

❺「初期スキャン」53ページの操作をする

「はじめての設定」や「地上アナログ自動設定」51ページをしても地上アナログ放送が正しく受信できないとき

● アンテナの種類（チャンネル 1 ～ 12 は VHF、13 ～ 62 は UHF）や向きが、設定した地域・都市名の条件に合っていることを確認してください。

● 複数の地域・都市名が隣接する地域にお住まいの場合は、地域・都市名を変えて設定すれば受信状態が改善されることがあります。（例：お使いになる地域が「横浜みなと」の場合は「横浜・川崎」または「平塚・茅ケ崎」など）このような場合は、次のようにして設定します。

❶ 近隣の別の地域・都市にアンテナの種類や向きを合わせる

- ● お買い上げの販売店にご相談ください。

❷「自動設定」の「地上アナログ放送の場合」52ページの手順 **1** ～ **4** の操作をする

❸ 52ページの手順 **5** で、アンテナを向けた地域・都市名を選び、決定を押す

上記の対処をしても地上アナログ放送の一部のチャンネルが正しく受信できないとき

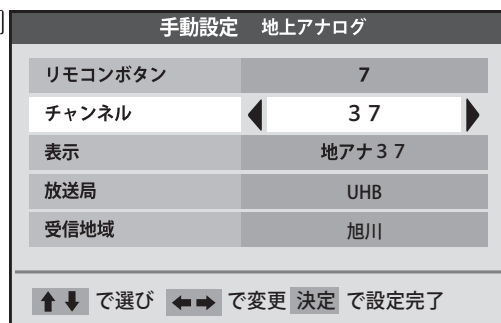
● 受信できるチャンネルを手動設定で探します。

❶「手動設定」の「地上アナログ放送の場合」55ページの手順 **1** ～ **2** の操作をする

❷ 55ページの手順 **3** で、該当する「リモコンボタン」を選び、手順 **4** の❶でほかに受信できる「チャンネル」を選んで、決定を押す

例： 地域・都市名を「横浜・川崎」に設定した場合で、チャンネルボタン 7 に割り当てられている「tvk」「42CH」だけが正しく受信できないときは、隣接地域の「48CH」（横浜みなと）や「46CH」（小田原）などに変えてみて、正しく受信できるところを探します。

❸ 必要に応じて55ページの手順 **4** の❷～❹の操作で「表示」、「放送局」、「受信地域」を設定する

例

地デジ難視対策衛星放送を受信する場合

地デジ難視対策衛星放送について

● 地デジ難視対策衛星放送とは、地上デジタル放送が送り届けられない地区にお住まいの方に、テレビ放送を視聴いただけるように、暫定的に衛星放送を利用して地上デジタル放送の番組をご覧いただくものです。この放送は総務省の補助と放送事業者の負担によって、社団法人デジタル放送推進協会（Dpa）が実施しています。

- 視聴制御（スクランブル）をかけて対象地区を限定した放送です。
- 実施期間が 2015 年 3 月末までに限定された放送です。
- 視聴できるのは NHK および地域民放と同系列の東京の放送局の番組です。
- 地上デジタル放送と画質や利用できるサービスに違いがあります。（ハイビジョン画質ではなく標準画質となります。データ放送および双方向サービスは利用できません）

＊この放送を利用できる対象地区は、総務省ホームページに公表されています。
http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/dtv/zenkoku/index.html

● ご利用やお申込みについてご不明な点は、以下の窓口にお問い合わせください

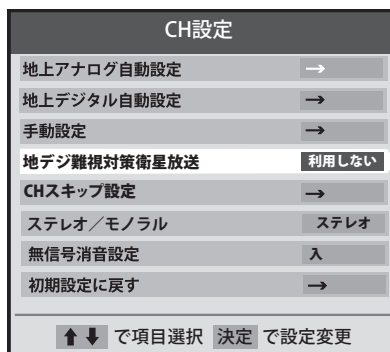
地デジ難視対策衛星放送についてのお問い合わせ先

地デジ難視対策衛星放送受付センター
【電　　話】（通話料がかかります）
ナビダイヤル 0570-08-2200
（045-345-0522）
【受付時間】9：00～18：00

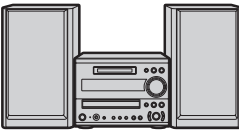
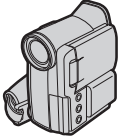
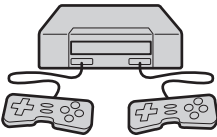
本機の設定をする

● お買い上げ時、本機は地デジ難視対策衛星放送の視聴や番組表表示ができないようになっています。利用できるようにするには、以下の設定が必要です。

●「 地デジ難視対策衛星放送受付センター」への利用申込手続が完了した時点で視聴などができるようになります。（手続完了前は設定をしても視聴などはできません）

1 **メニュー を押し、▲▼と 決定 で「各種設定」⇨「初期設定」⇨「CH 設定」⇨「地デジ難視対策衛星放送」の順に進む**

2 **▲·▼ で「利用する」を選び、を押す**

地デジ難視対策衛星放送番組の視聴や番組表表示ができるようになります。

本機に接続できる外部機器一覧

● 本機に接続できるおもな外部機器は以下のとおりです。接続や設定のしかたはそれぞれの参照ページをご覧ください。

● 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
● 他の機器を接続するときは、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
● BD/DVD プレーヤーや BD/DVD レコーダー、デジタルチューナーなどのコピー制御のかかった映像を出力する機器を、ビデオや AV アンプなどを経由して本機につなぐと、コピー制御が働き映像が乱れる場合があります。

テレビ（本機）

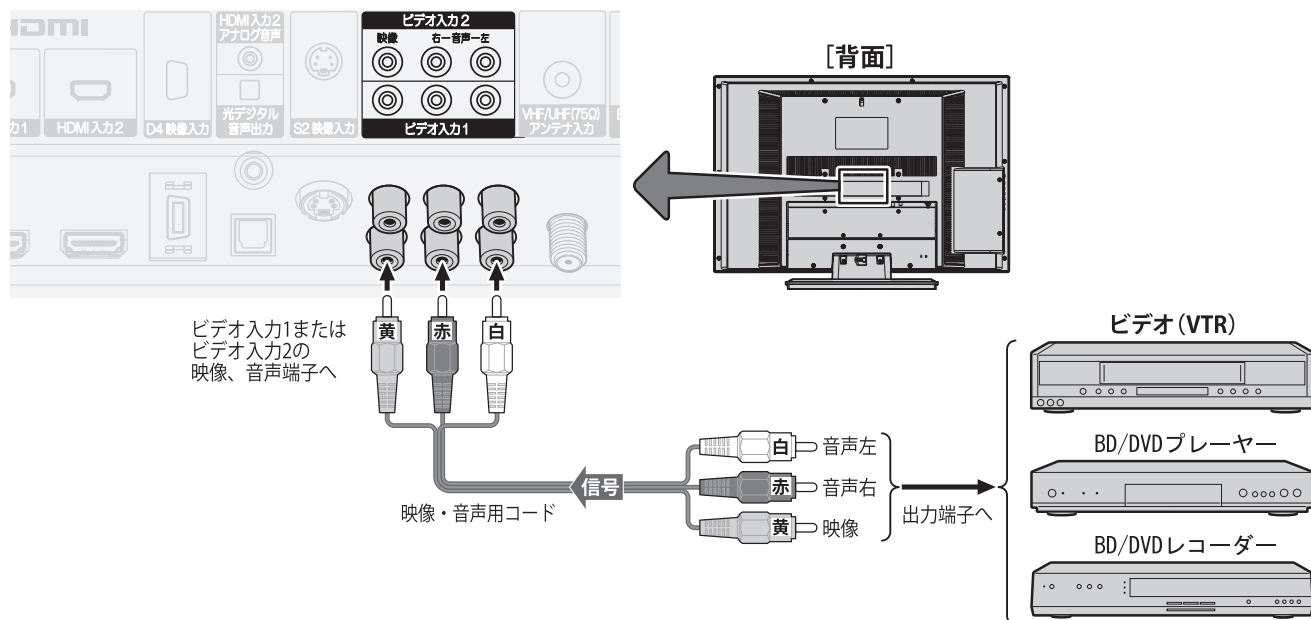
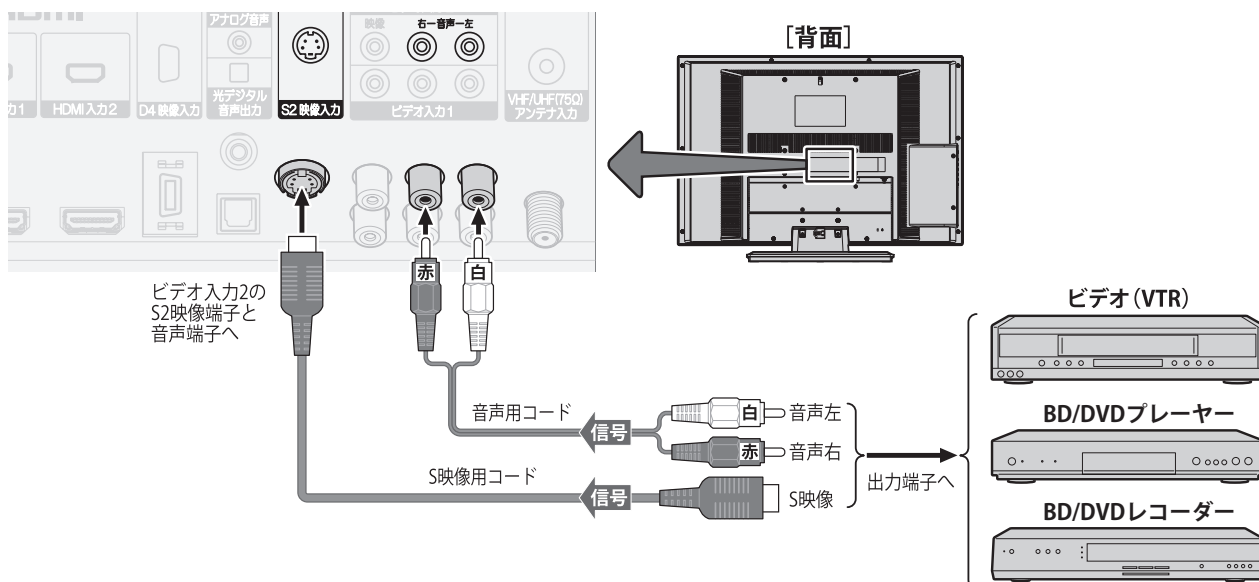
接続できる外部機器	参照ページ
ビデオ BD/DVDプレーヤー BD/DVDレコーダー	接続 40～41 設定 47
レコーダー	接続 40 設定 46～47
オーディオ機器	接続 42 設定 43、46
ビデオカメラレコーダー	接続 44 設定 46、47
ゲーム機	接続 45 設定 47
パソコン	接続 45 設定 46～47

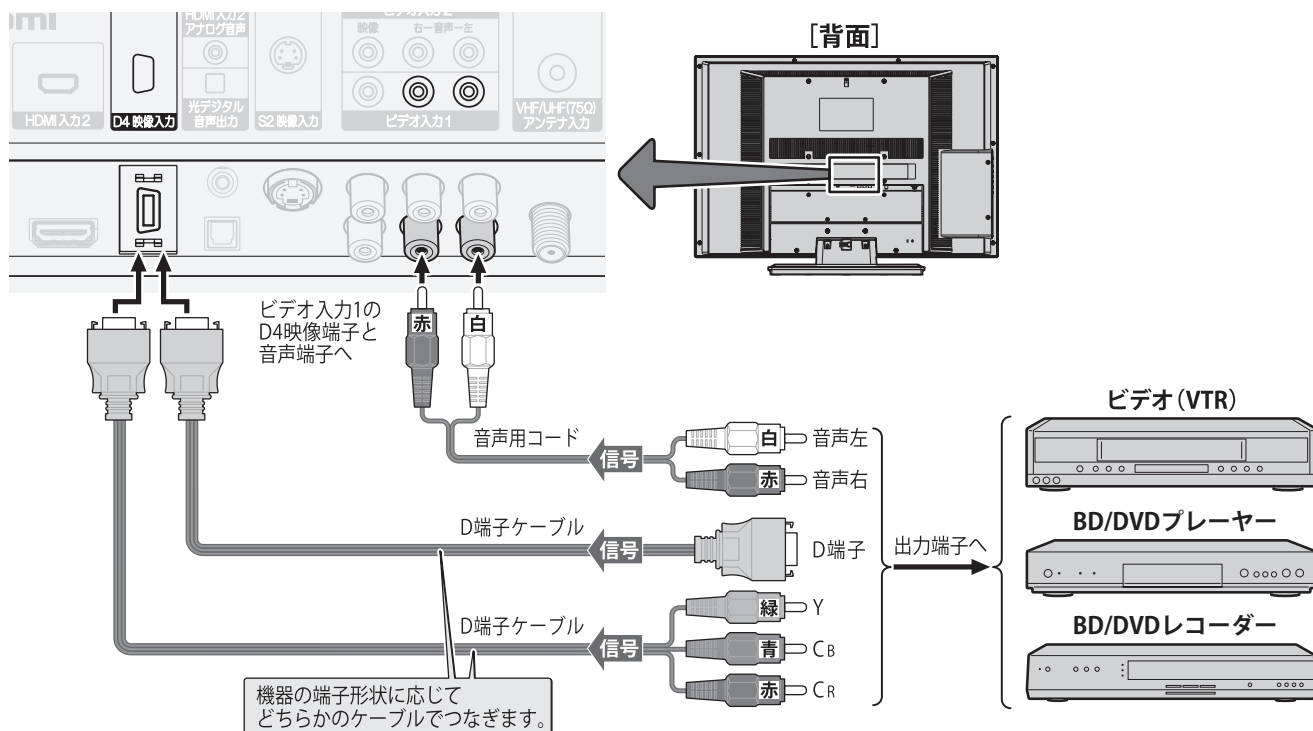
● 接続機器の音声出力がモノラルのときは、市販のステレオ／モノラル変換コードをご使用ください。

ビデオや BD/DVD プレーヤー／レコーダーをつなぐ

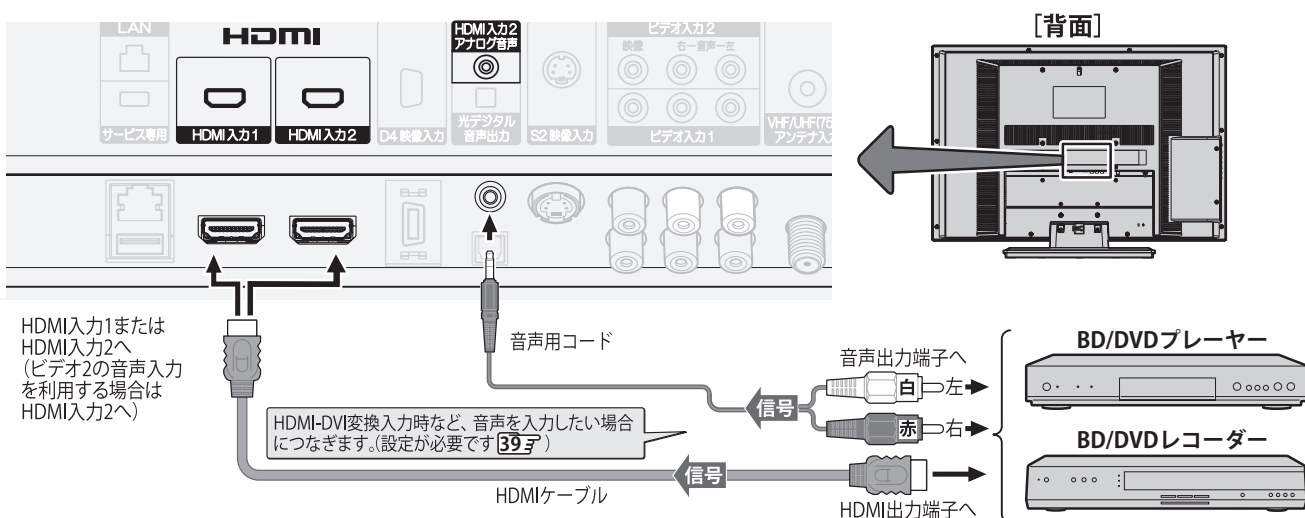
● BD/DVD プレーヤーや BD/DVD レコーダー、デジタルチューナーなどのコピー制御のかかった映像を出力する機器を、ビデオや AV アンプなどを経由して本機につなぐと、コピー制御が働き映像が乱れる場合がありますので、直接本機につないでください。

● 必要に応じて「外部入力設定」47 をしてください。

映像・音声用コードでつなぐとき

S 映像用コードでつなぐとき

● ビデオ入力 2 の S2 映像入力端子と映像入力端子の両方につないだ場合は、S2 映像入力端子が選択されます。

D 端子ケーブルでつなぐとき

HDMI ケーブルでつなぐとき

- HDMI ケーブルは、HDMI ロゴ（HDMI）の表示があるケーブルをご使用ください。また、1080p の映像信号を入力する場合は、High Speed HDMI™ Cable をご使用ください。（一般の HDMI ケーブルでは、正常に動作しないことがあります）
- HDMI ケーブルだけで音声が出ない機器の場合や、HDMI ケーブルの代わりに HDMI-DVI 変換ケーブルを使う機器の場合は、HDMI 入力 2 端子につなぎ、ビデオ 2 の音声入力端子を HDMI 入力 2 用のアナログ音声入力端子として使用することができます。図のように音声用コードもつなぎ、「HDMI2 音声入力設定」47 を「アナログ」に設定してください。

お知らせ

- ビデオ入力 1 の D4 映像入力端子と映像入力端子の両方につないだ場合は、D4 映像入力端子が選択されます。
- 本機の D4 映像入力端子が対応している映像信号　コンポーネント映像信号 480i、480p、720p、1080i
- 本機にはHDMI出力端子付機器を接続できますが、接続する機器によっては映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- 本機の HDMI 入力端子が対応している映像信号　480i、480p、720p、1080i、1080p
- 本機の HDMI 入力端子が対応している音声信号　種類：リニア PCM、サンプリング周波数：48kHz ／ 44.1kHz ／ 32kHz

オーディオ機器をつなぐ

ミニコンポなどの場合

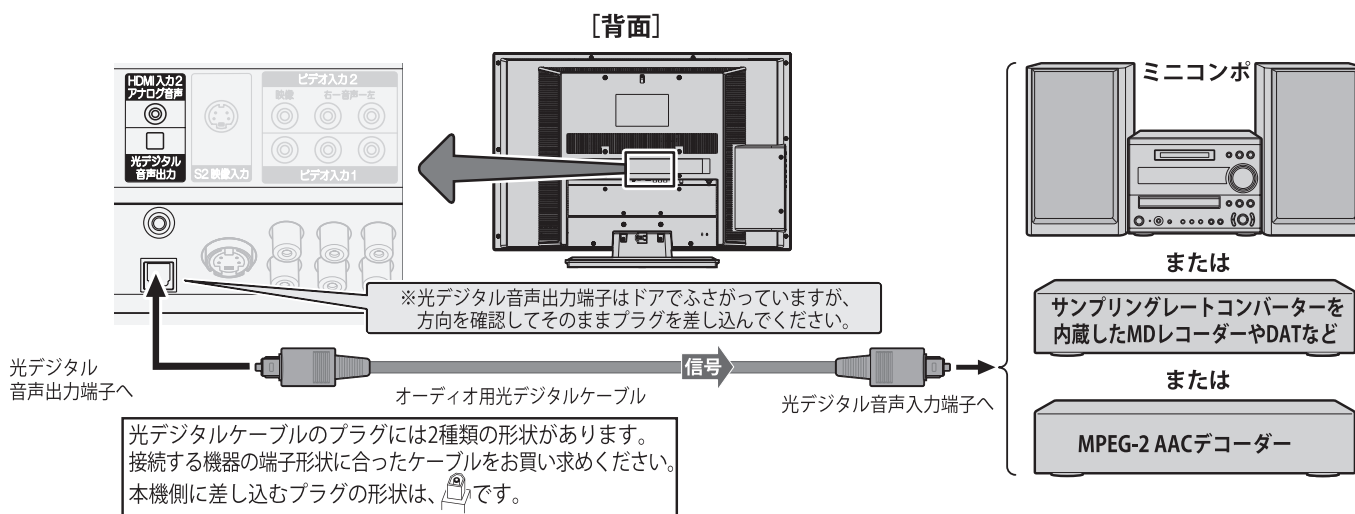
ミニコンポなどの音響システムにつなぐとき

- 本機の音量を最小に調整し、ミニコンポなどの音響システム側で音量を調節してご使用ください。
- 音響システム側が対応しているデジタル音声入力に従って、次ページの「光デジタル音声出力設定」をします。

サンプリングレートコンバーターを内蔵した MD レコーダーや DAT につなぐとき

- MD レコーダーや DAT の光デジタル音声入力端子につなげば、高音質で録音して楽しむことができます。
- 次ページの「光デジタル音声出力」を「PCM」に設定します。

MPEG-2 AAC デコーダーにつなぐとき

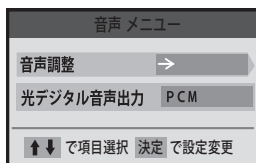
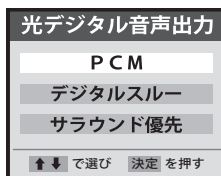
- デジタル放送の MPEG-2 AAC 方式の信号を、MPEG-2 AAC デコーダーで楽しむことができます。
- 次ページの「光デジタル音声出力」を「デジタルスルー」または「サラウンド優先」に設定します。

光デジタル音声出力の設定

● 光デジタル音声出力端子から出力する音声信号の設定です。
● お買い上げ時は、「PCM」に設定されています。
● MPEG-2 AAC デコーダーや AAC デコーダー内蔵アンプをつなぐときは、「デジタルスルー」または「サラウンド優先」に設定してください。

1 以下の操作で「音声設定」画面にする

❶ ◯メニュー を押す

❷ ▲･▼ で「音声メニュー」を選び、決定を押す

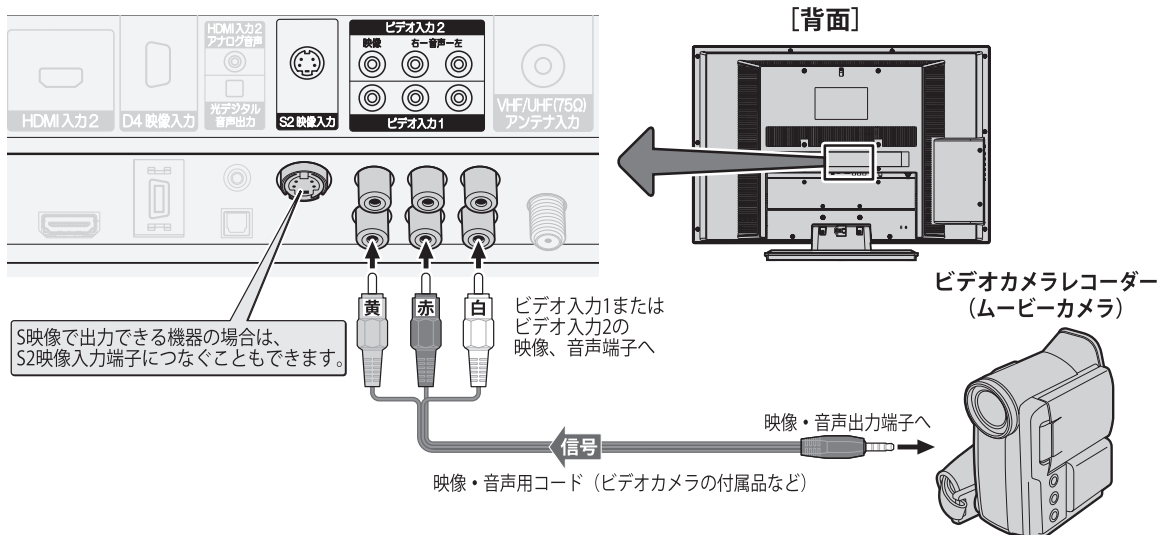
2 ▲･▼ で「光デジタル音声出力」を選び、決定を押す

3 ▲･▼ で信号を選び、決定を押す

- **PCM** ………… リニア PCM 信号が出力されます。
- **デジタルスルー** ……MPEG-2 AAC 信号の場合、その信号が出力されます。
- **サラウンド優先** ……MPEG-2 AAC 信号で、サラウンド音声（5.1ch や 4.1ch サラウンド音声など）の場合には、それらの信号が出力されます。それ以外の場合にはリニア PCM 信号が出力されます。

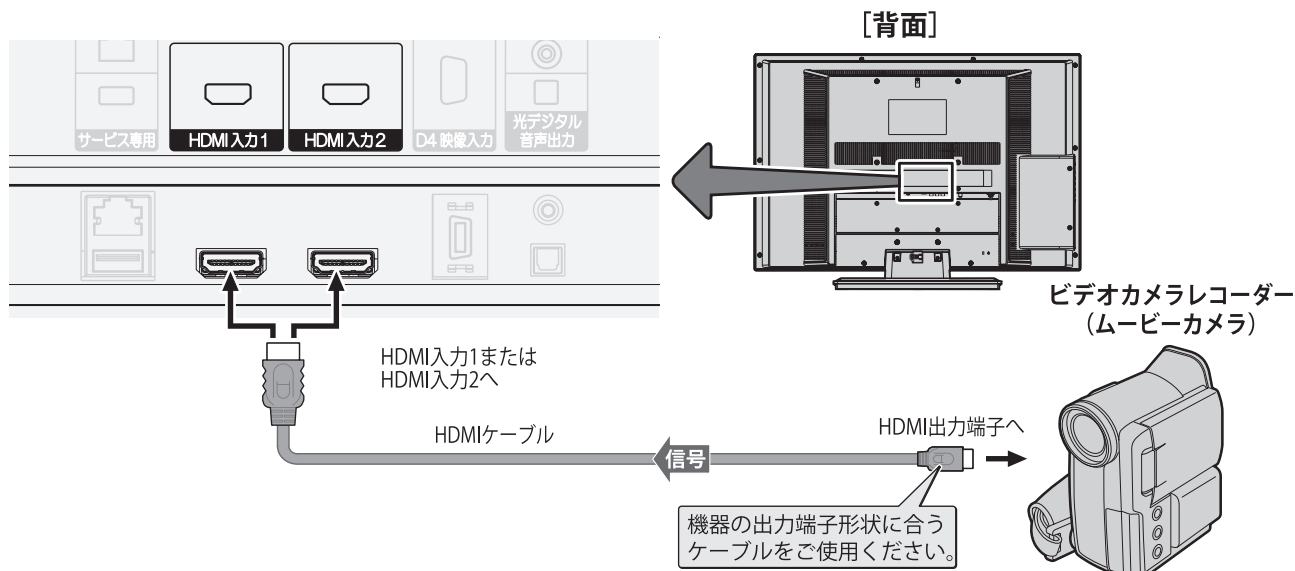
● 光デジタル音声出力端子からは、テレビのスピーカー音と同じ音が出力されます。ただし、音声調整の効果は得られません。
● 光デジタル音声出力設定が「デジタルスルー」や「サラウンド優先」に設定されている場合で、MPEG-2 AAC 音声の場合には、データ放送の一部の音声（効果音など）が光デジタル音声出力端子から出力されないことがあります。
● MPEG-2 AAC 音声の場合には、主音声・副音声の切換は本機では行われません。MPEG-2 AAC デコーダー側で切り換えてください。
● 地上アナログ放送の視聴時およびビデオ入力 1 または 2 を選択しているときは、光デジタル音声出力端子からは設定にかかわらずリニア PCM 信号が出力されます。
● 本機が出力する光デジタル音声出力のサンプリング周波数は、「PCM」（リニア PCM）の場合、48kHz または 32kHz です。
● HDMI 入力を選択しているときは、HDMI 入力端子からリニア PCM の音声信号が入力されているときだけ、光デジタル音声出力端子からリニア PCM 信号が出力されます。（HDMI 入力端子にリニア PCM 以外の音声信号を入力した場合は、設定にかかわらず光デジタル音声出力端子から信号は出力されません）
● HDMI 入力の選択時に光デジタル音声出力端子から出力される信号を、他の機器に録音することはできません。
● サンプリングレートコンバーターを内蔵していない MD レコーダーには、デジタル信号での録音はできません。

ビデオカメラレコーダーをつなぐ

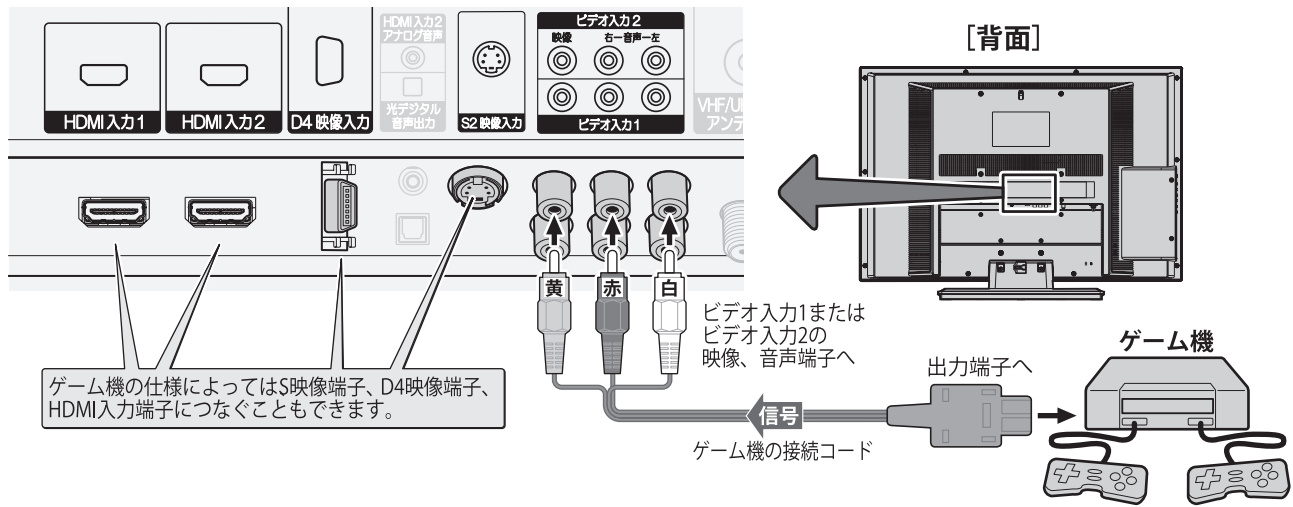
● 本機はデジタルビデオカメラレコーダーの DV 端子との接続はできません。

映像・音声用コードや S 映像用コードでつなぐとき

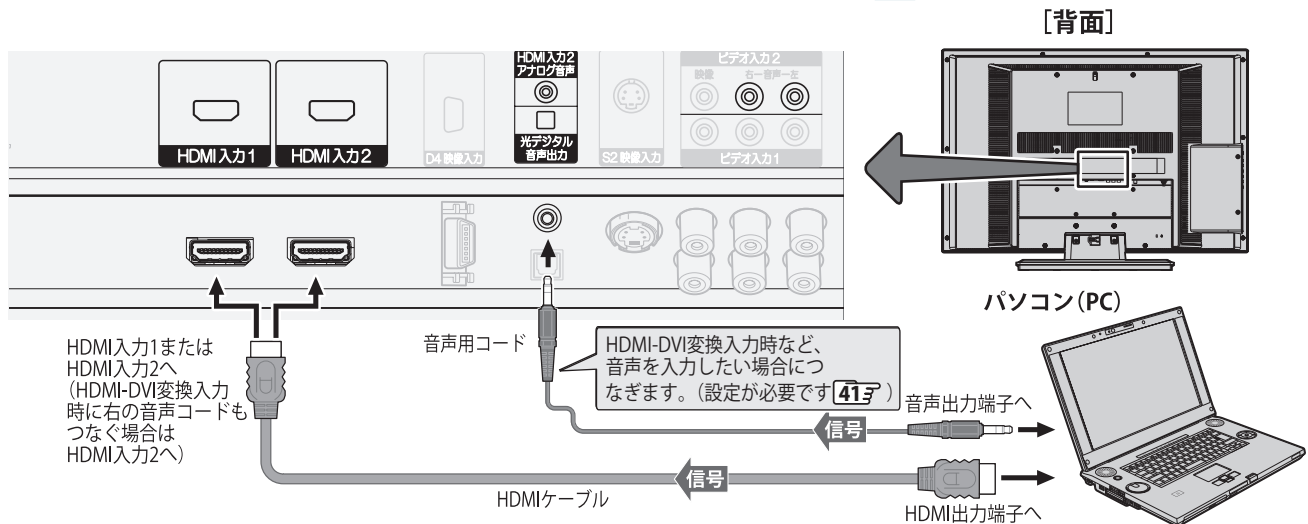
● 映像・音声コードや S 映像用コードでつないだ場合は、480i（標準画質）の映像でだけ視聴できます。

HDMI ケーブルでつなぐとき

● ハイビジョン対応のビデオカメラレコーダーの場合、ハイビジョン画質で視聴するには HDMI ケーブルでつなぎます。（D 端子ケーブルでつなぐこともできます）
● HDMI ケーブルは、HDMI ロゴ（HDMI）の表示があるケーブルをご使用ください。また、1080p の映像信号を入力する場合は、High Speed HDMI™ Cable をご使用ください。（一般の HDMI ケーブルでは、正常に動作しないことがあります）
● 必要に応じて「HDMI 連動設定」46 をしてください。

● 本機の HDMI 入力端子については、41 の「お知らせ」をご覧ください。

ゲーム機をつなぐ

● ゲーム機は、例えばビデオ入力 2 につなぎます。
※ ビデオ入力 1、2 および HDMI 入力 1、2 のどれにでも接続して楽しめます。

外部機器の接続と設定

パソコンをつなぐ

● HDMI 出力端子付のパソコンをつなぐことができます。
● HDMI ケーブルは、HDMI ロゴ（HDMI）の表示があるケーブルをご使用ください。また、1080p の映像信号を入力する場合は、High Speed 対応ケーブルをご使用ください。（一般の HDMI ケーブルでは、正常に動作しないことがあります）
● 外部モニターで表示できるようにパソコンを設定してしてください。詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。
※ HDMI-DVI 変換ケーブルを使えば DVI 出力端子付のパソコンをつなぐこともできます。音声を入力したい場合は、HDMI 入力 2 アナログ音声の入力端子に音声用コードをつなぎ、「HDMI2 音声入力設定」47 を「アナログ」に設定してください。

お知らせ

● パソコンから、本機が対応しているフォーマットの信号を入力してください。対応している信号フォーマットや条件などについては、100 をご覧ください。
● 本機が対応している信号を入力しても、パソコンによっては本機が認識できないことがあります。
● パソコンの DVD 再生ソフトなどで再生した映像は、本機の画面で正しく表示されなかったり、映像の動きが不自然になったりする場合があります。

HDMI連動設定

1 以下の操作で「HDMI 連動設定」画面にする

❶ ◯メニュー を押す

❷ ▲·▼ で「各種設定」を選び、決定 を押す

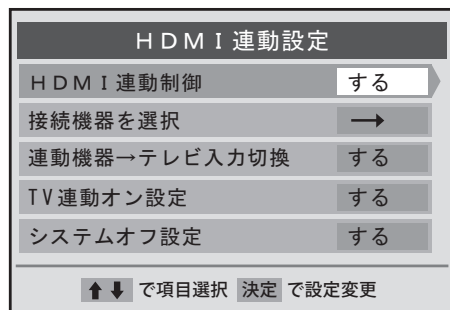
❸ ▲·▼ で「CEC 設定」を選び、決定 を押す

❹ ▲·▼ で「HDMI 連動設定」を選び、決定 を押す

2 設定する項目を ▲·▼ で選んで 決定 を押し、表の手順で設定する

HDMI連動設定

HDMI連動制御	する
接続機器を選択	→
連動機器→テレビ入力切換	する
TV連動オン設定	する
システムオフ設定	する

⬆⬇ で項目選択 決定 で設定変更

3 戻る◯ を押して、メニューを消す

項目	説明および操作手順
HDMI連動制御	● HDMI の各種連動制御を使用するかどうかを設定します。 ❶ ▲·▼ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す
接続機器を選択	● 一台以上の HDMI 連動機器を接続するとき、一つの HDMI 連動機器選択を設定します。 ❶ ▲▼で形名を選び、決定 を押す ❷ 赤 を押すと、HDMI の接続を再検出します。
連動機器→テレビ入力切換	● 連動機器の再生操作をしたときに、本機が自動的に入力切換をして、その機器を選択する機能です。（本機の電源が「入」の場合） ❶ ▲·▼ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す
TV連動オン設定	● 連動機器の電源を入れたときに、本機が自動的に電源を入れます。 ❶ ▲·▼ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す
システムオフ設定	● 本機の電源を切ったときに、連動機器が自動的に電源を切ります。 ❶ ▲·▼ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す

● 本機が連動できる機器は 1 台です。

●「連動機器→テレビ入力切替」、「TV 連動オン設定」、「システムオン設定」の機能は、接続した HDMI 機器と必ず連動することを保証するものではありません。

外部入力設定

外部入力スキップ設定

● 入力切換をするときに、使っていない入力をスキップする（飛び越す）ことができます。

1 以下の操作で「外部入力設定」画面にする

❶ ◯メニュー を押す
❷ ▲･▼ で「各種設定」を選び、決定 を押す
❸ ▲･▼ で「機能設定」を選び、決定 を押す
❹ ▲･▼ で「外部機器接続設定」を選び、決定 を押す

2 ▲･▼ で「外部入力スキップ設定」を選び、決定 を押す

3 設定する外部入力を ▲･▼ で選び、決定 を押す

● 決定 を押すたびに「スキップ」が「する」､「しない」に交互に切り換わります。

外部入力スキップ設定	
ビデオ	スキップ
ビデオオート	する
HDMI 1	しない
HDMI 2	しない

⬆⬇ で選び 決定 で設定 / 解除

「ビデオオート」を選択しているとき

- する ……… 入力切換時に、ビデオ入力 1、2 の入力端子（映像、D4 映像、S2 映像）に何もつながっていない入力をスキップします。
- しない …. 入力切換時にスキップしません（ビデオ入力 1、2 が順に切り換わります）。

「ビデオオート」以外を選択しているとき

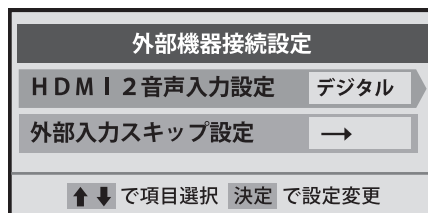
- する ……… 入力切換時にスキップします。
- しない …. 入力切換時にスキップしません。

HDMI2 音声入力設定

● HDMI 入力 2 端子に DVI 出力機器を接続した場合などで、この機器からの音声を本機から出したいときに、ビデオ入力 2 の音声入力端子を HDMI 入力 2 で使用するように設定できます。

1 以下の操作で「外部入力設定」画面にする

❶ ◯メニュー を押す
❷ ▲･▼ で「各種設定」を選び、決定 を押す
❸ ▲･▼ で「機能設定」を選び、決定 を押す
❹ ▲･▼ で「外部機器接続設定」を選び、決定 を押す

2 ▲･▼ で「HDMI2 音声入力設定」を選び、決定 を押す

3 ▲･▼ で以下の項目から選び、決定 を押す

- デジタル ………… HDMI 入力 2 端子に映像、音声ともに入力される場合は、この設定にします。
- アナログ ………… HDMI 入力 2 端子につないだ機器の音声を、HDMI 入力 2 アナログ音声の音声入力端子から入力する場合は、この設定にします。

LAN 端子の接続・設定

LAN 端子設定

●「LAN 端子設定」は、LAN 端子の接続をした場合に設定します。ご契約のプロバイダーから設定内容の指定がある場合は、それをもとに設定します。

1 以下の操作で「LAN 端子設定」画面にする

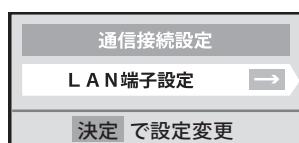
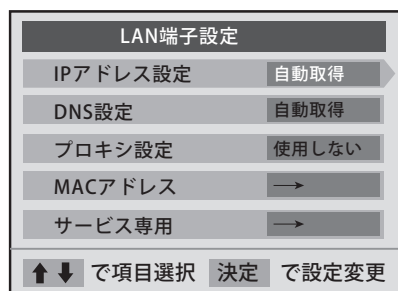
❶ メニュー を押す

❷ ▲·▼ で「各種設定」を選び、決定 を押す。

❸ ▲·▼ で「初期設定」を選び、決定 を押す。

❹ ▲·▼ で「通信設定」を選び、決定 を押す。

❺ ▲·▼ で「通信接続設定」を選び、決定 を押す。

❻ ▲·▼ で「LAN 端子設定」を選び、決定 を押す。

2 設定したい項目を ▲·▼ で選んで 決定 を押し、以下の表の手順に従って設定する

3 設定を有効にするには、本体の電源ボタンで電源を切り、もう一度電源を入れる

項目		説明および操作手順
LAN端子設定	IPアドレス設定	● インターネットに接続するために本機に割り当てられる、固有の番号を設定します。 ※「IP アドレス自動取得」を「しない」に設定した場合は、「DNS 設定」の「DNS アドレス自動取得」は、自動的に「しない」に設定されます。その場合は、DNS アドレスを手動で設定してください。 ❶ ▲·▼ で「IP アドレス設定」を選び、決定 を押す ❷ IP アドレスを自動取得できる場合は、◀·▶ で「する」を選ぶ ■ IP アドレスを自動取得できないネットワーク環境の場合 ① ◀·▶ で「しない」を選ぶ ② ▲·▼ で「IP アドレス」を選び、1～10/0で入力する ③ ▲·▼ で「サブネットマスク」を選び、1～10/0で入力する ④ ▲·▼ で「デフォルトゲートウェイ」を選び、1～10/0で入力する • ②～④では 0 ～ 255 の範囲の数字（左端の欄は 0 以外）を 4 箇所の欄に入力します。 • 欄を移動するには、◀·▶ を押します。 ❸ 決定 を押す

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>説明および操作手順</th></tr>
<tr><td rowspan="3">LAN端子設定　つづき</td><td>DNS設定</td><td>● ドメイン名をIPアドレスに置き換える機能を持ち、IPアドレスで特定されているDNSサーバーを設定します。
※「IPアドレス自動取得」を「しない」に設定した場合は、「DNSアドレス自動取得」は自動的に「しない」に設定され、「する」にはできません。DNSアドレスを手動で設定してください。
❶ ▲･▼で「DNS設定」を選び、決定を押す
❷ DNSアドレスを自動取得できる場合は、◀･▶で「する」を選ぶ
■ DNSアドレスを自動的に割り当てられないネットワーク環境の場合
① ◀･▶で「しない」を選ぶ
② ▲･▼で「DNSアドレス（プライマリ）」を選び、1～10/0で入力する
③ ▲･▼で「DNSアドレス（セカンダリ）」を選び、1～10/0で入力する
・ ②と③では0～255の範囲の数字（左端の欄は0以外）を4箇所の欄に入力します。
・ 欄を移動するには、◀･▶を押します。
❸ 決定を押す</td></tr>
<tr><td>プロキシ設定</td><td>● インターネットとの接続時にプロキシ（代理）サーバーを経由する場合に設定します。
● ご契約のプロバイダーから指定がある場合にだけ設定してください。
● ここでのプロキシ設定はHTTPに関するものです。
❶ ▲･▼で「プロキシ設定」を選び、決定を押す
❷ ▲･▼で「使用する」を選び、決定を押す
❸ ▲･▼で「サーバー名」を選び、決定を押す
❹ サーバー名を入力する
・ 文字入力モードを切換えるには [画面表示] を押し◀・▶入力モードを選択し (決定) を押す。
・ 入力できる文字は半角英字／半角数字で、記号は半角です。
❺ ▲･▼で「ポート番号」を選び、1～10/0でポート番号を入力する
❻ ▲･▼で「設定完了」を選び、決定を押す</td></tr>
<tr><td>MACアドレス</td><td>● ネットワーク上につながっている機器を識別するために本機に割り当てられている番号です。
❶ ▲･▼で「MACアドレス」を選び、決定を押す
❷ MACアドレスを確認したら、決定を押す</td></tr>
</table>

■ IPアドレス設定について
- 本機に接続されたルーターのDHCP機能がONのときは、「自動取得」を「する」「しない」のどちらでも設定できます。（通常は、「する」に設定してください。「しない」に設定した場合は手動での設定が必要です）
- ルーターのDHCP機能がOFFのときは、「自動取得」を「しない」にして、手動で設定してください。
- 手動で設定する際は、他の接続機器とIPアドレスが重複しないように設定してください。また、設定する固定IPアドレスはプライベートアドレスでなければなりません。
- 設定終了後、本機に設定されたIPアドレスとルーターのローカル側に設定されたIPアドレスのネットワークID部分がそれぞれ同じであることを確認してください。（詳しくは、ルーターの取扱説明書をご覧ください）
- 「自動取得」を「する」に設定した場合、IPアドレスは表示されません。

■ DNS設定について
- 本機に接続されたルーターのDHCP機能がONのときは、DNSアドレスの「自動取得」を「する」「しない」のどちらでも設定できます。（通常は、「する」に設定してください。「しない」に設定した場合は手動での設定が必要です）
- 本機に接続されたルーターのDHCP機能がOFFのときは、DNSアドレスの「自動取得」を「しない」にして、プロバイダーから指定されたものを手動で設定してください。（プロバイダーによって設定方法が異なります。プロバイダーとの契約内容に沿った設定をしてください）
- 「自動取得」を「する」に設定した場合、DNSアドレスは表示されません。

■ PPPoEの設定について
- 本機ではPPPoEの設定はできません。PPPoEはルーター側に設定してください。（設定にはパソコンが必要です）

■ サービス専用について
- サービスマン専用の機能であり、お客様はご使用にならないでください。

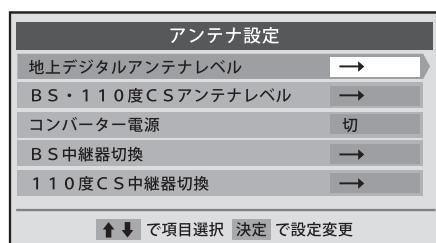
アンテナの方向調整と設定

地上デジタル用アンテナの方向調整

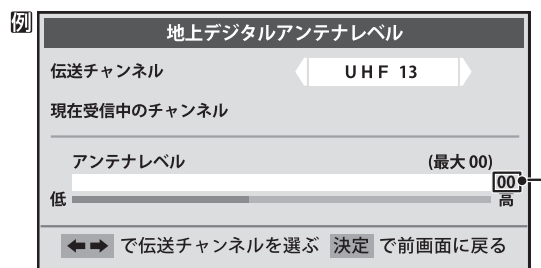
●「はじめての設定」をしても地上デジタル放送が正しく受信できなかったときは、お買い上げの販売店などにご相談のうえ、以下の操作でアンテナの方向調整をしてください。

1 以下の操作で「アンテナ設定」画面にする

❶〇メニュー を押す
❷ ▲･▼ で「各種設定」を選び、決定 を押す
❸ ▲･▼ で「初期設定」を選び、決定 を押す
❹ ▲･▼ で「アンテナ設定」を選び、決定 を押す

2 ▲･▼ で「地上デジタルアンテナレベル」を選び、決定 を押す

3 ◀･▶ で「伝送チャンネル」を選ぶ

● お住まいの地域の地上デジタル放送に使用されている伝送チャンネルを選んでください。
● ◀･▶ を押すたびに以下のように切り換わります。

VHF1～VHF12 ↔ UHF13～UHF62 ↔ CATV13～CATV63

例
受信できるアンテナレベルの目安は、43以上です。
（表示される数値は、受信C/Nを換算したものです）

4 アンテナをゆっくり動かして、「アンテナレベル」の数値が最大となるように調整する

● アンテナレベルの増減に応じて、棒グラフが表示されます。

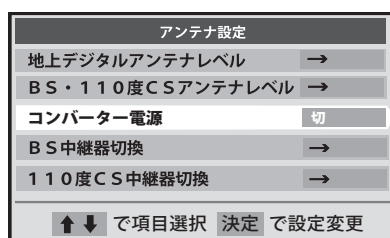
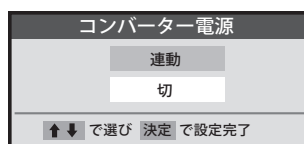
5 アンテナを固定して、決定 を押す

BS・110 度 CS デジタル用アンテナ電源供給設定

● アンテナに供給する電源をアンテナ電源といいます。
● お買い上げ時は、「切」に設定されています。
マンションなどで、アンテナに他の機器から電源が供給されているときは、「切」に設定します。

1 以下の操作で「アンテナ設定」画面にする

❶〇メニュー を押す
❷ ▲･▼ で「各種設定」を選び、決定 を押す
❸ ▲･▼ で「初期設定」を選び、決定 を押す
❹ ▲･▼ で「アンテナ設定」を選び、決定 を押す

2 ▲･▼ で「コンバーター電源」を選び、決定 を押す

3 ▲･▼ で「連動」または「切」を選び、決定 を押す

■ BS・110 度 CS デジタル用アンテナのアンテナ電源供給設定について
● 本機の電源を入れないで、DVD レコーダー単独で録画するときなどは、本機以外からアンテナ電源を供給する必要があります。

BS・110度CSデジタル用アンテナの方向調整

● アンテナの方向調整は、お買い上げの販売店にご相談ください。

1 **以下の操作で「アンテナ設定」画面にする**

❶ ◯メニュー を押す

❷ ▲･▼ で「各種設定」を選び、決定 を押す

❸ ▲･▼ で「初期設定」を選び、決定 を押す

❹ ▲･▼ で「アンテナ設定」を選び、決定 を押す

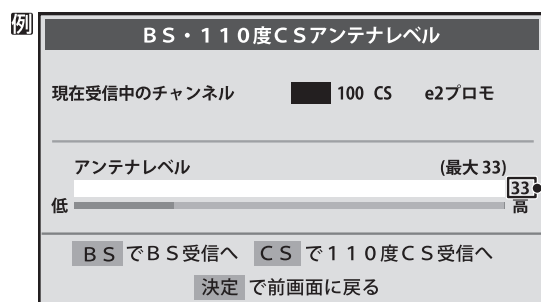
2 **▲･▼ で「BS•110度CSアンテナレベル」を選び、決定 を押す**

3 **BS または CS を押して、放送の種類（BS または 110 度 CS）を選ぶ**

4 **契約しているチャンネル、または無料チャンネルを チャンネル で選ぶ**

5 **アンテナをゆっくり動かして、「アンテナレベル」の数値が最大となるように調整する**

● 画面のアンテナレベルの最大値を参考に、アンテナを固定したあとにレベル値が下がっていないことを確認してください。

例

受信できるアンテナレベルの目安は、BSデジタルが36以上、110度CSデジタルが28以上です。
（表示される数値は、受信C/Nを換算したものです）

6 **アンテナを固定して、決定 を押す**

BS中継器切換／110度CS中継器切換

● 衛星の中継器が故障してすべての放送が受信できなくなってしまったときに、他の中継器に切り換えると、故障した中継器以外の放送が受信できます。通常は切換えの必要はありません。
● そのほかにも、外部機器からの電波の妨害などで一部の中継器が受信できない場合も同様です。

1 **以下の操作で「アンテナ設定」画面にする**

❶ ◯メニュー を押す

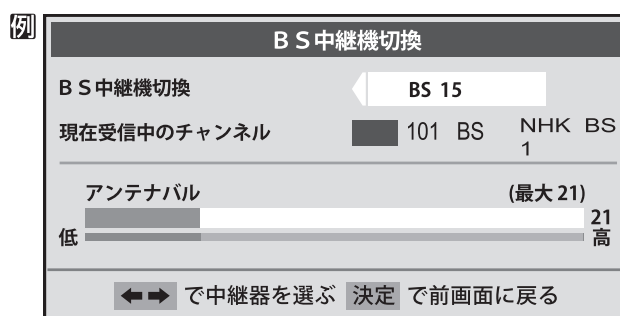
❷ ▲･▼ で「各種設定」を選び、決定 を押す

❸ ▲･▼ で「初期設定」を選び、決定 を押す

❹ ▲･▼ で「アンテナ設定」を選び、決定 を押す

2 **▲･▼ で「BS中継器切換」または「110度CS中継器切換」を選び、決定 を押す**

3 **◀･▶ で中継器を切り換え、放送が受信できたら、決定 を押す**

例

BS中継器切換の場合

● 選択できる中継器は
- BSデジタル放送の場合：
  BS1、BS3、BS5、BS7、BS9、BS11、BS13、BS15
- 110度CSデジタル放送の場合：
  ND2、ND4、ND6、ND8、ND10、ND12、ND14、ND16、ND18、ND20、ND22、ND24

外部機器の接続と設定

■ BS・110度CSデジタル用アンテナの方向調整について
● アンテナ線がショートしていると、手順**5**の画面に「アンテナ線がショートしています。」のメッセージが表示されます。その場合は、本体の電源ボタンで電源を切ってから電源プラグを抜き、ショートの原因を取り除いてから、もう一度電源を入れて手順**1**からやり直してください。

チャンネル設定

- 「はじめての設定」34 が済んでいて、特に変更の必要がない場合は「チャンネル設定」をする必要はありません。
- チャンネル設定には、「自動設定」と「手動設定」55 があります。

自動設定

- 「自動設定」では、地上アナログ放送と地上デジタル放送が設定できます。
- BS デジタルチャンネルと一部の 110 度 CS デジタルチャンネルについては、お買い上げ時に設定されています。

地上アナログ放送の場合

- テレビをご覧になる地域で放送されているチャンネル（VHF/UHF）を自動で設定することができます。
- お買い上げ時は、リモコンのチャンネルボタン 1 ～ 12 には、VHF の チャンネルがボタンの数字に合わせて設定されています。
- 地上アナログ自動設定は、「地上アナログ放送の自動設定一覧表」（105 ～ 109）の内容で設定されますが、チャンネルが変更されて受信できなくなることがあります。受信できないチャンネルがあるときは、「手動設定」55 で設定してください。

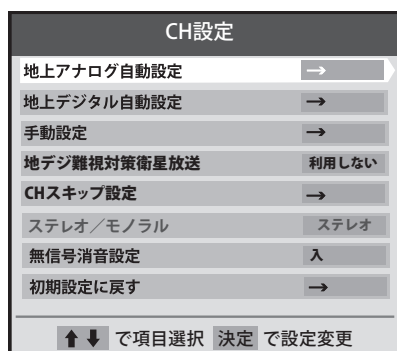
1 以下の操作で「CH 設定」画面にする

❶ メニュー を押す
❷ ▲・▼ で「各種設定」を選び、決定 を押す
❸ ▲・▼ で「初期設定」を選び、決定 を押す
❹ ▲・▼ で「CH 設定」を選び、決定 を押す

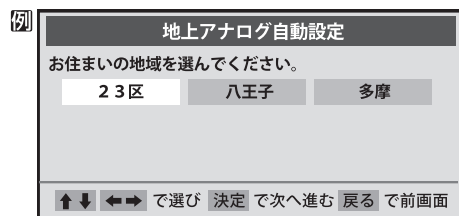
2 ▲・▼ で「地上アナログ自動設定」を選び、決定 を押す

CH設定

項目	設定
地上アナログ自動設定	→
地上デジタル自動設定	→
手動設定	→
地デジ難視対策衛星放送	利用しない
CHスキップ設定	→
ステレオ／モノラル	ステレオ
無信号消音設定	入
初期設定に戻す	→

⬆⬇ で項目選択 決定 で設定変更

3 お住まいの地方を ▲・▼・◀・▶ で選び、決定 を押す

例
4 お住まいの都道府県を ▲・▼・◀・▶ で選び、決定 を押す

例
5 お住まいの地域・都市を ▲・▼・◀・▶ で選び、決定 を押す

例
- お住まいの地域や都市名が記載されていない場合は、アンテナが向いている近くの地域名を選びます。
- 自動で設定されるチャンネルについては、105 ～ 109 の一覧表をご覧ください。
- 設定された内容を変更したい場合は、「手動設定」55 をしてください。

■ 地上アナログ放送のチャンネル設定について
- お使いの地域・都市名で地上アナログ自動設定をしても正しく受信できない場合は、37 をご覧ください。
- 設定したチャンネルを一覧表示して確認する場合や、受信できないチャンネルがあるときは、「手動設定」の「地上アナログ放送の場合」55 で設定してください。

自動設定　つづき

地上デジタル放送の場合

● 地上デジタル放送の自動設定には、引越しなどで受信地域が変わったときにする「初期スキャン」と、放送チャンネルに変更があったときにする「再スキャン」があります。

初期スキャン

● 受信可能なチャンネルを自動的に探して、リモコンの[1]～[12]に放送の運用規定に基づいて設定します。

●「初期スキャン」をするとこれまでに選局設定した内容は、すべて消去されて、設定し直されますのでご注意ください。ただし、各放送局ごとにお客様が本機に記憶させた住所・氏名などの個人情報、お客様のポイント数などは消去されません。

●「はじめての設定」終了後、新たに開局した地上デジタル放送チャンネルを登録する場合や中継局が新設、変更された場合は、次ページの「再スキャン」をしてください。

● 自動設定される内容は「地上デジタル放送の放送（予定）一覧表」（110～111）が目安となります。

1 **以下の操作で「地上デジタル自動設定」画面にする**

❶ ○メニュー を押す

❷ ▲·▼ で「各種設定」を選び、決定 を押す

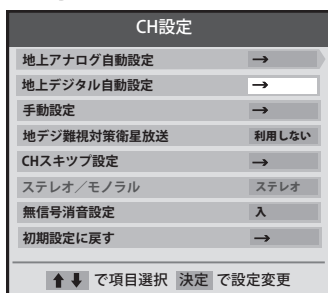
❸ ▲·▼ で「初期設定」を選び、決定 を押す

❹ ▲·▼ で「CH 設定」を選び、決定 を押す

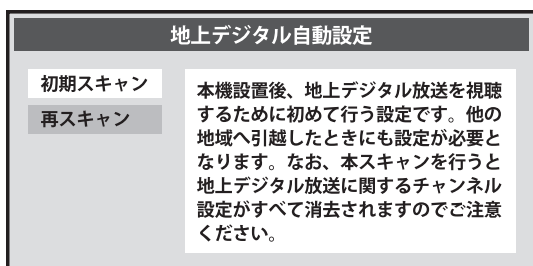
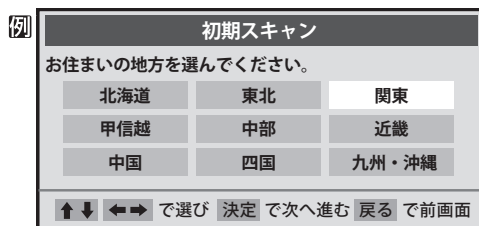
❺ ▲·▼ で「地上デジタル自動設定」を選び、決定 を押す

CH設定

地上アナログ自動設定	→
地上デジタル自動設定	→
手動設定	→
地デジ難視対策衛星放送	利用しない
CHスキップ設定	→
ステレオ／モノラル	ステレオ
無信号消音設定	入
初期設定に戻す	→

⬆⬇ で項目選択 決定 で設定変更

2 **▲·▼ で「初期スキャン」を選び、決定 を押す**

3 **お住まいの地方を ▲·▼·◀·▶ で選び、決定 を押す**

例

4 **お住まいの都道府県または地域を ▲·▼·◀·▶ で選び、決定 を押す**

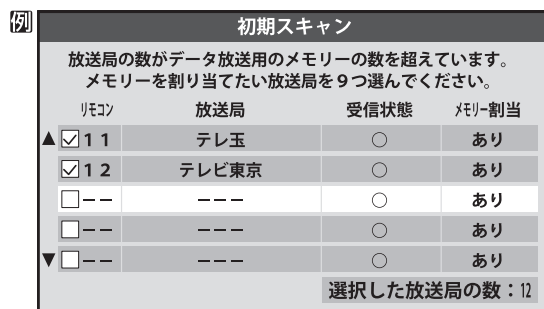
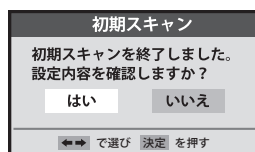
● 下図の画面が表示された場合は「データ放送用メモリーの割当て」63 をしてください。

例

初期スキャン

放送局の数がデータ放送用のメモリーの数を超えています。
メモリーを割り当てたい放送局を９つ選んでください。

リモコン	放送局	受信状態	メモリー割当
▲☑１１	テレ玉	○	あり
☑１２	テレビ東京	○	あり
□－－	－－－	○	あり
□－－	－－－	○	あり
▼□－－	－－－	○	あり

選択した放送局の数：12

5 **初期スキャン終了のメッセージ画面が表示されたら、以下の操作をする**

設定された内容を確認する場合

❶ ◀·▶ で「はい」を選び、決定 を押す

❷ 設定内容を確認したら 決定 を押す

● 設定された内容を変更したい場合は、「初期スキャン」終了後に「手動設定」56 をしてください。

設定された内容を確認しない場合

❶ ◀·▶ で「いいえ」を選び、決定 を押す

●「はじめての設定」28 と「初期スキャン」では、地方・都道府県・地域の設定のしかたが異なっています。これは「はじめての設定」では、地上アナログと地上デジタルの設定を同時にまとめて行っているためです。

チャンネル設定 つづき

再スキャン

- 新たに放送局が開局したりしてチャンネルがふえた場合など、放送に変更があった場合は、「再スキャン」をすればチャンネルを追加設定することができます。
- 「初期スキャン」（35 または 53）をしていないと「再スキャン」はできません。

1 以下の操作で「地上デジタル自動設定」画面にする

❶ ○メニュー を押す

❷ ▲・▼ で「各種設定」を選び、決定 を押す

❸ ▲・▼ で「初期設定」を選び、決定 を押す

❹ ▲・▼ で「CH 設定」を選び、決定 を押す

❺ ▲・▼ で「地上デジタル自動設定」を選び、決定 を押す

2 ▲・▼ で「再スキャン」を選び、決定 を押す

- データ放送用のメモリー割当画面面面（前ページ手順 **4** 参照）が表示された場合は 63 をご覧ください。
- 再スキャンの結果、放送に変更があった場合は、1～12 の設定方法を選ぶ画面が表示されます。
  ▲・▼ でどちらかを選び、決定 を押します。
  - すべて設定し直す ………… 地上デジタル放送のすべての設定をし直します。
  - 現在の設定に追加する … 1～12 の未設定のボタンだけを新たに設定します。

3 再スキャン終了のメッセージ画面が表示されたら、以下の操作をする

設定された内容を確認する場合

❶ ◀・▶ で「はい」を選び、決定 を押す

❷ 設定内容を確認したら 決定 を押す

- 設定された内容を変更する場合は、「再スキャン」終了後に「手動設定」56 をしてください。

設定された内容を確認しない場合

❶ ◀・▶ で「いいえ」を選び、決定 を押す

■「再スキャン」の動作について

- 前ページの「初期スキャン」の場合は、チャンネルボタン1～12にすでに設定されている放送局をすべて消去して新たに放送局を設定し直しますが、「再スキャン」では次のようになります。
  - 放送局がすでに登録されているチャンネルボタンについて、「再スキャン」によって放送システム上の規定で設定すべき放送局が新たに見つかった場合、すでに登録されている放送局をそのまま残すのか、新たな放送局に設定し直すのかの選択ができます（手順 **2** の操作）。（すべてのボタンについてまとめて選択します。個別の選択はできません。個別に設定を変えたい場合は、「再スキャン」終了後に「手動設定」56 をしてください）
  - 新たな放送局が見つからなかったチャンネルボタンについては、そのまま設定が残ります。
- 「再スキャン」終了後の各チャンネルの構成については、番組表で確認できます。（70）
- 「再スキャン」によってチャンネルが設定されても、電波が弱い場合には正常には受信できないことがあります。

手動設定

● リモコンのボタンに設定されている内容を変更したいときに手動設定をします。

地上アナログ放送（VHF ／ UHF ／ CATV C13 〜 C63）の場合

● 以下の場合にも手動設定をしてください。
- 自動設定で正しく受信できないとき
- 設定されたチャンネル表示を変えたいとき
- CATV のチャンネルを 1 〜 12 に設定したいとき

1 **以下の操作で「手動設定」画面にする**

❶ ○メニュー を押す
❷ ▲·▼ で「各種設定」を選び、決定 を押す
❸ ▲·▼ で「初期設定」を選び、決定 を押す
❹ ▲·▼ で「CH 設定」を選び、決定 を押す
❺ ▲·▼ で「手動設定」を選び、決定 を押す

2 **▲·▼ で「地上アナログ」を選び、決定 を押す**

3 **設定を変更したいチャンネルボタン（ 1 〜 12 ）の数字を ▲·▼ で選び、決定 を押す**

4 **次の❶〜❹の手順で、それぞれの項目を設定する**

例

❶ **▲·▼ で「チャンネル」を選び、◀·▶ で地上アナログ放送のチャンネルを選ぶ**
- ◀·▶ を押すと次のように切り換わります。
  （◀·▶ を押し続けると、チャンネルを早く切り換えることができます）

  地上アナログ放送（1〜62） ⟷ CATV（C13〜C63）

- 色が消えたり、映像が不安定になったりしたときに、青 と 黄 で微調整するとよくなる場合があります。
  ※ 調整前の状態に戻すには ◀·▶ でチャンネルを選び直してください。

❷ **▲·▼ で「表示」を選び、画面に表示させるチャンネル番号を ◀·▶ で選ぶ**
- ◀·▶ を押すと次のように切り換わります。

  地上アナログ放送（1〜62） ⟷ CATV（C13〜C63）
  BSアナログ放送（BS1、BS3、…BS15）（CATVで放送されている場合）

❸ **▲·▼ で「放送局」を選び、◀·▶ で放送局名を選ぶ**
- 「表示しない」を選ぶこともできます。

❹ **▲·▼ で「受信地域」を選び、◀·▶ でアンテナを向けている放送局の地域を選ぶ**

5 **決定 を押す**

※ 他のボタンの設定も変更する場合は、手順 **3** 〜 **5** を繰り返します。

外部機器の接続と設定

お知らせ

● 「チャンネル設定」をした地上アナログチャンネルは、「チャンネルスキップ設定」59 で「受信」に設定してください。
● 手動設定をしたあとで、「地上アナログ自動設定」52 や「はじめての設定」34 をすると、手動設定をした内容が消えますので再度設定をしてください。

■ CATV（ケーブルテレビ）について
● CATV の受信は、サービスの行われている地域でだけ可能で、使用する機器ごとに CATV 会社との受信契約が必要です。詳しくは、CATV 会社にご相談ください。

チャンネル設定 つづき

地上デジタル放送の場合

● はじめて地上デジタル放送のチャンネル設定をする場合は、「初期スキャン」53 をしてください。「初期スキャン」が行われていない状態では、「手動設定」はできません。

1 以下の操作で「手動設定」画面にする

❶ ○メニュー を押す

❷ ▲･▼ で「各種設定」を選び、決定 を押す

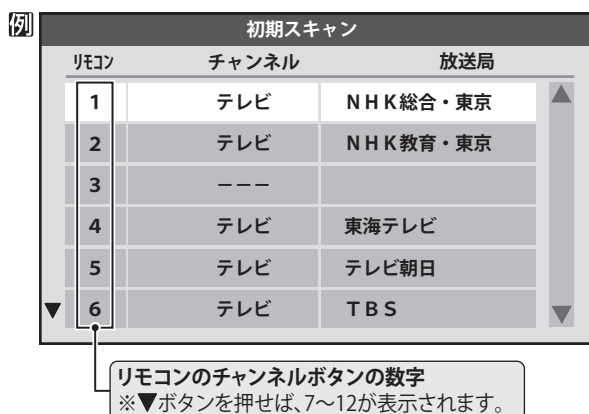
❸ ▲･▼ で「初期設定」を選び、決定 を押す

❹ ▲･▼ で「CH 設定」を選び、決定 を押す

❺ ▲･▼ で「手動設定」を選び、決定 を押す

2 ▲･▼ で「地上デジタル」を選び、決定 を押す

3 設定を変更したいチャンネルボタン（1～12）の数字を ▲･▼ で選び、決定 を押す

例

4 ▲･▼ で「チャンネル」を選び、◀･▶ で地上デジタルのチャンネルを選ぶ

例

● ◀･▶ を押すと次のように切り換わります。
（◀･▶ を押し続けると、チャンネルを早く切り換えることができます）

●「チャンネル」の欄に「－－－」が表示されているときは、その番号のボタンにチャンネルが設定されていません。

「テレビ」または「データ」を選んだ場合

● 手順 **3** で選んだ番号のボタンに、同じ放送局の複数のテレビ放送チャンネルまたは複数のデータ放送チャンネルがまとめて設定されます。

❶ ▲･▼ で「放送局」を選ぶ

❷ ▲･▼ で設定したい放送局名を選ぶ

(例) 手順 **3** で「6」を選び、ここで「テレビ」を選ぶと、視聴時の操作で 6 を押すたびに、「TBS」の「テレビ」チャンネルが順次選局できます。

地上デジタルのチャンネルを選んだ場合

● 手順 **3** で選んだ番号のボタンに、ここで選んだ地上デジタルのチャンネルだけが設定されます。
※「放送局」の欄には選んだチャンネルの放送局名が表示されます（これを変えることはできません）。

(例) 手順 **3** で「6」を選び、ここで「地デジ 071」を選ぶと、視聴時の操作で 6 を押したときに 071 チャンネルだけが選局できます。

5 決定 を押す

※ 他のボタンの設定も変更する場合は、手順 **3** ～ **5** を繰り返します。

6 ▶ を押して、設定を保存する

● 手動設定をしたあとで、「初期スキャン」53 や「はじめての設定」34 をすると、手動設定をした内容が消えますので再度設定をしてください。

手動設定　つづき

BS デジタル放送の場合

1 **以下の操作で「手動設定」画面にする**

❶ ◯メニュー を押す

❷ ▲·▼ で「各種設定」を選び、決定を押す

❸ ▲·▼ で「初期設定」を選び、決定を押す

❹ ▲·▼ で「CH 設定」を選び、決定を押す

❺ ▲·▼ で「手動設定」を選び、決定を押す

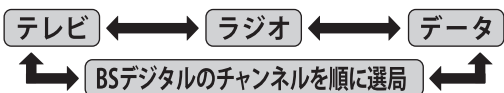
2 **▲·▼ で「BS」を選び、決定を押す**

3 **設定を変更したいチャンネルボタン（1～12）の数字を ▲·▼ で選び、決定を押す**

リモコンのチャンネルボタンの数字
※▼ボタンを押せば、7～12が表示されます。

4 **▲·▼ で「チャンネル」を選び、◀·▶ で BS デジタルのチャンネルを選ぶ**

● ◀·▶ を押すと次のように切り換わります。（◀·▶ を押し続けると、チャンネルを早く切り換えることができます）

テレビ ⟷ ラジオ ⟷ データ ⟷ BSデジタルのチャンネルを順に選局

●「チャンネル」の欄に「ーーー」が表示されているときは、その番号のボタンにチャンネルが設定されていません。

■ **「テレビ」、「データ」、または「ラジオ」を選んだ場合**

● 一つのボタンに、同じ放送局の複数のテレビ放送チャンネル、または複数データ放送のチャンネル、または複数のラジオ放送チャンネルがまとめて設定されます。

❶ ▲·▼ で「放送局」を選ぶ

❷ ◀·▶ で設定したい放送局名を選ぶ

（例）手順 **3** で「4」を選び、ここで「テレビ」を選ぶと、視聴時の操作で 4 を押すたびに、「BS 日テレ」のテレビ放送チャンネルが順次選局できます。

■ **BS デジタルのチャンネルを選んだ場合**

● 手順 **3** で選んだ番号のボタンに、ここで選んだ BS デジタル放送のチャンネルだけが設定されます。

※「放送局」の欄には選んだチャンネルの放送局名が表示されます（これを変えることはできません）。

（例）手順 **3** で「4」を選び、ここで「BS141」を選ぶと、視聴時の操作で 4 を押したときに 141 チャンネルだけが選局できます。

5 **決定を押す**

※ 他のボタンの設定も変更する場合は、手順 **3 ～ 5** を繰り返します。

チャンネル設定 つづき

110 度 CS デジタル放送の場合

1 **以下の操作で「手動設定」画面にする**

❶ ○メニュー を押す
❷ ▲·▼ で「各種設定」を選び、決定を押す
❸ ▲·▼ で「初期設定」を選び、決定を押す
❹ ▲·▼ で「CH 設定」を選び、決定を押す
❺ ▲·▼ で「手動設定」を選び、決定を押す

2 **▲·▼ で「110 度 CS」を選び、決定を押す**

3 **設定を変更したいチャンネルボタン（1～12）の数字を▲·▼で選び、決定を押す**

4 **▲·▼で「チャンネル」を選び、◀·▶ で 110 度 CS デジタルのチャンネルを選んで、決定を押す**

- ◀·▶ を押すとすべてのチャンネルが番号順に切り換わります。
（◀·▶ を押し続けると、チャンネルを早く切り換えることができます）
- 放送メディア（テレビ／ラジオ／データ）を指定することはできません。
- リモコンの 1 ～ 12 押したときに、ここで選んだチャンネルが選局されます。
- 「チャンネル」の欄に「－－－」が表示されているときは、その番号のボタンにチャンネルが設定されていません。
- 「放送局」の欄には、選んだチャンネルの放送局名が表示されます。（放送局名を変えることはできません）

※ 他のボタンの設定も変更する場合は、手順 **3**、**4** を繰り返します。

チャンネル設定の内容を削除する

- デジタル放送のチャンネル設定の内容を削除できます。

1 **以下の操作で「手動設定」画面にする**

❶ ○メニュー を押す
❷ ▲·▼ で「各種設定」を選び、決定を押す
❸ ▲·▼ で「初期設定」を選び、決定を押す
❹ ▲·▼ で「CH 設定」を選び、決定を押す
❺ ▲·▼ で「手動設定」を選び、決定を押す

2 **放送の種類（「地上デジタル」、「BS」、「110 度 CS」）を ▲·▼ で選び、決定を押す**

3 **設定内容を削除したいチャンネルボタンの数字を▲·▼で選び、決定を押す**

4 **▲·▼で「設定を削除する」を選び、決定を押す**

例

※ 他のボタンの設定も削除する場合は、手順 **3**、**4** を繰り返します。

5 **「地上デジタル」の場合は、▶ を押して設定を保存する**

チャンネルスキップ設定

● (チャンネル) で選局するときに、不要なチャンネルを飛び越すことができます。

● CATV チャンネルは、お買い上げ時は「スキップ」になっています。受信するには、以下の手順で「受信」に設定してください。

1 **以下の操作で「CH スキップ設定」画面にする**

❶ ◯メニュー を押す

❷ ▲·▼ で「各種設定」を選び、(決定) を押す

❸ ▲·▼ で「初期設定」を選び、(決定) を押す

❹ ▲·▼ で「CH 設定」を選び、(決定) を押す

❺ ▲·▼ で「CH スキップ設定」を選び、(決定) を押す

2 **設定したい放送の種類を ▲·▼ で選び、(決定) を押す**

3 **スキップ設定を変更したいチャンネルを ▲·▼ で選び、(決定) を押す**

例

地上アナログチャンネルスキップ設定

リモコン	チャンネル	放送局	スキップ
1	1		スキップ
2	2	NHK教育	受信
3	3		スキップ
4	33	TVh	受信
5	37	UHB	受信
6	39	HTB	受信

⬆⬇ で選び 決定 で設定 / 解除 戻る で前画面

（例）手順**2**で「地上アナログ」を選んだ場合

● (決定) を押すたびに「受信」⇔「スキップ」と交互に切り換わります。

● デジタル放送の放送メディア（テレビ／ラジオ／データ）を変えるときは、青 を押します。

● 1 ～ 12 に割り当てた CATV チャンネル（C13 ～ C63）は、「リモコン」欄が 1 ～ 12 よりも下のリストで「設定済み」として表示されます。

※ **他のチャンネルの設定をする場合は、手順 3 を繰り返します。**

（違う放送のチャンネルを設定する場合は、戻る◯を押し、手順 **2** から操作してください）

■ 受信・スキップの設定ができるチャンネル

● **地上アナログ放送**

1 ～ 12 に割り当てられた地上アナログ放送と CATV チャンネル、その他の CATV チャンネル

● **デジタル放送**

受信可能なチャンネル

■ 自動設定をしたあとのチャンネルスキップ設定

● **地上アナログ放送**

1 ～ 12 にチャンネルが割り当てられているボタンは「受信」、チャンネルが割り当てられていないボタンは「スキップ」に設定されています。

● **地上デジタル放送**

スキップ設定はありません。

● **CATV/BS・110 度 CS デジタル放送**

自動設定前と同じです。

● 放送局の代表チャンネルを「スキップ」に設定すると、その放送局の代表チャンネル以外のチャンネルもスキップします。代表チャンネル以外のチャンネルを「スキップ」に設定した場合は、代表チャンネルは選局できます。

チャンネル設定 つづき

ステレオ／モノラルの設定

- 地上アナログ放送で電波の弱いステレオ放送のときに、雑音が出ることがあります。その場合、「モノラル」に設定すれば聴きやすくなることがあります。
- 電波の弱いチャンネルの放送を視聴している状態で以下の設定をします。

1 以下の操作で「チャンネル設定」画面にする

❶ ○メニュー を押す

❷ ▲･▼ で「各種設定」を選び、決定を押す

❸ ▲･▼ で「初期設定」を選び、決定を押す

❹ ▲･▼ で「CH 設定」を選び、決定を押す

2 ▲･▼ で「ステレオ／モノラル」を選び、決定を押す

3 ▲･▼ で「ステレオ」または「モノラル」を選び、決定を押す

■ **「モノラル」に設定していてステレオ放送を受信したとき**

- 音声はモノラルになります。

無信号消音設定

- 地上アナログ放送が無信号のとき（放送のないチャンネルを選択したり、放送が終わったりしたときなど）に、音声が出ないように設定することができます。
- 電波が極端に弱いチャンネルを選択したときにも、機能が働くことがあります。

1 以下の操作で「チャンネル設定」画面にする

❶ ○メニュー を押す

❷ ▲･▼ で「各種設定」を選び、決定を押す

❸ ▲･▼ で「初期設定」を選び、決定を押す

❹ ▲･▼ で「CH 設定」を選び、決定を押す

2 ▲･▼ で「無信号消音設定」を選び、決定を押す

3 ▲･▼ で「入」または「切」を選び、決定を押す

- 入 ····· 無信号のときに音声を出さない。
- 切 ······ 無信号のときにも音声を出す。

チャンネル設定を最初の状態に戻す

- すべてのチャンネル設定と、「登録されている郵便番号」、「音量」をお買い上げ時の状態に戻します。

1 以下の操作で「チャンネル設定」画面にする

❶ ○メニュー を押す

❷ ▲･▼ で「各種設定」を選び、決定を押す

❸ ▲･▼ で「初期設定」を選び、決定を押す

❹ ▲･▼ で「CH 設定」を選び、決定を押す

2 ▲･▼ で「初期設定に戻す」を選び、決定を押す

3 ◀･▶ で「はい」を選び、決定を押す

■ ステレオ／モノラルの設定について

- ステレオ／モノラルの設定は、地上アナログ放送視聴時とアンテナ端子からの CATV 放送視聴時にだけできます。

■ チャンネル設定を最初の状態に戻す場合について

- チャンネル設定をお買い上げ時の状態に戻すと、地上デジタル放送は受信できません。「初期スキャン」53 をしてください。（「データ放送用メモリーの割当て」63 や、お客様が本機に記憶させた住所・氏名などの個人情報、お客様のポイント数などはそのままです）

簡易確認テスト

● 引越しなどでチャンネル設定を変えた場合や、B-CASカードの状態を確かめたいときなどに、簡単な確認テストをすることができます。

1 以下の操作で「初期設定」画面にする

❶ ◯メニュー を押す

❷ ▲·▼ で「各種設定」を選び、決定 を押す

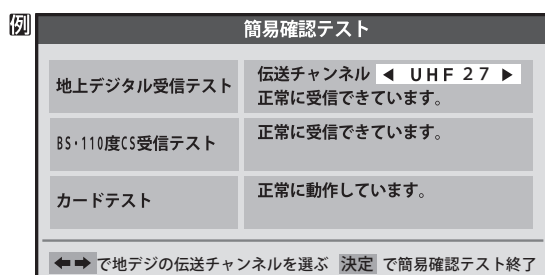
❸ ▲·▼ で「初期設定」を選び、決定 を押す

2 ▲·▼ で「簡易確認テスト」を選び、決定 を押す

● 確認テストが始まります。テスト結果については下表をご覧ください。

例

簡易確認テスト	
地上デジタル受信テスト	伝送チャンネル ◀ UHF 27 ▶ 正常に受信できています。
BS・110度CS受信テスト	正常に受信できています。
カードテスト	正常に動作しています。

⬅➡ で地デジの伝送チャンネルを選ぶ 決定 で簡易確認テスト終了

■「地上デジタル受信テスト」の伝送チャンネルを変えるには

❶ ◀·▶ で伝送チャンネルを選ぶ

● 受信テストが始まり、結果が表示されます。

● 他の伝送チャンネルをテストする場合も同じ操作をします。

※ お住まいの地域の地上デジタル放送で使用されている伝送チャンネルがわからない場合は、「地上デジタル受信テスト」を省略して、実際の放送が視聴できるか確認してください。

3 簡易確認テストが終了したら、決定 を押す

テスト項目	テスト結果の表示	内容または対処のしかた
地上デジタル受信テスト 地上デジタル放送が受信できることをテストします。	「正常に受信できています。」	――――
	「正しく受信できません。」	● アンテナの接続 29 とアンテナレベル 37 を確認してください。
BS・110度CS受信テスト BSデジタル放送と110度CSデジタル放送が受信できることをテストします。	「正常に受信できています。」	――――
	「正しく受信できません。 または「BS（110度CS）は受信できますが110度CS（BS）が受信できません。」	● アンテナの接続 31 と設定・調整 50 ～ 51 を確認してください。
カードテスト 本機で使えるB-CASカードかどうかテストします。	「正常に動作しています。」	――――
	「B-CASカードを正しく挿入してください。」 「このICカードはご使用になれません。正しいB-CASカードを挿入してください。」	● B-CASカードを正しい向きで挿入後、もう一度簡易確認テストをしてください。
	「このB-CASカードはご使用になれません。」 「B-CASカードが故障しています。」	● B-CASカードを確かめてください。 ● B-CASカードを交換してください。 ● カードに記載のB-CASカスタマーセンターにお問い合わせください。

データ放送設定

郵便番号と地域の設定

- 「はじめての設定」が済んでいる場合は、この設定は不要です。
- お住まいの地域に応じたデータ放送、緊急警報放送などの視聴をするための設定で、地域は「初期スキャン」53とは別に設定できます。

1 以下の操作で「郵便番号と地域の設定」画面にする

❶ メニュー を押す

❷ ▲･▼ で「各種設定」を選び、決定を押す

❸ ▲･▼ で「初期設定」を選び、決定を押す

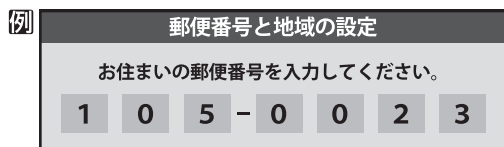
❹ ▲･▼ で「文字スーパー表示」を選び、決定を押す

❺ ▲･▼ で「郵便番号と地域の設定」を選び、決定を押す

2 お住まいの地域の郵便番号を1～10/0で入力し、決定を押す

- 上３ケタを入力して決定を押すと、残り４ケタは自動的に「0」が入力されます。

例

郵便番号と地域の設定
お住まいの郵便番号を入力してください。
1 0 5 - 0 0 2 3

3 該当する地方を ▲･▼･◀･▶ 選び、決定を押す

4 該当する地域を ▲･▼･◀･▶ で選び、決定を押す

- 伊豆、小笠原諸島地域の方は「東京都島部」を選んでください。
- 南西諸島の鹿児島県地域の方は「鹿児島県島部」を選んでください。

文字スーパー表示設定

- デジタル放送には文字スーパー表示機能があり、災害時の速報などに使用されます。複数言語の文字スーパーに対応した番組の場合には、本機で表示する言語を選択することができます。

1 以下の操作で「文字スーパー表示設定」画面にする

❶ 左記の手順１の❶～❹の操作をする

❷ ▲･▼ で「文字スーパー表示設定」を選び、決定を押す

2 ▲･▼ で「する」または「しない」を選び、決定を押す

3 ▲･▼･◀･▶ 言語を選び、決定を押す

- 日本語／英語／ドイツ語／フランス語／イタリア語／ロシア語／中国語／韓国語／スペイン語から選ぶことができます。

ルート証明書番号を確認する

- ルート証明書は、地上デジタル放送の双方向サービスで、本機と接続するサーバーの認証をする際に使用されます。
- ルート証明書は地上デジタル放送によって、放送局から送られます。本機内に記録された証明書番号を以下の手順で確認することができます。

1 以下の操作で「ルート証明書番号」画面にする

❶ 左記の手順１の❶～❹の操作をする

❷ ▲･▼ で「ルート証明書番号」を選び、決定を押す

2 ルート証明書番号を確認し、決定を押す

■ 郵便番号と地域の設定について

- 「はじめての設定」34とここでの設定では、地方、都道府県、地域の設定のしかたが異なっています。これは「はじめての設定」では「地上アナログ / デジタル放送チャンネル設定」と同時にまとめて設定しているためです。
- データ放送を受信している状態で設定をした場合、放送によっては、設定終了後そのままの状態では設定内容は反映されません。設定終了後に再度データ放送を受信し直してください。

■ 文字スーパー表示の設定について

- 「表示する」に設定した場合、設定した言語の文字スーパーがあるときは、その言語で表示します。設定した言語が視聴している放送にない場合は、その放送に従って表示されます。

データ放送用メモリーの割当て

■ 35☞ の手順 **9** や、「初期スキャン」53☞ の手順 **4** などで、データ放送用メモリーの割当画面が表示されたときには、以下の手順で設定します。

■ **個人の情報とデータ放送用メモリーの割当てについて**

● 地上デジタル放送では、放送局ごとに視聴者個人の情報（たとえば、視聴ポイント数など）を利用したサービスが行われる場合があり、本機はその情報を放送局ごとに本機内のデータ放送用メモリーに記憶しています。

通常、メモリーは足りていますが、たとえば、引越しをした場合で、以前受信していた放送局の設定が残っていたときなどには、放送局の数が本機のメモリーの数を超えてしまうことがあります。その場合には、初期スキャン時などに、データ放送用メモリーの割当画面（下の手順 **1** の画面）が表示されますので､以下の操作でメモリーを割り当てる放送局を設定してください。

● **メモリーを割り当てなかった放送局については、個人の情報がすべて消去されますのでご注意ください。**

1 メモリーを割り当てる放送局を ▲･▼ で選び、決定を押す

● 選んだ放送局にチェックマーク「✓」がつきます。もう一度決定を押すと、指定が取り消されます。

● リモコンの1～12に設定されている放送局（放送局名表示の左側に 1 ～ 12 の数字が表示されています）については、メモリーが割り当てられるように自動的に設定されています。設定を取り消すことはできません。

● **このあと、手順 2 ～ 4 の操作をすると、メモリー割当ての指定をしなかった放送局の個人の情報はすべて消去されます。**
消去された情報は元に戻すことはできませんのでご注意ください。

設定の場面によって名称が変わります。

例

初期スキャン

リモコン	チャンネル	放送局
1	–––	
2	–––	
3	テレビ	NHK総合・名古屋
4	–––	
5	–––	
6	–––	

⬆⬇ でページ切換　決定 で設定終了

2 手順 1 を繰り返し、9 つの指定をする

● 1～12 については自動的に設定されます。それらを除いた 9 つを指定します。

3 ▶ を押す

● 手順 **4** の画面になります。（確認メッセージが表示されます）

● 9 つよりも多い場合や少ない場合には、その旨のメッセージが表示されます。

決定を押したあと、手順 **1** ～ **2** の操作で 9 つの指定をしてください。

4 ◀･▶ で「はい」を選び、決定を押す

● 指定した放送局についてデータ放送用メモリーが割り当てられ、このページの設定をする前の場面に自動的に戻ります。
指定以外の放送局の個人の情報はすべて消去されます。

例

5 このページの設定をする前の操作を続ける

●「はじめての設定」の中の「初期スキャン」の場合
35☞ の手順 **9** へ

●「初期スキャン」の場合
「初期スキャン」53☞ の手順 **5** へ

●「再スキャン」の場合
「再スキャン」54☞ の手順 **2** または手順 **3** へ

外部機器の接続と設定

● 個人の情報を消去するには、「すべての初期化」をしてください。66☞

視聴年齢制限のある番組を見るには

暗証番号の設定・削除

- 視聴年齢制限のある番組を見るには、暗証番号の設定が必要です。
- 暗証番号を設定した場合には、暗証番号の変更、削除、および「すべての初期化」66 をするときにも暗証番号の入力が必要になります。

- **暗証番号を忘れた場合の消去は有料になります**。暗証番号を忘れないようにご注意ください。暗証番号を忘れた場合は、裏表紙に記載の「エコーセンター」にご連絡ください。 サービスマンの対応となり、有料となります。また、それまでに設定していた内容（地上アナログ放送や地上デジタル放送のチャンネルを手動で設定した内容など、お客様が本機に記憶させた住所・氏名などの個人情報、お客様のポイント数など）は消去されます。

暗証番号の設定

1 以下の操作で「視聴制限設定」画面にする

❶○メニュー を押す
❷ ▲･▼ で「各種設定」を選び、決定を押す
❸ ▲･▼ で「機能設定」を選び、決定を押す
❹ ▲･▼ で「制限設定」を選び、決定を押す

2 ▲･▼で「暗証番号設定」を選び、決定を押す

■ はじめて暗証番号を登録する場合

※ 必要でない場合は、登録しないことをおすすめします。
- 登録したい暗証番号（4 ケタの数字）を 1 ～ 10/0 で入力してください。
- 間違えて入力した場合は、◀ を押し、もう一度入力してください。

※ 入力した数字は画面には「＊」で表示されます。

■ 暗証番号を変更する場合

- 変更する前の暗証番号を 1 ～ 10/0 で入力してください。
- 登録したい暗証番号（4 ケタの数字）を 1 ～ 10/0 で入力してください。

3 1 ～ 10/0 でもう一度暗証番号を入力し、確認画面で 決定 を押す

暗証番号の削除

1 以下の操作で「視聴制限設定」画面にする

❶○メニュー を押す
❷ ▲･▼ で「各種設定」を選び、決定を押す
❸ ▲･▼ で「機能設定」を選び、決定を押す
❹ ▲･▼ で「制限設定」を選び、決定を押す

2 ▲･▼で「暗証番号削除」を選び、決定を押す

3 1 ～ 10/0 で暗証番号を入力する

4 確認画面で、◀･▶ で「はい」を選び、決定を押す

外部機器の接続と設定

視聴年齢制限のある番組を見るには　つづき

視聴年齢制限設定

- デジタル放送では番組ごとに視聴年齢が設定されている場合があります。視聴年齢制限のある番組を見るには暗証番号および以下の設定が必要です。（暗証番号は、前ページの操作で設定してください）
- お買い上げ時には、視聴年齢制限は設定されていません。

1 以下の操作で「視聴制限設定」画面にする

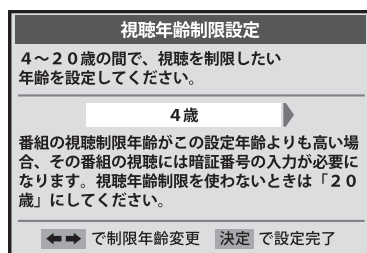
❶ メニュー を押す
❷ ▲·▼ で「各種設定」を選び、決定を押す
❸ ▲·▼ で「機能設定」を選び、決定を押す
❹ ▲·▼ で「制限設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「視聴可能年齢」を選び、決定を押す

- 暗証番号の入力画面になります。

3 1～10/0 で暗証番号を入力する

4 ◀·▶ で年齢を設定し、決定を押す

- 設定できる年齢は、4 歳から 20 歳までです。
- 視聴年齢制限機能を使わない場合は、「20 歳（制限しない）」に設定してください。

- 視聴時の動作および操作は以下のとおりです。

■ 番組の設定年齢が、設定した年齢よりも上の場合

- メッセージが表示されます。
- 決定を押し、1～10/0で暗証番号を入力してください。

■ 本機に暗証番号や視聴年齢制限が設定されていない場合

- 視聴年齢制限のある番組を見ることはできません。
- 決定を押し、設定が必要な項目を設定してください。

お買い上げ時の設定に戻すには（設定内容を初期化するには）

※ **初期化をすると初期化前の状態に戻すことはできませんのでご注意ください。**

項　目	内　容
すべての初期化	● 本機に設定されたすべての内容をお買い上げ時の状態に戻します。 ※ この初期化は、データ放送の個人情報（住所、氏名、視聴ポイント数など）についてもすべて初期化されますので、本機を廃棄処分する場合や他の人に譲り渡す場合にのみ行ってください。

1 以下の操作で「設定の初期化」画面にする

❶○メニュー を押す

❷ ▲·▼ で「各種設定」を選び、決定を押す

❸ ▲·▼ で「初期設定」を選び、決定を押す

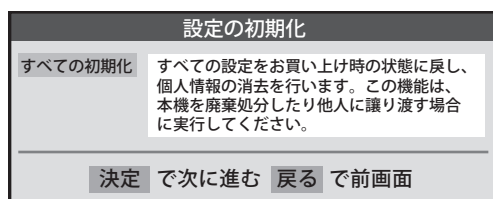
❹ ▲·▼ で「設定の初期化」を選び、決定を押す

2 「すべての初期化」、決定を押す

● 初期化される項目の内容は、上の表をご覧ください。

設定の初期化

すべての初期化　すべての設定をお買い上げ時の状態に戻し、個人情報の消去を行います。この機能は、本機を廃棄処分したり他人に譲り渡す場合に実行してください。

決定 で次に進む　戻る で前画面

■ すべての初期化をする場合

● 暗証番号入力画面が表示された場合は暗証番号を入力してください。

3 初期化する場合は◀·▶ で「はい」を選び、決定を押す

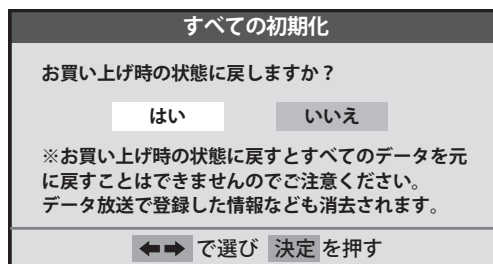
※ 初期化したあとに初期化前の状態に戻すことはできません。

すべての初期化

お買い上げ時の状態に戻しますか？

はい　いいえ

※お買い上げ時の状態に戻すとすべてのデータを元に戻すことはできませんのでご注意ください。
データ放送で登録した情報なども消去されます。

⬅➡ で選び 決定 を押す

4 初期化終了の画面が表示されたら、電源を切る

■ お買い上げ時の設定

項　目					設定内容
タイマー機能	オンタイマー				切
タイマー機能	オフタイマー				切
ワイド切換					フル
映像メニュー	ノイズリダクション				自動
音声メニュー	音声調整	バランス			中央
音声メニュー	音声調整	高音			00
音声メニュー	音声調整	低音			00
音声メニュー	音声調整	高音強調			入
音声メニュー	音声調整	低音強調			弱
音声メニュー	音声調整	サラウンド			切
音声メニュー	光デジタル音声出力				PCM
各種設定	機能設定	低消費電力	消費電力		標準
各種設定	機能設定	低消費電力	番組情報取得設定		取得する
各種設定	機能設定	低消費電力	無操作電源オフ		しない
各種設定	機能設定	低消費電力	無信号電源オフ		する
各種設定	機能設定	低消費電力	ビデオパワーセーブ		する
各種設定	機能設定	低消費電力	クイックスタート		しない
各種設定	機能設定	外部機器接続設定	HDMI2 音声入力設定		デジタル
各種設定	機能設定	外部機器接続設定	外部入力スキップ設定	ビデオオート	する
各種設定	機能設定	外部機器接続設定	外部入力スキップ設定	HDMI1	しない
各種設定	機能設定	外部機器接続設定	外部入力スキップ設定	HDMI2	しない
各種設定	CEC 設定	HDMI 連動設定	HDMI 連動制御		する
各種設定	CEC 設定	HDMI 連動設定	連動機器→テレビ入力切換		する
各種設定	CEC 設定	HDMI 連動設定	TV 連動オン設定		する
各種設定	CEC 設定	HDMI 連動設定	システムオフ設定		する
各種設定	初期設定	コンバーター電源			切
各種設定	初期設定	CH 設定	地デジ難視対策衛星放送		利用しない
各種設定	初期設定	CH 設定	ステレオ / モノラル		ステレオ
各種設定	初期設定	CH 設定	無信号消音設定		入
各種設定	初期設定	CH 設定	文字スーパー表示設定		しない
各種設定	初期設定	通信設定	IP アドレス設定		自動取得
各種設定	初期設定	通信設定	DNS 設定		自動取得
各種設定	初期設定	通信設定	プロキシ設定		使用しない

リモコン操作ボタン

●イラストは、見やすくするために誇張、省略をしており、実際とは多少異なります。
●詳しくは ☞ 内のページをご覧ください。（代表的なページを示しています）

●電源入/切 .... 68☞

●地上アナログ放送を見る............ 69☞
●地上デジタル放送を見る............ 69☞
●BSデジタル放送を見る .... 69☞
●CSデジタル放送を見る .... 69☞
●チャンネルを選局する.................. 69☞

●ビデオやDVDなどを見る .... 70☞

●チャンネルを順番に選局する........ 69☞
●音を消す... 68☞
●音量を調整する............................. 68☞

●番組表を見る.................................. 71☞
●メニューを選択する
●選択したメニューを決定する
●一つ前の画面に戻る
●操作を中断･終了する
●カラーボタンで番組表を使う..... 73☞

●データ放送を見る .... 72☞
●番組情報を見る............................. 73☞
●映像を一時静止させる .... 79☞
●音声を切り換える.......................... 79☞

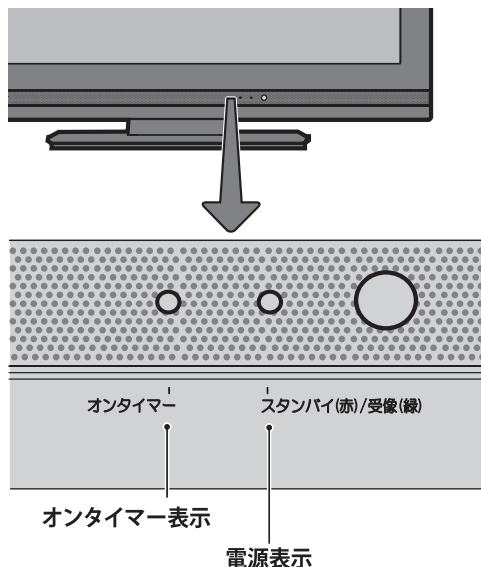
基本操作

電源を入れる

「電源」表示が消えているとき

❶ 本体左側面の 電源 を押す

「電源」表示が赤色に点灯しているとき（待機状態のとき）

❶ リモコンの 電源 を押す

電源を切る

待機状態にする

❶ リモコンの 電源 を押す
- 「電源」表示が赤色に点灯します。

電源を切る

❶ 「電源」表示が赤または緑に点灯しているときに、本体左側面の 電源 を押す

音量を調整する

音量を調整する

❶ リモコンの 音量 または本体左側面の 音量 を押す
- ＋を押すと音が大きくなります。(最大 100)
  －を押すと音が小さくなります。(最小 0)

音を消す

❶ リモコンの 消音 を押す
- 画面右下に 消音 が表示されます。
- もう一度押すと、音が出ます。

メニューを使う

- メニューの内容は、○メニュー を押すときの場面によって変わります。以下の表は、ほかのメニュー操作などをせずにテレビ番組を視聴している場合のものです。
- メニューで選択できる項目は、放送の種類や外部機器の有無などによって変わります。選択できない項目は薄く表示されます。

1 ○メニュー を押す。

2 ▲·▼ で項目を選び、 決定 を押す。

3 選んだ項目に従って操作する。
- 詳しくは各項目の該当するページをご覧ください。

項　目			記載ページ
番組説明			75
タイマー機能	オンタイマー		91
	オフタイマー		91
ワイド切換			76
映像メニュー			81～83
音声メニュー			83、43
その他の操作	信号切換	映像信号切換	80
		音声信号切換	80
		音多切換	79
		データ信号切換	80
		字幕切換	79
		降雨対応放送切換	94
	チャンネル番号入力		69
	HDMI 入力拡張切換		70
	データ放送終了		72
	アンテナレベル		50
	テレビ / ラジオ / データ切換		72
各種設定	お知らせ		94
	機能設定		47
	CEC 設定		46
	初期設定		34

テレビ放送を見る

1 地デジ、BS、CS、地アナで放送の種類を選ぶ

● 今見ている放送と同じ種類の放送を見る場合は、この操作は不要です。

2 チャンネルを選ぶ（選局する）

● 以下の選局方法があります

チャンネルボタンで選局する

1～12 ～ を押して選局します。

チャンネル △・▽ ボタンで選局する（順次選局）

● チャンネル でチャンネルが順に切り換わります。（△：アップ、▽：ダウン）

チャンネル番号を入力して選局する (メニューから)

● デジタル放送の場合にこの方法で選局できます。CATV を視聴中の場合には、この方法で CATV の選局もできます。

❶ ○メニュー を押す

❷ ▲·▼ で「その他のメニュー」を選び、決定 を押す

❸「チャンネル番号入力」を選び、決定 を押す

❹ 1～10/0 11 でチャンネル番号を入力する

● たとえば 012 チャンネルを選ぶ場合 ➡ 10/0 1 2 の順に押す。
（10/0 は「0」として使います）

チャンネル番号入力 (リモコンの Ch 番号入力ボタンで)

❶リモコンの CH 番号入力ボタンを押す

❷ 1～10/0 でチャンネル番号を入力する

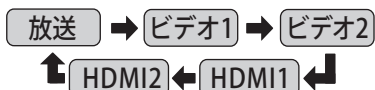
- お買い上げ時の設定では VHF 放送の 1～12 チャンネルを選ぶことができます。
- 「はじめての設定」（34）をすると、お住まいの地域で放送されているチャンネルを選べるようになります。お買い上げ時の設定では地上デジタル放送は映りません。
- 順次選局の場合、一つの放送局が同じ番組を複数のチャンネルで放送しているときは、代表チャンネルだけの選局となります。同じチャンネルボタンを繰り返し押すと、代表チャンネル以外のチャンネルも選べます。
- 順次選局の順番は、放送の運用規定に従います（番号順にならない場合があります）。
- 視聴できるチャンネルは「はじめての設定」後、番組表 71 で確認することができます。
- お買い上げ直後や、お買い上げ時の設定に戻した（66）ときは、チャンネル番号入力での選局ができないことがあります。
- 枝番のついた放送一覧は、地上デジタル放送で隣接地域の同じチャンネル番号の放送を複数受信したときに表示されます。

ビデオ・DVD などを見る

1 見たい機器の電源を入れる

2 機器が接続されているビデオ入力を 入力切換 で選ぶ

- 入力切換 を押すと、画面右上に入力端子一覧が表示され、入力切換 を押すたびに以下のように切り換わります。(切り換えてから映像が出るまでに少し時間がかかります)。

放送 ➡ ビデオ1 ➡ ビデオ2 ➡ HDMI1 ➡ HDMI2 ➡ 放送

- 入力切換 を押し、入力端子一覧から ▲·▼ で切り換えたい入力を選び 決定 を押して切り換えることもできます。
- ビデオ 1 ～ 2、HDMI1 ～ 2 を「外部入力スキップ設定」(47 ☞) で設定すると、使わない入力端子をスキップ（飛び越す）することができます。

HDMI 入力拡張切換

- HDMI 入力端子を備えた機器を経由して、一つの HDMI 入力端子に複数の HDMI 連動機能対応機器を接続している場合は、使いたい機器を以下の手順で選びます。

1 「HDMI1」または「HDMI2」から、使いたい機器がつながっている入力を、入力切換 で選ぶ

2 ◯メニュー を押す

3 ▲·▼ で「その他メニュー」を選び、決定 を押す

4 ▲·▼ で「HDMI 入力拡張切換」を選び、決定 を押す

- HDMI 接続機器一覧が表示されます。

- AV システム機器の場合は、機器一覧に HDMI 連動機能対応機器だけでなく、AV システム機器の端子名も表示されます。（何も接続されていない端子も表示されます）

※ 各 HDMI 端子に機器が 1 台しか接続されていない場合は、選択できません。

5 ▲·▼ で操作したい機器を選び、決定 を押す

※ AV システムを選ぶことはできません。

お知らせ

- 本体の入力切換ボタンは、リモコンの 入力切換 と同じ働きをします。

見たい番組を選ぶ

番組表で選ぶ

- デジタル放送の番組表は、放送電波で送られる情報で表示されます。
- 地上アナログ放送の番組表は表示されません。
- **お買い上げ直後や電源を入れた直後、放送の種類を変えたときなどには、番組内容の表示に時間がかかることがあります。**
- **デジタル放送の番組表を最新にしておくために、本機の電源を毎日 1 時間以上「切」または「待機」にしておくことをおすすめします。**

1　◯番組表 を押す

- 番組表が表示されます。
- 放送の種類を変えるときは 地デジ、BS、CS のどれかを押します

2　▲·▼·◀·▶ で現在放送中の番組を選ぶ

- 選んだ番組の説明を見るには、黄 を押すか、または 決定 を押します。

- 番組表は前回表示した日付と時間帯の部分が表示されます。（前回の表示日時を過ぎている場合は、今の日時で表示されます）
- 今の時間を見たいときは、青 を押してください。
- 過去の番組は表示しません。
- テレビを視聴している条件などによっては番組表が空欄になる場合があります。この場合は、空欄の部分を選んでから、「番組情報の取得」73 をしてください。
- 番組表に表示できる番組情報は最大 8 日分です。
- データ放送の視聴中は番組表に切り換わらないことがあります。その場合は、テレビ放送に切り換えてから操作してください。
- 番組の中止・変更・延長などによって、実際の放送内容が番組表と異なる場合があります。

ラジオやデータ放送を楽しむ

ラジオ、独立データ放送を楽しむ

1 **デジタル放送を見ているときに、○メニュー を押す**

2 **▲·▼ で「その他メニュー」を選び、決定 を押す**

3 **▲·▼ で「テレビ／ラジオ／データ切換」を選び、決定 を押す**

4 **切り換えたい項目（「テレビ」「ラジオ」「データ」）を ▲·▼ で選び、決定 を押す**

- チャンネル で他のチャンネルに切り換えられます。
- チャンネル番号を入力して選ぶこともできます。69
- ラジオ、データ放送を終了するには、上記の操作で「テレビ」を選びます。

番組連動データ放送を楽しむ

1 **デジタル放送を見ているときに 画面表示 を押す**

- テレビd、ラジオd が表示された場合、データ放送があります。

2 **連動データ を押す**

- 番組によっては押す必要がない場合があります。
- 画面に表示される操作指示に従って操作をしてください。

3 **データ放送を終了するには、以下の操作をする**

❶ ○メニュー を押す
❷ ▲·▼ で「その他メニュー」を選び、決定 を押す
❸ ▲·▼ で「データ放送終了」を選び、決定 を押す

4 **連動データ を押しても終了します。**

番組表を便利に使う

今の時間帯の番組表を表示する

1 **番組表を表示しているときに、青 を押す**

番組情報を見る

1 **番組表を表示しているときに、黄 を押すか、または 決定 を押します。**

翌日の番組表を表示する

1 **番組表を表示しているときに、緑 を押す**

前日の番組表を表示する

1 **番組表を表示しているときに、赤 を押す**

番組表を更新する

1 **番組表を表示しているときに、○メニュー を押す**

2 **▲·▼ で「番組情報の取得」を選び、決定 を押す**

- 情報の取得が始まります。
  ※ 番組情報取得中は映像、音声が出ない場合があります。
- 地上デジタル放送の場合は、番組表で選択している放送局の情報だけが更新されます。
- BS デジタル放送の場合は、番組表全体が更新されます。
- 110 度 CS デジタル放送の場合は、選択中の番組が含まれているネットワークの番組表全体が更新されます。(112)
  ※ 情報取得を中止するときは、番組情報取得中に ○メニュー を押し、「番組情報の取得中止」を選び、決定 を押します。
- 番組情報取得中にほかの操作をすると、情報の取得が中止されることがあります。

お知らせ

- 番組表や番組情報などで表示される内容および利用した結果について、当社は一切の責任を負いません。

番組表を便利に使う つづき

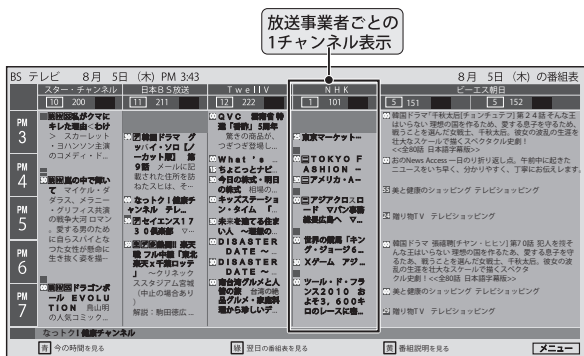
表示切換をする (1CH 表示 / マルチ表示)

1 **番組表を表示しているときに、○メニュー を押す**

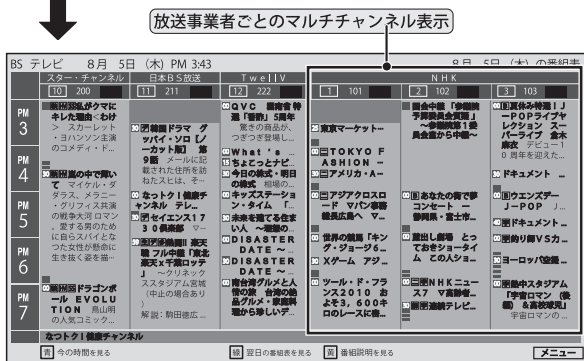
2 **▲·▼ で「マルチ表示」(または「1CH 表示」) を選び、決定 を押す**

● メニューには、現在の番組表の表示によって「マルチ表示」、「1CH 表示」のどちらかが表示されます。

●「1CH 表示」、「マルチ表示」を選ぶと、以下のように切り換わります。

放送事業者ごとの1チャンネル表示

［1CH表示］

クイックメニューから「1CH表示」、「マルチ表示」を選ぶと画面が切り換わります。

放送事業者ごとのマルチチャンネル表示

［マルチ表示］

文字サイズを変更する

● 番組表に表示される文字の大きさを変えます。

● 番組表それぞれに大きさを設定できます。

1 **番組表を表示しているときに、○メニュー を押す**

2 **▲·▼ で「文字サイズ変更」を選び、決定 を押す**

3 **希望の文字サイズを ▲·▼ で選び、決定 を押す**

番組記号の説明を見る

1 **番組表を表示しているときに、○メニュー を押す**

2 **▲·▼ で「番組記号一覧」を選び、決定 を押す**

● 番組記号の説明が表示されます。

● 表示されるのは番組記号の一部です。

● 見終わったら、決定 を押します。

スキップチャンネル表示 / 非表示を設定する

●「チャンネルスキップ設定」(58) で「スキップ」に設定したチャンネルを番組表に表示させる設定をします。

1 **番組表を表示しているときに、○メニュー を押す**

2 **▲·▼ で「その他の設定」を選び、決定 を押す**

3 **▲·▼ で「スキップチャンネル表示設定」を選び、決定 を押す**

4 **▲·▼ で「表示する」、「表示しない」のどちらかを選び、決定 を押す**

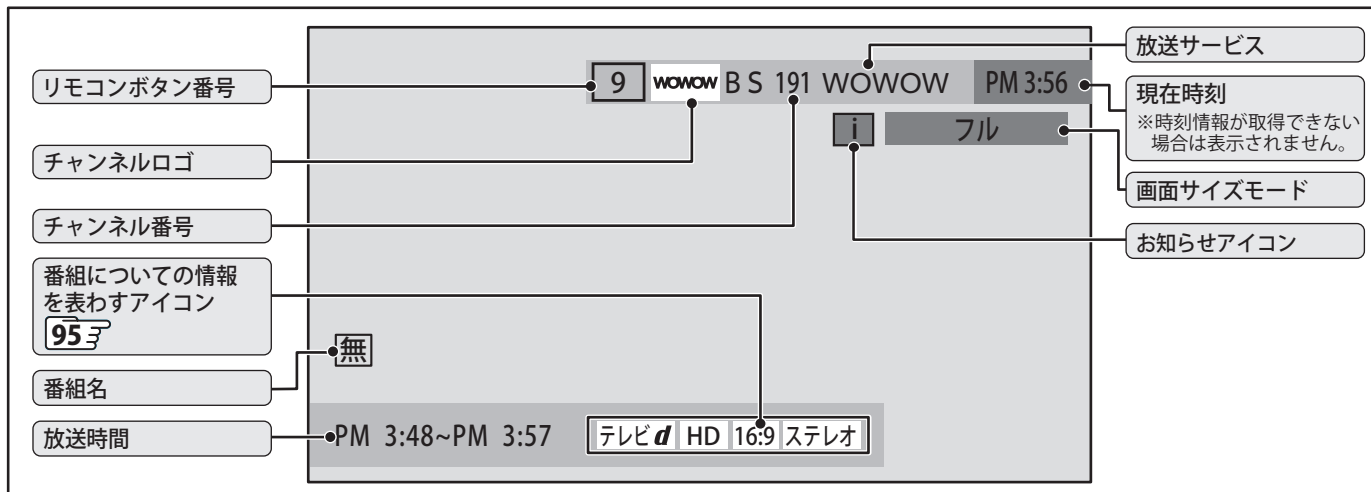
番組表の情報を見る

番組情報を見る

1 画面表示 **を押す**

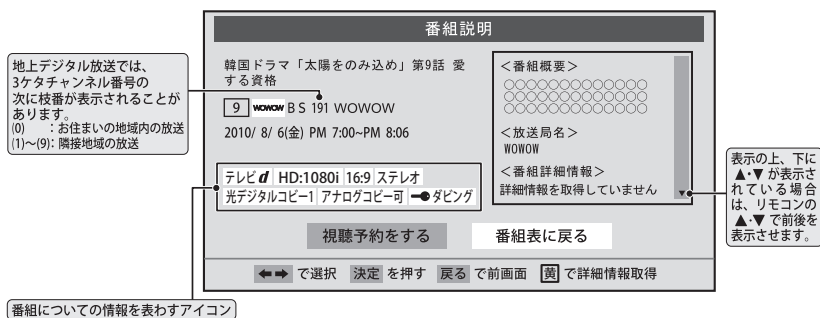
● 現在視聴しているチャンネルや番組の情報が表示されます。(数秒たつと、チャンネル以外の表示は消えます)
● すべての表示を消すには、もう一度 画面表示 を押してください。
● 選局時には一部省略された状態で表示されます

番組説明を見る

1 メニュー **を押す**

2 **▲·▼ で「番組説明」を選び、 決定 を押す**

3 **さらに詳しい説明を見るときは、▼ を押す**

●「詳細情報を取得していません」が表示されたときは、 黄 を押します。
● 情報を取得できなかったり、情報がなかったりした場合には、「詳細情報を取得できませんでした」と表示されます。

4 **説明画面を消すには、 決定 を押す**

● 画面に表示されるアイコンについては、「アイコン一覧」95 をご覧ください。
● 番組情報の表示や詳細情報の取得には時間がかかる場合があります。
● 番組情報を取得するタイミングによっては、最新の情報を表示できないことがあります。

画面サイズを調整する

画面サイズを切り換える

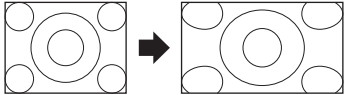
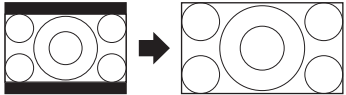
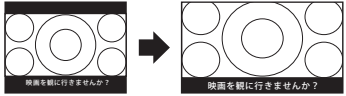
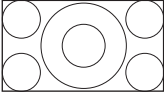
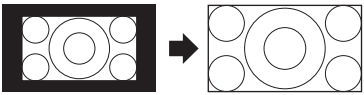
● 視聴している映像の種類に応じて、画面サイズを切り換えることができます。

1 メニュー押し、▲·▼ で「ワイド切換」を選び、決定 を押す

2 ▲·▼ でお好みのワイド切換を選び、決定 を押す

放送やビデオ入力端子からの映像などを見ているとき

映像の種類	選べる画面サイズ
デジタル放送の 16：9 の映像	スムーズ ➡ 映画 ➡ フル（フル ➡ スムーズに戻る） • 電源入／切で「フル」に戻ります。
地上アナログ放送、 デジタル放送の 4：3 の映像、 ビデオ入力端子 (480i と 480p のみ)	スムーズ ➡ 映画 ➡ 映画字幕 ➡ フル ➡ ノーマル（ノーマル ➡ スムーズに戻る） • 画面サイズ変更後、変更した番組の放送中は選んだ画面サイズが保持されます。
D4 映像入力端子からのハイビジョン映像	スムーズ ➡ 映画 ➡ フル ➡ ノーマル（ノーマル ➡ スムーズに戻る）

HDMI 入力端子からの映像などを見ているとき

映像の種類	選べる画面サイズ
480i、480p	Dot By Dot ➡ スムーズ ➡ 映画 ➡ 映画字幕 ➡ フル ➡ ノーマル（ノーマル ➡ Dot By Dotに戻る）
720p、VGA、SVGA、XGA、WXGA ※	Dot By Dot ➡ スムーズ ➡ 映画 ➡ フル ➡ ノーマル（ノーマル ➡ Dot By Dotに戻る）
1080i、1080p、SXGA ※	スムーズ ➡ 映画 ➡ フル ➡ ノーマル（ノーマル ➡ スムーズに戻る）

※ 信号フォーマットについては 100 をご覧ください

お知らせ

● 「SXGA」、「1080i」、「1080p」を表示しているときに「Dot By Dot」は選べません。
● 「WXGA」を表示しているときに「ノーマル」は選べません。

画面の見えかたについて

	画像サイズのモード	画面の見えかた	説　　明
SD	スムーズ		4：3 の映像をワイド画面で楽しむモードです。画面左右の端にいくほど映像が引き伸ばされます。
	映画		上下が黒い帯になっている映画などのワイド映像（レターボックスといい、DVD ソフトなどではケース背面などに「LB」と表示されています）を拡大して楽しむモードです。上下に黒い部分が出ることがあります。
	映画字幕	映画を観に行きませんか？ → 映画を観に行きませんか？	レターボックスのワイド映像の下に字幕がはいっている場合に、字幕を隠れにくくするモードです。上に黒い部分が出ることがあります。
	フル		DVD などのスクイーズ映像（縦に伸びて見える映像）を、ワイド映像で表示するモードです。
	ノーマル		4：3 の映像をそのままの横と縦の比で表示します。
HD	フル		16：9 の映像を画面内にすべて表示するモードです。 映像の信号によっては、周囲の映像が少し画面の外に隠れる場合があります。 ※「スキャン切換」（78）で画面に表示する情報量を変更することができます。
	映画		上下左右に帯のある 16：9 の映像をワイド画面で楽しむモードです。
	スムーズ		左右に帯のある 16：9 の映像をワイド画面で楽しむモードです。画面左右の端にいくほど映像が引き伸ばされます。

※「スムーズ」と「映画」は、デジタル放送のハイビジョン放送と通常画質放送の 16：9 の映像で切り換えることができます。
　この機能は画面サイズを切り換える機能であり、放送フォーマットを変換する機能ではありません。

- このテレビは、各種の画面サイズのモード切換機能を備えています。テレビ番組等のソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見えかたに差が出ます。この点をご留意の上、画面サイズのモードをお選びください。
- ワイド映像でない従来（通常）の 4:3 の映像を、スムーズなどを利用してワイドテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えたりします。制作者の意図を尊重した本来の映像は、Dot By Dot、ノーマルモード（16：9 映像の場合はフルモード）でご覧になれます。
- 本機の S2 映像端子と D4 映像端子では、スクイーズ映像と 4：3 映像時のレターボックス映像を識別できます。これらの映像の視聴時には画面サイズが自動的にフルモードやスムーズモードに切り換わります。お好みで切り換えることもできます。
- 視聴する映像のフォーマットと画面サイズの組合せによっては、周囲の映像が隠れたり、画面の周囲が黒で表示されたり、左右の端がちらついたりすることがあります。また、放送画面に表示される選択項目を選ぶ際に枠がずれて表示されることがあります。
- テレビを公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、画面サイズのモード切換機能を利用して、画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意願います。

画面サイズを調整する つづき

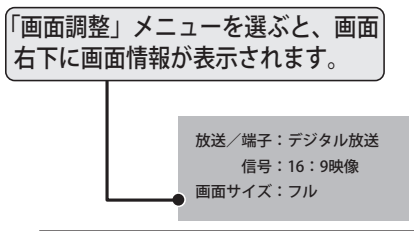
画面のスキャンモードを設定する

● 映像の種類によっては、設定できないことがあります。

1 **○メニュー を押す**

2 **▲·▼ で「映像メニュー」を選び、決定 を押す**

3 **▲·▼ で「画面調整」を選び、決定 を押す**

「画面調整」メニューを選ぶと、画面右下に画面情報が表示されます。

4 **▲·▼ で「スキャン切換」を選び、決定 を押す**

5 **▲·▼ で「フル HD」または「スタンダード」を選び、決定 を押す**

- フル HD ･････････････ 16：9 の映像を画面内にすべて表示します。
- スタンダード ･････････ 16：9 の映像を少し大きめに表示します。

画面の位置や幅を調整する

● 画面右下に表示されている「放送 / 端子、信号、画面サイズ」の組合せごとに、「画面調整」の調整状態が記憶されます。

※ ワイド切換がフル、ノーマルの場合は調整できません。

※ 映像の種類と画面サイズによっては、調整できない場合があります。

※ パソコンを接続したときに、画面の右下に表示される画面情報とパソコン側で設定した情報が一致しない場合があります。

1 **○メニュー を押す**

2 **▲·▼ で「映像メニュー」を選び、決定 を押す**

3 **▲·▼ で「画面調整」を選び、決定 を押す**

4 **▲·▼ で調整したい項目を選び、決定 を押す**

- **上下振幅調整** ････ 映像の縦のサイズを調整します。
- **上下画面位置** ････ 映像の表示位置を上下に調整します。
- **左右振幅調整** ････ 映像の横のサイズを調整します。

5 **◀·▶ でお好みの状態に調整し、決定 を押す**

● 上下振幅調整と左右振幅調整は－ 03 ～＋ 03、上下の表示位置は－ 10 ～＋ 10 の範囲で調整できます。

● 調整画面では ◀·▶ を押さないと数秒でメニュー画面に戻ります。

画面調整をお買い上げ時の状態に戻す

1 **上記の手順 4 で「初期設定に戻す」を ▲·▼ で選び、決定 を押す**

2 **◀·▶ で「はい」を選び、決定 を押す**

お知らせ

● HDMI 入力端子からのスムーズ、映画という二種類の映像のみでは「上下振幅調整」、「上下画面位置」、「左右振幅調整」に対応できます。

便利な機能を使う

映像を一時静止させる

1 **静止 を押す**

● 解除するときは 静止 をもう一度押します。
※ 一時静止中でも音声は流れ続けます。

字幕を見る

●「字幕オン」に設定すると、字幕放送になったときに字幕が表示されます。お買い上げ時は「字幕オフ（字幕を表示しない）」に設定されています。

● 字幕放送番組は、番組説明画面 75ｽ に 字 のアイコンが表示されます。（一部、表示と実際の放送が一致しない場合があります）

● 地上アナログ放送の字幕放送には対応していません。

1 **メニュー を押す**

2 **▲･▼ で「その他メニュー」を選び、決定 を押す**

3 **▲･▼ で「信号切換」を選び、決定 を押す**

4 **▲･▼ で「字幕切換」を選ぶ**

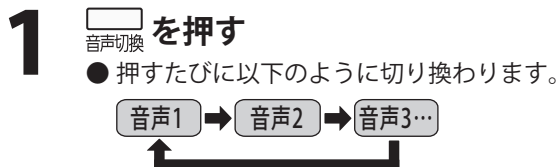
5 **「字幕オフ」または「字幕オン」を ▲･▼ で選び、決定 を押す。**

音声を切り換える

● 複数の音声信号が放送されている場合、音声 1、音声 2 などの音声信号を切り換えることができます。

● 番組情報画面 75ｽ に 信号切換 のアイコンが表示されます。

1 **音声切換 を押す**

● 押すたびに以下のように切り換わります。

二重音声を切り換える

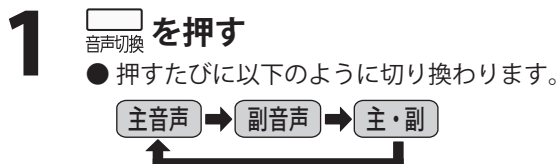
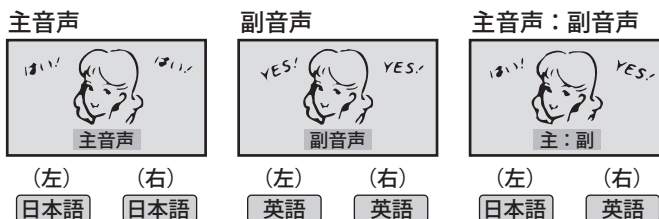
● 音声多重放送番組の場合、主音声、副音声、主：副を切り換えることができます。

● 番組情報画面 69ｽ に 二重音声 のアイコンが表示されます。

1 **音声切換 を押す**

● 押すたびに以下のように切り換わります。

（例：音声多重番組で、主音声が日本語、副音声が英語の場合）

主音声		副音声		主音声：副音声	
（左）	（右）	（左）	（右）	（左）	（右）
日本語	日本語	英語	英語	日本語	英語

■ 映像の一時静止について
● 選局操作をすると、一時静止画が解除されます。
● 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどで「静止画」を使用すると、著作権法で保護されている著作権を侵害するおそれがあります。

■ 字幕について
● 字幕表示中に一部の操作をすると、字幕が消えます。通常画面に戻ると、再び字幕が表示されます。

便利な機能を使う　つづき

映像、音声を切り換える

- デジタル放送では、一つの番組内に複数の映像や音声がある場合があり、お好みで選択することができます。
- 映像、音声、データが切り換えられる番組は、番組説明画面に 信号切換 のアイコンが表示されます。

1 ◯メニュー を押す

2 ▲･▼ で「その他メニュー」を選び、決定 を押す

3 ▲･▼ で「信号切換」を選び、決定 を押す

4 切り換えたい項目（「映像信号切換」、「音声信号切換」）を ▲･▼ で選び、決定 を押す

信号切換
- 映像信号切換
- 音声信号切換
- 音多切換
- データ信号切換
- 字幕切換
- 降雨対応放送切換

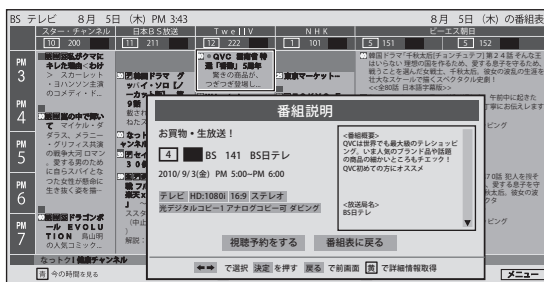
⬅➡ で項目選択　決定 で設定変更

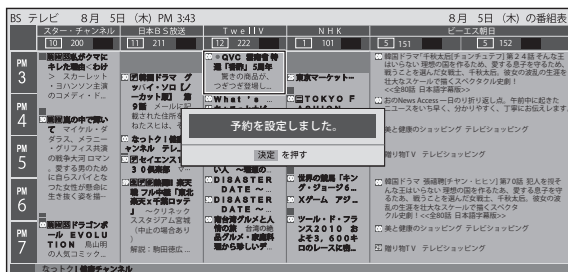
5 視聴したい映像、音声を ▲･▼ で選び、決定 を押す

- 「音声信号切換」、「音多切換」は、音声切換 を押して切り換えることもできます。

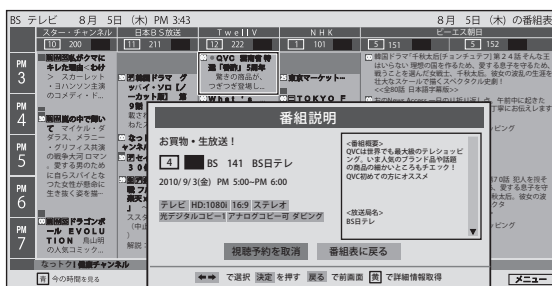
視聴予約の設定をする

1 番組表を表示する

2 ▲▼◀▶で予約したい番組表を選び、決定 を押す

3 番組説明を確認して、「視聴予約をする」を選び、決定 を押す。

4 番組表の画面で予約した番組のボックスに赤いマークが付く。

視聴予約を取り消す

1 予約した番組を選び、決定 を押す

2 番組説明を確認して、「視聴予約を取消」を選び、決定 を押す。

3 番組表の画面で予約した番組のボックスの赤いマークが消える。

- 視聴予約をした番組に切り換わるのは、本機の電源が「入」のときのみです。
- 映像の切換と同時に音声も切り換わる場合もあります。（これをマルチビューサービスといいます）
- 視聴予約後にリモコンや本体で電源 OFF 状態や待機状態にした場合は予約は取消されます。
- 番組の中止・変更・延長などによって、実際の放送内容が番組表と異なる場合があります。

お好みの映像を選ぶ

● 映像メニューは、入力端子ごとに記憶させることができます。

1 ○メニュー **を押す**

2 **▲·▼ で「映像メニュー」を選び、決定 を押す**

3 **▲·▼ で「映像モード」を選び、決定 を押す**

4 **▲·▼ でお好みの映像を選び、決定 を押す**

映像モード	内　容
スーパー	明るく、迫力ある映像で楽しむとき
標準	お部屋で落ち着いた雰囲気で楽しむとき（日常、ご家庭で使用するときの推奨設定です）
シネマ	暗くした部屋で映画館のような雰囲気で楽しむとき（暖かみのある色あいを再現します）
ユーザー	お好みに調整した映像で楽しむとき

お好みの映像に調整する

1 ◯メニュー を押す

2 ▲·▼ で「映像メニュー」を選び、決定 を押す

3 ▲·▼ で「映像設定」を選び、決定 を押す

4 ▲·▼ で調整項目を選び、決定 を押す

5 ◀·▶ でお好みの映像に調整し、決定 を押す

映像設定	
コントラスト	100
黒レベル	－05
色の濃さ	＋ 20
色あい	00
シャープネス	＋ 10
バックライト	100
色温度	中
初期設定に戻す	⟶

⬆⬇ で項目選択 決定 で設定変更

調整項目	内　容	◀·▶ を押したとき
コントラスト	コントラスト・調整します。	00　～　100 淡くなる ⇔ 濃くなる
黒レベル	黒の階調を調整します。（黒髪などを見やすくします）	－50　～　＋50 暗くなる ⇔ 明るくなる
色の濃さ	色の濃さを調整できます。	－50　～　＋50 淡くなる ⇔ 濃くなる
色あい	色あいを調整します。（肌の色に注目して調整します）	－50　～　＋50 紫っぽくなる ⇔ 緑っぽくなる
シャープネス	映像の鮮明さを調整できます。	－50　～　＋50 やわらかい映像になる ⇔ くっきりした映像になる
バックライト	お好みの見やすい画面の明るさに調整できます。「明るさセンサー」が「オフ」に設定されているときに表示されます。	00　～　100 暗くなる ⇔ 明るくなる
色温度	お好みの色温度を調整できます	低　中　高 赤っぽくなる ⇔ 青っぽくなる
初期設定に戻す	調整した項目をお買い上げ時の設定に戻します。	―――

お知らせ

映像設定を調整すると映像モードが「ユーザー」に変更されます。

ノイズリダクション

● 映像のノイズやざらつきを減らします。
※ HDMI 入力で PC 信号フォーマットを表示しているときは、設定できません。
※ 映像によっては、効果がわかりにくい場合があります。

1 ◯メニュー **を押す**

2 **▲·▼ で「映像メニュー」を選び、決定 を押す**

3 **▲·▼ で「ノイズリダクション設定」を選び、決定 を押す**

4 **設定したい項目を ▲·▼ で選び、決定 を押す**

● 設定項目については、下表をご覧ください。

お好みの音声を選ぶ

1 ◯メニュー **を押す**

2 **▲·▼ で「音声メニュー」を選び、決定 を押す**

3 **▲·▼ で「音声調整」を選び、決定 を押す**

4 **調整する項目を ▲·▼ で選び、決定 を押す**

● 調整項目の内容は下表のとおりです。

5 **◀·▶ または、▲·▼ でお好みの音声に調整し、決定 を押す**

●「バランス」、「高音」、「低音」の調整画面では、◀·▶ を押さないと数秒で「音声調整」画面に戻ります。
●「バランス」、「高音」、「低音」を調整中に ▲·▼ を押すと、前後の項目に移ります。
● いくつもの項目を調整する場合は、手順 **4**、**5** を繰り返してください。
● 調整が終わったら、戻る◯ を押します。

調整項目	◀·▶ を押したとき
バランス	**左 50** ～ **右 50** 左の音が強調される　右の音が強調される
高音	**－ 50** ～ **＋ 50** 高音が軽減される　高音が強調される
低音	**－ 50** ～ **＋ 50** 低音が軽減される　低音が強調される

調整項目	▲·▼ を押したとき
高音強調	ドラマのセリフや楽器の音の輪郭を明りょうにして聞きやすくします。 入↔ 切
低音強調	豊かな低音を再生します。 (2 段階で強調の設定ができます) 強 ⟷ 弱 ⟷ 切
サラウンド	ステレオ音声を自然な広がり感を持ったサラウンドで再生する機能です。 入↔ 切

ご確認ください

自然現象や本機の特性に関すること

キャビネットからの「ピシッ」というきしみ音

● 「ピシッ」というきしみ音は、部屋の温度変化でキャビネットが伸縮するときに発生する音です。画面や音声などに異常がなければ心配ありません。

本機内部からの「カチッ」という音

● 本機は、電源が「切」または「待機」のときに番組情報取得などの動作をします。このときに、本機内部から「カチッ」という音が聞こえることがあります。

本機内部からの「ジー」という音

● 本機から「ジー」という液晶パネルの駆動音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。

蛍光管について

● お買い上げ時、蛍光管の特性上、画面にちらつきが出ることがあります。この場合、本体の電源プラグをコンセントから抜いてから、再度電源プラグをコンセントに差し込んで、もう一度電源を入れ直して確認してください。

■修理・改造・分解はしない
内部には電圧の高い部分があり、感電・火災の原因となります。
内部の点検・調整および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

● 電源プラグがはずれたり、アンテナなどに異常があったりすると、本機の故障と間違えることがあります。
修理を依頼される前に以下のことをお調べください。

基本操作

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
電源がはいらない	・「電源」表示が赤色に点灯していますか。	・「電源」表示が赤色に点灯していない場合は、電源プラグがコンセントに正しく差し込まれているかご確認ください。 リモコンの電源ボタンを押して電源を入れてください。68
	・「電源」表示が赤色に点滅していますか。	・電源プラグをコンセントから抜き、1 分以上たってからもう一度コンセントに差し込んでも「電源」表示が赤色に点滅しているときは故障です。 本体の電源ボタンで電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。
リモコンが動作しない	・「電源」表示が赤色に点灯していますか。	・「電源」表示が赤色に点灯していないときは、本体の電源ボタンを確実に押して電源を入れてください。68
	・リモコンを本機のリモコン受光部に向けて操作していますか。	・リモコンをリモコン受光部に向けてください。（33）
	・リモコンの乾電池が消耗していませんか。	・新しい乾電池に交換してください。（32）
	・リモコンの乾電池の極性（＋、－）が逆向きにはいっていませんか。	・極性（＋、－）を正しく入れてください。（32）
	・本体のボタンで音量調整などの操作ができますか。	・上記を確認してもリモコンで操作ができない場合はリモコンの故障が考えられます。お買い上げの販売店にご相談ください。
すべての操作ボタンが動作しない	・電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。 ※ ソフトウェアのダウンロード 93 をしている場合は、終了するまで操作ボタン（本体、リモコンの電源以外のボタン）は動作しません。**ソフトウェアのダウンロード中は、絶対に電源プラグを抜いたり、本体の電源ボタンで電源を切ったりしないでください。**ソフトウェアの書き込みが中止され、正常に動作しなくなることがあります。	・ソフトウェアのダウンロード中は、終了するまでお待ちください。 ・本体の電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。約 10 秒後に電源プラグをコンセントに差し込み、本体の電源ボタンを押して電源を入れてください。(リセット)
番組表の文字が小さい	―――	・「文字サイズ変更」74 で文字の大きさを変更してください。

映像

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
放送の映像が出ない	• アンテナ線がはずれていませんか。	• アンテナ線を正しく接続してください。（29～31）
	• アンテナ、アンテナ線が破損、または断線していませんか。	• アンテナ、アンテナ線を確認してください。
	• アンテナは正しい方向に向いていますか。	• アンテナを正しい方向に向けてください。
	• 音声は出ていますか。	• 音声が出ている場合は、本体の電源ボタンで電源を切り、もう一度電源を入れてください。
映像や番組表が表示されるまでに時間がかかる	• 本体の電源ボタンで電源「入」にしましたか。	• 本体の電源ボタンで電源「入」にしたときは時間がかかります。（リモコンで電源「入」にしたときよりも時間がかかります）
	• 別の放送メディアのチャンネルを選局しましたか。	• 別の放送メディアのチャンネルを選局した場合は、映像が表示されるまでやや時間がかかります。
接続した機器の映像が出ない	• 接続コードが正しく接続されていますか。	• 接続した映像コードの入力、出力が合っているか確認してください。
	• 入力切換は合っていますか。	• 本体またはリモコンの 入力切換 で外部機器を接続した入力端子を選んでください。
色がつかない、色がおかしい、画面が暗い	• ご希望の映像メニューや映像調整になっていますか。	• 映像メニュー 81 を確認してください。映像メニューを選択しても希望の映像にならない場合は「お好み調整」82 で希望の映像に設定します。
雪や雨が降ったような画面になる	• アンテナの向きがずれていませんか。 • アンテナ線がはずれたり、切れたりしていませんか。	• アンテナの向き、アンテナ線の接続（29～31）に問題がない場合は、チャンネル設定が正しいか確認してください。（52～54）
画面にはん点が出る	• 平行フィーダー線（30 お知らせ）を使っていませんか。	• 自動車、オートバイ、電車、高圧線、ネオンサイン、クリーナー、ヘアードライヤーなどからの妨害が原因と考えられます。アンテナ線の位置を原因妨害源（道路など）から離れた位置に移動することをお勧めします。 • 平行フィーダー線から電波妨害に強い同軸ケーブルに変えてみることをお勧めします。 ※ 上記の対処で改善されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
画面にしま模様が出る	• 平行フィーダー線（30 お知らせ）を使っていませんか。	• 近くのテレビやパソコン、テレビゲーム、ビデオ、オーディオ機器、DVD 機器、携帯電話などや無線局などからの電波の混信が考えられます。 • アンテナ線は他の機器の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してみてください。 ※ 上記の対処で改善されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

ご確認ください つづき

音声

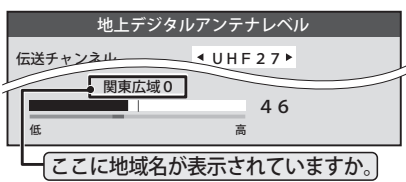
このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
音声が出ない	• 音量が最小になっていませんか。	• 音量 で音量を上げてください。 68
	• 画面に「消 音」マークが表示されていませんか。	• 消音 を押すと消音を解除できます。 68 （音量 を押しても解除されます） 68
ときどき音声が出ない、音がとぎれる	• 電波が弱いチャンネルではありませんか	• 無信号消音機能が設定されていることが考えられます。「無信号消音設定」を「オフ」にしてみてください。（59）

デジタル放送関係

デジタル放送全般

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
デジタル放送だけが映らない	• B-CAS カードが正しく挿入されていますか。（カードの上下や裏表は正しいですか）	• B-CAS カードを挿入しないと、放送や「放送局からのお知らせ」の受信ができません。B-CAS カードを正しい方向で入れてください。（28）
	• アンテナをさえぎる障害物はありませんか。 • アンテナ線がはずれていませんか。 • アンテナの向きがずれていませんか。	• お買い上げの販売店にご相談のうえ、アンテナの方向を確認・調整してください。（50、51） • 地上デジタル放送に対応したアンテナ線が正しく接続されているかを確認してください。
	• BS、110 度 CS 放送の場合、コンバーター電源供給が「切」になっていませんか。	• マンションなどの共聴アンテナ以外ではコンバーター電源供給を「連動」にします。（50）
映像や音声が（ときどき）出たり、出なかったりする 映像の動きが（ときどき）停止する	• 電波の種類に適合したアンテナを使用していますか。 • 衛星デジタル放送の場合、地域に適したサイズ（口径）のアンテナを使用していますか。	• 放送に適合したアンテナをお使いください。
	• アンテナをさえぎる障害物はありませんか。 • アンテナ線がはずれていませんか。 • アンテナの向きがずれていませんか。	• BS•110 度 CS アンテナの方向を確認•調整してください。（51） • 地上デジタル放送に対応したアンテナ線が正しく接続されているかを確認してください。
	• 積雪や豪雨、雷などが発生していませんか。	• 天候が回復すればもとの状態に戻ります。
有料放送が視聴できない	• B-CAS カードは正しく入れてありますか。	• B-CAS カードを正しい向きに入れてください。（28）
	• 有料放送を視聴するための手続きはお済みですか。	• 視聴手続きをしてください。
引越しをしたら、データ放送や文字スーパーが表示されなくなった	• データ放送用の地域の設定は正しいですか。	• 新住所にあわせて「郵便番号と地域の設定」をしてください。（62）

映像 / 音声

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
特定のチャンネルの映像や音声が出ない	• アンテナとの接続にデジタル放送に非対応のケーブルや機器などを使用していませんか。	• 携帯電話など本機の受信周波数帯域に相当する周波数を使用している機器の影響によって、映像や音声が出なくなる場合があります。 • デジタル放送に対応したケーブルや機器などを使用してください。
不自然なブロックノイズ（モザイク状のノイズ）が見えるときがある	• 積雪や豪雨、雷などが発生していませんか。 • 特に動きの激しい画面でブロックノイズが見えますか。	• デジタル放送受信の特性上、発生することがあります。以下の場合は故障ではありません。 • 悪天候などで、受信状態が悪化した場合 • 画面の激しい変化に映像処理が対応できない場合

お知らせ

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
「お知らせ」アイコンが消えない	• 「お知らせ」の内容を確認しましたか。	• 「放送局からのお知らせ」「本機に関するお知らせ」の内容を表示させると消えます。95
未読の「お知らせ」がなくなっている • 放送局からのお知らせ • 本機に関するお知らせ • ボード	• 「設定の初期化」をしませんでしたか。	• お買い上げ時の設定に戻すと（66）「お知らせ」は削除されます。
	• 「お知らせ」は最大件数を超えていませんか。	• 「放送局からのお知らせ」「本機に関するお知らせ」については、最大数を超えて受信した場合は未読でも自動的に削除されることがあります。詳しくは 95 の「お知らせ」をご覧ください。
	• ボードについては、そのとき受信したものしか表示されません。	―――
「放送局からのお知らせ」が受信できない	• B-CAS カードは正しく入れてありますか。	• B-CAS カードを正しい向きに入れないと、「お知らせ」は受信できません。（28）

地上デジタル放送の受信や視聴予約など

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
地上デジタル放送がまったく受信できない ※以下も含みます • 地上デジタル放送の番組表などが表示されない • 本体の放送切換ボタンを押しても地上デジタル放送に切り換わらない	• B-CAS カードは正しく入れてありますか。	• B-CAS カードを正しい向きに入れてください。（28）
	• 地上デジタル放送用アンテナは正しく接続されていますか。	• アンテナの接続を確認してください。（29 ～ 31）
	• アンテナの方向は正しいですか。	• アンテナを地上デジタルの放送局側に向けてください。 • お買い上げの販売店にご相談のうえ、アンテナレベルの数値を確認しながら、アンテナの方向調整をしてください。（50）
	• 「初期スキャン」をしましたか。	• 初期スキャンをしてください。（53） • 受信したチャンネルについては「番組表」で確認できます。71
	• お住まいの地域は地上デジタル放送の受信可能エリアですか。	• 地上デジタル放送が行われているかを、もよりの放送局にお問い合わせください。以下のホームページのリンク先で確認することもできます。 av.hitachi.co.jp/tv/support/reference.html
	• 共聴システムをご使用の場合、共聴システムは地上デジタルに対応（パススルー方式）になっていますか。	• CATV の場合はご契約の CATV 会社に、その他の場合は共聴システムの管理者にお問い合わせください。（CATV がパススルー方式でない場合は CATV 用チューナーが必要な場合があります）
引越しをしたら、地上デジタル放送が受信できなくなった	• 引越し後、地上デジタル放送の「初期スキャン」または「再スキャン」を実施しましたか。	• 県外に引越しをした場合は、「初期スキャン」（53）をしてください。 • 県内で引越しをした場合は、「再スキャン」（54）をしてください。 • 「初期スキャン」または「再スキャン」をしても受信できない場合は、上の「地上デジタル放送がまったく受信できない」の内容も確認してください。
一部の地上デジタル放送が受信できない	• 放送は行われていますか。	• 地上デジタル放送が行われているか、もよりの放送局にお問い合わせください。
複数のテレビで、チャンネルボタンのチャンネルが異なっている	• 初期スキャンなどを異なる時間にしませんでしたか。	• テレビの場合は、チャンネルの割当てや枝番が同じにならないことがあります。 ※「チャンネル設定」の「手動設定」（56）でチャンネルの割当てを変更することができます。

ご確認ください つづき

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
地上デジタルアンテナ受信が悪いあるいは受信できないとき	地上デジタルアンテナレベル 伝送チャンネル ◂ UHF27 ▸ 関東広域0 46 低 高 ここに地域名が表示されていますか。	• 地域名が表示されている場合は、再スキャンをしてください。（54） ※ 地域名が表示されている場合でも、背面が黒画面の場合は通常の選局では受信できません。 • 表示されていない場合は、検査放送です。通常の選局では受信できません。
受信できなくなった放送局が番組表表示などから消えない	――――	• 初期スキャンをしてください。（53）
リモコンのボタンに設定してあった放送局が別の放送局に変わっている ※ 以下も含みます ・ 以前選局できた放送がなくなっている	• 「本機に関するお知らせ」の中に「放送局からの変更がありました。」などのお知らせがありますか。	• 放送の運用規定などに基づいて、設定内容が変更される場合があります。 「本機に関するお知らせ」の内容を確認してください。95
地上デジタル放送で、リモコンボタンに手動設定したチャンネルが消えている	• 「初期スキャン」（53）をしませんでしたか。 • 「再スキャン」（54）で「すべて設定し直す」を選択しませんでしたか。	• 必要に応じて、再度「手動設定」をしてください。（56）
番組表を表示させても番組名などが表示されない場合や、実際の内容と合っていない場合が多い	――――	• 番組情報を取得してください。情報取得には時間がかかる場合があります。73 • 番組表を最新にしておくために、本機の電源を毎日1時間以上「切」または「待機」にすることをおすすめします。

LAN 設定について

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
イーサネット通信ができない（LAN 端子を使った双方向サービスができない）	• LAN 端子は正しく接続されていますか。	• 接続を確認してください。
	• 「LAN 端子設定」は正しく行われていますか。	• LAN 端子設定を確認してください。（48）
通信速度が遅い、不安定	• 接続ケーブルが長すぎませんか。	• ケーブルが長すぎると通信速度が遅くなる場合があります。短い接続ケーブルに換えてください。

エラー・メッセージ表示について

全般

このようなとき	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「放送が受信できません。 • アンテナの接続や設定をご確認ください。 • 青 でアンテナレベルをご確認ください。 コード：E202」	• 放送に適合したアンテナでない。 • 雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない。 • アンテナ線がはずれたり、切れたりしている。 • アンテナの設定が合っていない。 • アンテナの方向ずれや故障。 • 電波が弱くて視聴できない。	• 放送に適合したデジタル放送用アンテナであることを確認してください。 • アンテナの接続や設定が合っているか確認してください。（29～31） • アンテナ線を確認してください。 ※ 選局したチャンネルの放送が休止中の場合も表示されることがあります。
「このチャンネルはご覧になれません。コード：E210」	• 部分受信サービス（ワンセグ）を選局した。	• 本機は部分受信サービスに対応していないので受信できません。
「電波の受信状態が良くありません。メニューから降雨対応放送に切り換えられます。コード：E201」	• 気象条件などによって信号レベルが下がり、降雨対応放送切換が可能な状態になった。	• 降雨対応放送に切り換えることができます。94
「現在放送されていません。コード：E203」	• 選局したチャンネルでの放送が休止中。 • 放送が終了している。	• 番組表などで放送時間を確認してください。 • 放送中のチャンネルを選局してください。 ※ 雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない場合も表示することがあります。
「放送チャンネルではないためご覧になれません。コード：E200」	• 通信など通常の放送形態でないチャンネルを選局した。 • ホテルなどで特定の視聴者向けのサービスとして放送しているチャンネルを選局した。	• 通常の放送チャンネルを選局してください。
「ご案内チャンネルに切り換えますか？」	• 有料の放送事業者のチャンネルを選局した。	• 選んだチャンネルの契約のしかたなどをご覧になる場合は、「ご案内チャンネル」に切り換えてください。
「表示するチャンネルがありません。」	• 番組表で、表示するチャンネルがまったくない。	• 地デジ、BS、CS や ○メニュー 内の「テレビ／ラジオ／データ切換」で、表示できるチャンネルを選んでください。
「B-CAS カードが正しく挿入されていません。B-CAS カードをご確認ください。」	• B-CAS カードが挿入されていない、または正しく挿入されていない。	• カードを抜き差ししてみてください。 • B-CAS カードが正しく挿入されているか確認してください。（28）
「B-CAS カードの交換が必要です。B-CAS カスタマーセンターへご連絡ください。コード：6400 または 6581」	• B-CAS カードが故障している、または交換の必要がある。	• カードを抜き差ししてみてください。 • それでも正常にならない場合は、カードに記載されている B-CAS カスタマーセンターにお問い合わせください。
「この B-CAS カードはご使用になれません。B-CAS カスタマーセンターへご連絡ください。コード：A104 または A105 または A106 または A107」	• B-CAS カードが登録されていない。	• B-CAS カードの登録をしてください。カードに記載されている B-CAS カスタマーセンターにお問い合わせください。
「この IC カードはご使用になれません。使用可能な B-CAS カードを挿入してください。」	• 同梱の B-CAS カード以外のカードを挿入している。	• 同梱の B-CAS カードを挿入してください。
「この IC カードはご使用になれません。使用可能なB-CASカードを挿入してください。コード：EC01」	• 無効な B-CAS カードを挿入した。	
「この B-CAS カードはご使用になれません。コード：A1FF または A102」	• 使用できない B-CAS カードを挿入した。	
「B-CAS カードが故障しています。」	• B-CAS カードが故障している、または交換の必要がある。	• 交換について、B-CAS カスタマーセンターにお問い合わせください。
「時刻情報を取得できませんでした。」	• デジタル放送が受信できないため、時刻情報を自動取得できない。	• しばらくしてからデジタル放送を受信して、時刻情報を自動取得してください。
「この番組には視聴制限があります。」	• 設定した視聴年齢を超えた番組を選局した。	• 視聴年齢を設定していない場合は、「視聴年齢制限設定」（64）で視聴年齢を設定してください。 • 視聴する場合は、暗証番号を入力してください。（64）

エラー・メッセージ表示について　つづき

このようなとき	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「番組に視聴制限があるためご覧になれません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。」	• 選んだチャンネル（番組）の視聴地域が限定されているため、視聴できない。	• 詳しくはご覧のチャンネルのカスタマーセンターにご連絡ください。

デジタル放送を受信中にメッセージが表示された場合

- メッセージ表示の中に、「【画面表示】を押し続けると消去」という文章が表示された場合は、画面表示 を数秒間押し続けると、メッセージ表示を消すことができます。
- 「【画面表示】を押し続けると消去」の文章は、メッセージが表示されてから数秒後に自動的に消えます。
  この文章が消えたあとも、画面表示 を数秒間押し続けると、表示されているほかのメッセージ表示を消すことができます。

通信（LAN 端子を使った通信）に関するエラー表示　（代表的なもの）

このようなとき	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「サーバーと通信できませんでした。詳しくは取扱説明書をご覧ください。」	• サーバーからのダウンロードに失敗した。	• 回線が混みあっているなどの場合も考えられますので、時間帯を変えて、もう一度操作してください。 • 「LAN 端子の接続と設定」（48 ～ 49）で、接続・設定の状態を確認してください。
「本機にルート証明書が設定されていないため、サーバーに接続できません。」	• 本機にルート証明書が設定されていない。	• ルート証明書番号を確認し（62）、エコーセンター（裏表紙参照）にお問い合わせください。
「現在設定されているルート証明書ではサーバーの安全性を確認できないため、接続できません。」	• ルート証明書は本機内に設定されているが、接続先のサーバー証明書との検証が取れない。	• ルート証明書番号を確認し（62）、正しいルート証明書であるかをエコーセンター（裏表紙参照）にお問い合わせください。
「現在設定されているルート証明書の有効期限が切れているため、サーバーに接続できません。」	• ルート証明書の有効期限が切れている。	
「サーバーの証明書の有効期限が切れているため、接続できません。」	• 接続先の証明書が有効期限切れになっている。	• 接続先の安全性に問題があります。本機は、一部の接続先については、安全性の確認ができない場合、接続を行いません。（本機の動作は正常です）
「サーバーの証明書には表示するページの名前が含まれていないため、接続できません。」	• サーバー証明書に表示しようとしているページの名前がない。	
「サーバーの証明書の不正が検出されたため、接続を中断します。」	• 接続先の証明書が改ざんされている。	
「サーバーの証明書に問題があるため、接続を中断します。」	• 認証エラーが発生した。	

タイマーを使う

オンタイマーを使う

● 設定した時刻に本機の電源が「入」になります。オンタイマーは、デジタル放送を受信していない場合や時刻情報を取得していない場合には使用できません。

1 ○メニュー を押す

2 ▲·▼ で「タイマー機能」を選び、決定 を押す

3 ▲·▼ で「オンタイマー」を選び、決定 を押す

4 「オンタイマー設定画面」で設定する項目を ▲·▼ で選び、決定 を押す

オンタイマー	
オンタイマー機能	切
日時	月~金 AM 7:00
チャンネル	BS 103
音量	30

⬆⬇ で項目選択 決定 で設定変更

オンタイマー機能

オンタイマーを使用する、使用しないを設定します。

❶ ▲·▼ で「オンタイマー機能」を選び、決定 を押す

❷ ▲·▼ で「入」を選び、決定 を押す

● オンタイマーを設定したあとにオンタイマーを解除したい場合は、上記の手順で「切」を選びます。

日時

オンタイマーで本機の電源を「入」にする日時を設定します。

❶ ▲·▼ で「日時」を選び、決定 を押す

❷ ◀·▶ で設定する項目を選び、▲·▼ で日時を選ぶ

● 曜日は「毎日」、「毎週（日）」～「毎週（土）」、「月～木」、「月～金」、「月～土」の中から選びます。

❸ 設定が終わったら、決定 を押す

チャンネル

オンタイマーで電源が「入」になったときに、画面に映すチャンネルを設定します。

❶ ▲·▼ で「チャンネル」を選び、決定 を押す

❷ ▲·▼ でチャンネルを選び、決定 を押す

❸ 設定が終わったら、決定 を押す

- 放送の種類　：　地デジ／ BS ／ CS
- チャンネル　：　指定された放送の種類やメディアに該当するチャンネル

音量

オンタイマーで電源が「入」になったときの音量を設定します。

❶ ▲·▼ で「音量」を選び、決定 を押す

❷ ▲·▼ でお好みの音量を選び、決定 を押す

●本体前面の「オンタイマー」表示が点灯します。

オフタイマーを使う

● オフタイマーを設定すると、設定時間後に電源が切れて、待機状態になります。

1 ○メニュー を押す

2 ▲·▼ で「タイマー機能」を選び、決定 を押す

3 ▲·▼ で「オフタイマー」を選び、決定 を押す

4 ▲·▼ で設定時間を選び、決定 を押す

● 電源が切れる 1 分前になると、画面にメッセージが表示されます。

● オフタイマーが設定されているときに ○メニュー を押すと、メニューの「タイマー機能」に電源が切れるまでの残り時間が表示されます。

お知らせ

■「オンタイマー」について

● 「オンタイマー」を「入」にした後は、リモコンの電源ボタンで電源を切ってください。本体の電源ボタンで電源を切らないでください。

● オンタイマーで電源がはいってから約 1 時間操作をしなかった場合には、電源が自動的に切れます。

■「オフタイマー」について

● 設定した時刻になる前に、電源を切ったり、「待機」状態にしたりすると、設定が取り消されます。

その他

省エネ設定

1 ◯メニュー を押す

2 ▲·▼ で「各種設定」を選び、決定 を押す

3 ▲·▼ で「機能設定」を選び、決定 を押す

4 ▲·▼ で「低消費電力」を選び、決定 を押す

5 設定する項目を ▲·▼ で選び、決定 を押す

● 各設定項目の内容は下表のとおりです。

6 希望の設定を ▲·▼ で選び、決定 を押す

● いくつもの項目を設定する場合は、手順 **5**、**6** を繰り返してください。
● 設定が終わったら、戻る◯ を押します。

低消費電力	
消費電力	標準
番組情報取得設定	取得する
無操作電源オフ	しない
無信号電源オフ	する
ビデオパワーセーブ	する
クイックスタート	しない

⬆⬇ で項目選択 決定 で設定変更

設定項目	設定と内容
消費電力	・ **標準** ………… 標準の明るさです。 ・ **低減（弱）**…… 画面の明るさをおさえて、消費電力を低減します。 ・ **低減（強）**…… 明るさと消費電力を「低減（弱）」よりさらにおさえたモードです。
番組情報取得設定	・ **取得する** …… 電源が「切」または「待機」状態 (リモコンの電源ボタンで電源を切った状態）のときに、デジタル放送の番組情報を取得します。取得時に電力を消費します。 ・ **取得しない** …番組情報を取得しません。そのため、番組表の内容が表示されない場合があります。
無操作電源オフ	・ **する** ………… テレビの無操作状態が約 3 時間続くと、電源が切れ待機状態になります。 ・ **しない** ……… テレビの無操作状態が続いても電源が切れません。
無信号電源オフ	・ **する**………… 放送受信時に、無信号状態が約 15 分間続くと、電源を切り待機状態にします。 ・ **しない** ……… 無信号状態が続いても電源が切れません。 ※ ビデオ入力（外部入力）を選んでいるときは機能しません。
ビデオパワーセーブ	・ **する**………… 外部入力選択時に、無信号状態が約 15 分間続くと、電源が切れ待機状態になります。 ・ **しない** ……… 無信号状態が続いても電源が切れません。
クイックスタート	・ **する**…………「待機」状態のときに、リモコンの電源ボタンを押すと、「クイックスタート : しない」に比べて、早く画面が表示されます。ただし、「クイックスタート : しない」に比べて、電力を消費します。 ・ **しない** ………「待機」状態のときに、リモコンの電源ボタンを押すと「クイックスタート : する」に比べて、遅く画面が表示されます。

ダウンロードについて

ダウンロード機能とは

- 本機のソフトウェアを書き換える機能です。機能の追加や改善をします。
- ダウンロードには、下表の二つの場合があります。

BS や地上デジタルの放送波で送られる自動ダウンロード用ソフトウェアをダウンロードする。	あらかじめ設定しておくことによって、自動ダウンロード用のソフトウェアが送られてきたときに、本機が自動的にダウンロードします。
BS や地上デジタルの放送波で送られる任意ダウンロード用ソフトウェアをダウンロードする。	ダウンロードする場合は、下の操作でダウンロード予約をしてください。

ダウンロード中は、電源プラグを抜かないでください。
ソフトウェアの書込みが中断され、本機が正常に動作しなくなる場合があります。

放送波で送信されるソフトウェアをダウンロードする

- ダウンロードをするには、あらかじめ電源「入」の状態で、BS または地上デジタル放送を数分間受信する必要があります。（本機がダウンロード情報を取得するためです）

自動ダウンロードの設定をする

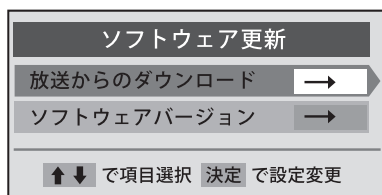
- お買い上げ時は自動ダウンロードするように設定されています。
- 「ダウンロードする」のまま、お使いいただくことをおすすめします。

1 ○メニュー を押す

2 ▲·▼ で「各種設定」を選び、決定 を押す

3 ▲·▼ で「機能設定」を選び、決定 を押す

4 ▲·▼ で「ソフトウェア更新」を選び、決定 を押す

5 ▲·▼ で「放送からのダウンロード」を選び、決定 を押す

6 ▲·▼ で「自動ダウンロード」を選び、決定 を押す

7 ▲·▼ で「ダウンロードする」、「ダウンロードしない」のどちらかを選び、決定 を押す

- 青 を押して自動ダウンロードの日時一覧を確認することができます。
- 設定が終わったら、決定 を押します。

任意ダウンロードをする

- ダウンロードする場合は、以下の操作でダウンロードの予約をしてください。

1 ○メニュー を押す

2 ▲·▼ で「各種設定」を選び、決定 を押す

3 ▲·▼ で「機能設定」を選び、決定 を押す

4 ▲·▼ で「ソフトウェア更新」を選び、決定 を押す

5 ▲·▼ で「放送からのダウンロード」を選び、決定 を押す

6 ▲·▼ で「ダウンロードの予約」を選び、決定 を押す

7 画面の説明を読み、ダウンロード予約する場合は、◀·▶ で「はい」を選び、決定 を押す

8 ▲·▼ で予約日時を選選び、決定 を押す

9 画面のメッセージを読み、決定 を押す

- 予約できるダウンロードは一つです。
- 終わったら、戻る○ を押します。
- **予約の開始時刻の前までに、リモコンの電源ボタンで電源を「待機」にしておいてください。**

任意ダウンロード予約の日時を変更するには

❶ 上記の「任意ダウンロードをする」の手順 **1 〜 6** の操作で、予約日時一覧の画面にする。

次のページにつづく

- ダウンロードによって、一部の設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったり、予約やお知らせが削除されたりする場合があります。
- 任意ダウンロード用のソフトウェアは、お客様が任意で採用するものであり、自動ダウンロード用のソフトウェアとは異なります。

ダウンロードについて つづき

❷ 変更後の日時を ▲･▼ で選び、 決定 を押す
❸ ◀･▶ で「はい」を選び、 決定 を押す
❹ 画面のメッセージを読み、 決定 を押す
- 終わったら、戻る○ を押します。
- **予約の開始時刻の前までに、リモコンの電源ボタンで電源を「待機」にしておいてください。**

任意ダウンロード予約を取り消すには

❶ 前ページの「任意ダウンロードをする」の手順 **1** 〜 **6** の操作で、予約日時一覧の画面にする
❷ 予約済みのダウンロード日時を ▲･▼ で選び、 決定 を押す
❸ 画面のメッセージを読み、 ◀･▶ で「はい」を選び、 決定 を押す
- 終わったら、戻る○ を押します。あとで 決定 を押すと、電源が「待機」になってから再び「入」になり、通常の視聴ができるようになります。

ソフトウェアのバージョンを確認する

1 ○メニュー **を押す**

2 **▲･▼ で「各種設定」を選び、 決定 を押す**

3 **▲･▼ で「機能設定」を選び、 決定 を押す**

4 **▲･▼ で「ソフトウェア更新」を選び、 決定 を押す**

5 **▲･▼ で「ソフトウェアバージョン」を選び、 決定 を押す**

6 **ソフトウェアのバージョンを確認して、 決定 を押す**

降雨対応放送について

- BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送を視聴中に、雨や雪などで衛星からの電波が弱まったときには、放送局が運用していれば、降雨対応放送に切り換えて見ることができます。

※ 以下のメッセージが表示された場合は、降雨対応放送に切り換えてください。

> 電波の受信状態が良くありません。
> メニューから降雨対応放送に切り換えられます。
> コード：E201

1 ○メニュー **を押す**

2 **▲･▼ で「その他メニュー」を選び、 決定 を押す**

3 **▲･▼ で「信号切換」を選び、 決定 を押す**

4 **▲･▼ で「降雨対応放送切換」を選び、 決定 を押す**

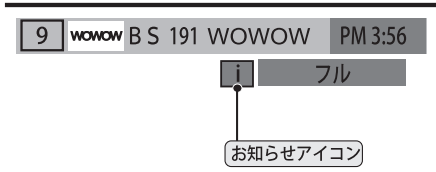
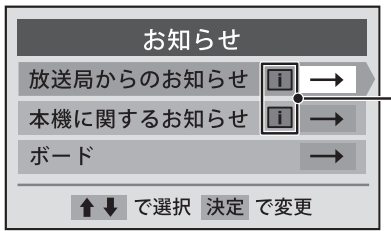
5 **▲･▼ で「降雨対応放送」を選ぶ**
- 降雨対応放送をやめるには、「通常の放送」を選んでください。

お知らせを見る

- お知らせには、「放送局からのお知らせ」と「本機に関するお知らせ」があります。
- 未読のお知らせがあると、チャンネル切換時や 画面表示 を押したときに画面に「お知らせアイコン」が表示されます。

1 ○メニュー **を押す**

2 **▲·▼ で「各種設定」を選び、 決定 を押す**

3 **▲·▼ で「お知らせ」を選び、 決定 を押す**

4 **▲·▼ お知らせの種類を選び、 決定 を押す**

未読のお知らせがある場合はオレンジ色に表示されます。

- **放送局からのお知らせ** ･･･ デジタル放送局からのお知らせです。
- **本機に関するお知らせ** ･･･ 予約等について本機が発行したお知らせです。
- **ボード** ･･････････････････ 110 度 CS デジタル放送の視聴者に向けたお知らせです

5 **▲·▼ で読みたいお知らせを選び、 決定 を押す**

「本機に関するお知らせ」を削除する場合

※ 削除できるのは「本機に関するお知らせ」のみです。

❶「本機に関するお知らせ」の画面で、 青 を押す

❷ ◀·▶ で「はい」を選び、 決定 を押す

※「本機に関するお知らせ」がすべて削除されます。

- 「放送局からのお知らせ」は、地上デジタルが 7 通まで記憶され、BS デジタルと 110 度 CS デジタルは、合わせて 24 通まで記憶されます。（放送局の運用によっては、それよりも少ない場合もあります）記憶できる数を超えて受信した場合は、古いものから順に削除されます。
- 「本機に関するお知らせ」は、既読の古いものから順に削除される場合があります。
- 「ボード」は 110 度 CS デジタル放送のそれぞれに対し、今送信されているものが 50 通まで表示されます。

アイコン一覧

番組についてのアイコン

アイコン	説　明
テレビ	テレビ放送
ラジオ	ラジオ放送
データ	データ放送
テレビ d	データ放送がある場合（テレビ）
ラジオ d	データ放送がある場合（ラジオ）
16：9	画面の横と縦の比が 16：9 の番組の放送
4：3	画面の横と縦の比が 4：3 の番組の放送
ステレオ	ステレオ音声放送
サラウンド	サラウンドステレオ放送
二重音声	二重音声放送
字	字幕放送
MV	マルチビューサービス（80「お知らせ」）
HD	デジタルハイビジョン放送
HD:1080i	放送フォーマットが 1080i のデジタルハイビジョン放送
HD:720p	放送フォーマットが 720p のデジタルハイビジョン放送
SD	デジタル標準テレビ放送
SD:480i	放送フォーマットが 480i のデジタル標準テレビ放送
SD:480p	放送フォーマットが 480p のデジタル標準テレビ放送
信号切換	複数の映像、または音声またはデータがある場合
年齢	視聴年齢制限が設定されている番組の場合

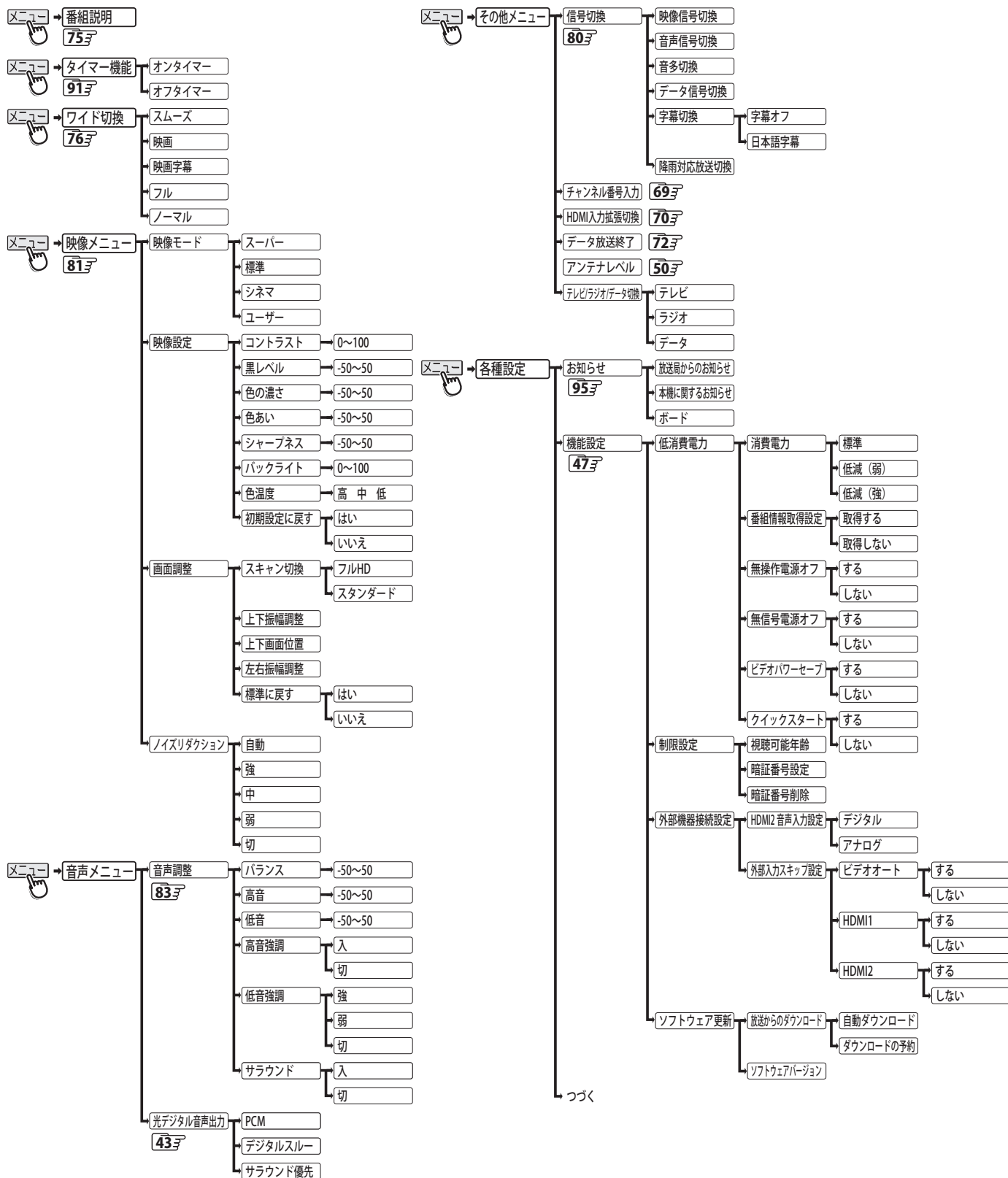
※ テレビd が表示されていなくても、データ放送（番組に連動していないもの）がある場合があります。
テレビd が表示されていても、放送局側の運用によってデータ放送が番組に連動していない場合があります。

お知らせ、その他についてのアイコン

アイコン	説　明
データ取得中	データの取得中です
i	未読の「お知らせ」
i	既読の「お知らせ」
光デジタルコピー可	光デジタル録音ができます
光デジタルコピー1	1 回のみ光デジタル録音ができます

メニュー 一覧

● 設定・調整のメニュー 一覧を下図に示します。

● メニューに表示される項目や項目名、選択できる項目などは、設定状態によって変わります。選択できない項目はメニュー画面で薄く表示されます。

メニュー一覧 つづき

各種設定
つづき

その他

さくいん

●数字・ABC 順

●アイウエオ順

ア行

カ行

サ行

さくいん つづき

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

本機で対応している HDMI 入力信号フォーマット

● 本機の HDMI 入力で VESA 規格に「○」のついている信号フォーマットは、VESA 規格に準拠する信号フォーマットにのみ対応しています。パソコンや映像機器によっては下表に示した解像度や周波数と異なる信号が入力されるため、正しい表示やフォーマット判定ができなかったり、映像が表示されない場合があります。その場合は下表に示した入力信号のどれかに合うようにパソコンや映像機器の設定を変更してください。一部のパソコンでは有効画面領域を「解像度」と表記する場合があり、この場合は TV の表示する解像度と異なることがあります。
● リフレッシュレートが 24/70/72/75Hz の信号は 60Hz に変換して表示しています。
● 下表すべての信号に対応していますが、パソコンを接続する場合は 60Hz の信号を推奨します。

フォーマット名	表示解像度	リフレッシュレート または垂直周波数	水平周波数	ピクセルクロック	VESA 規格
480i	720 × 480	59.94 / 60Hz	15.734 / 15.750kHz	27.000 / 27.027MHz	
480p	720 × 480	59.94 / 60Hz	31.469 / 31.500kHz	27.000 / 27.027MHz	
1080i	1920 × 1080	59.94 / 60Hz	33.716 / 33.750kHz	74.176 / 74.250MHz	
720p	1280 × 720	59.94 / 60Hz	44.955 / 45.000kHz	74.176 / 74.250MHz	
1080p	1920 × 1080	59.94 / 60Hz	67.433 / 67.500kHz	148.352 / 148.500MHz	
		23.98 / 24Hz	26.973 / 27.000kHz	74.176 / 74.250MHz	
VGA	640 × 480	59.94 / 60Hz	31.469 / 31.500kHz	25.175 / 25.200MHz	○
SVGA	800 × 600	60Hz	37.879kHz	40.000MHz	○
XGA	1024 × 768	60Hz	48.363kHz	65.000MHz	○
WXGA	1280 × 768	60Hz	47.776kHz	79.500MHz	○
	1360 × 768	60Hz	47.712kHz	85.500MHz	○
SXGA	1280 × 1024	60Hz	63.981kHz	108.000MHz	○

お手入れについて

■お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く
感電の原因となることがあります。

■ ベンジン・アルコールなどは使わない

● ベンジン・アルコールなど揮発性のものは使わないでください。キャビネットが変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

■ キャビネットや操作パネルのお手入れ

● キャビネットに付着しているゴミやほこりを取り除いてから、クリーニングクロスや柔らかい布で軽くふき取ってください。よごれたクリーニングクロスや硬い布でふいたり、強くこすったりすると、キャビネットの表面に傷がつきますのでご注意ください。
● 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■ 画面（液晶パネル）は特殊な加工をしています

● 固い布でふいたり、強くこすったりすると表面が傷つきますので、ていねいに扱ってください。

■ 画面（液晶パネル）は水ぶきをしない

● 脱脂綿あるいはガーゼなどの乾いた柔らかい布（OA 機器清掃用の布）で軽くふいてください。
● アセトンなどケトン類やキシレン、トルエンなどの溶剤、水は使用しないでください。

仕様

項目		仕様
種類		地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ
形名		L32-C05
受信機型サイズ		32V
電源		AC 100V 50/60Hz 共用
消費電力	電源「入」時	87 W
	電源「待機」時	0.3 W
	機能動作時※1	13 W
	電源「切」時	0.3 W
年間消費電力量		67 kWh/年 (映像モード：標準時)
区分名		DN
スタンドを含む外形寸法（ ）は本体のみ	幅	80.4cm (80.4cm)
	高さ	58.1cm (53.4cm)
	奥行	23.4cm (10.1cm)
スタンドを含む質量（ ）は本体のみ		11.3kg (10.6kg)
液晶画面	画面寸法	幅69.8cm ×高さ39.2cm 対角80.0cm (32V型)
	駆動方式	TFTアクティブマトリクス
	画素数	水平1366 ×垂直768
受信チャンネル		地上アナログ：VHF（1～12）、UHF（13～62）、CATV（C13～C63） 地上デジタル：VHF（1～12）、UHF（13～62）、CATV（C13～C63） BSデジタル：BS000～BS999、110度CSデジタル：CS000～CS999
スピーカー		4cm × 20cm　2個
音声出力		実用最大出力（JEITA）　10W＋10W
入力・出力端子	ビデオ入力※2（入力1、2）	S2映像：Y入力：1V（p-p）、75 Ω、同期負、C入力：0.286V（p-p）（バースト信号）、75 Ω 映像:1V (p-p)、75 Ω、同期負（ピンジャック）、音声:200mV (rms)、22k Ω以上（ピンジャック）
	D4映像入力（ビデオ1）	14ピン、1.27mmピッチ Y:1V（p-p）、P_B/C_B、P_R/C_R：0.7V（p-p）
	HDMI入力1、2	HDMI（v.1.3a with Lip Sync）
	光デジタル音声出力	トスリンク
	ヘッドホン端子	口径3.5mmステレオミニジャック、適合インピーダンス8 Ω～32 Ω
使用条件		使用周囲温度：5℃～35℃、使用周囲湿度：20%～80%（結露のないこと）
角度調整範囲（テレビスタンド）		前後左右：不可
付属品		「付属品」（8）をご覧ください。

※1：「機能動作時」は、電源「待機」時に番組情報取得などの動作をしているときの消費電力です。
※2：S2映像入力端子は、ビデオ入力2に装備。

仕様　つづき

● 意匠・仕様・ソフトウェアは製品改良のため予告なく変更することがあります。
● このテレビを使用できるのは日本国内だけで、外国では放送方式、電源電圧が異なるため使用できません。
(This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)
● 本商品は、ご愛用終了時に再資源化の一助としておもなプラスチック部品に材質名表示をしています。
● 本商品の改造は感電、火災などのおそれがありますので行わないでください。
● イラスト、画面表示などは、見やすくするために誇張や省略などで実際とは多少異なります。
● 年間消費電力量：年間消費電力量とは省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算出法により、一般家庭での平均視聴時間を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。
● 区分名：「エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネルギー法）」では、テレビに使用される表示素子、アスペクト比、画素数、受信可能な放送形態及び付加機能の有無等に基づいた区分を行っており、その区分名称を言います。
●「JIS C 61000 － 3 － 2 適合品」― JIS C 61000 － 3 － 2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性一第 3-2 部：限度値一高調波電流発生限度値（1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
● 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られており、微細な画素の集合で表示しています。99.99%以上の有効画素があり、ごく一部（0.01%以下）に光らない画素や、常時点灯する画素などがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。
● 静止画をしばらく表示したあとで映像内容が変わった時に、前の静止画が残像として見えることがありますが、自然に回復します。（故障ではありません。）
※ この製品には PPxP 開発チームによって開発されたソフトウェアが含まれています。
※ この製品には OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。
※ この製品に含まれているソフトウェアをリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル、分解またはその他の方法で解析、及び変更することは禁止されています。
※ 国外で本品を使用して有料放送サービスを享受することは有料放送契約上禁止されています。
(It is strictly prohibited, as outlined in the subscription contract, for any party to receive the services of scrambled broadcasting through use of this television set in any country other than Japan and its geographic territory as defined by international Law.)

詳細は下記 URL をご覧ください。
http://av.hitachi.co.jp/tv/support/reference.html

デジタル（地上デジタル、BS デジタル、110 度 CS デジタル）放送について

- デジタル放送は、最新のデジタル技術を活用することによって、高画質（ハイビジョン放送）・多チャンネルのテレビ放送や、データ放送などさまざまな魅力を満載しています。
- デジタル放送は音声信号を効率よく圧縮して放送することができるので、原音に近い高音質な音声が楽しめます（デジタルオーディオ：MPEG-2 AAC 方式）。さらに、5.1ch ステレオのサラウンド放送も行われています。

テレビ放送の特長

- デジタルハイビジョン放送を中心に、4 種類の放送フォーマットがあります。

	デジタルハイビジョン放送（HD）		プログレッシブ放送（SD）	通常放送（SD）
放送フォーマット	1080i 放送	720p 放送	480p 放送	480i 放送
走査線の数	有効 1080 本	有効 720 本	有効 480 本	有効 480 本
走査の方式	インターレース（飛越走査）	プログレッシブ（順次走査）	プログレッシブ（順次走査）	インターレース（飛越走査）
画面サイズ	16：9	16：9	16：9	16：9、4：3

※ 本機はすべての放送フォーマットをデジタル処理によって液晶パネルの画素数に合わせて表示します。
※ ハイビジョン放送には 1035i の放送信号もあります。1035i の放送信号を受信した場合は、画面上部が黒く表示されます。

- デジタルハイビジョン放送 1 番組と通常放送 3 番組程度を時間帯によって切り換えて放送する、マルチチャンネル放送もあります。

データ放送の特長

- テレビ番組やラジオ番組に関連するデータ放送（番組連動データ放送）と、番組とは無関係の独立したデータ放送（独立データ放送）の 2 種類があります。
- 番組連動データ放送では、番組を視聴しながらいろいろな情報をチェックするなどの使いかたができます。
- 独立データ放送では、天気予報などのいろいろな情報がご覧になれます。

地上デジタル放送について

- **地上デジタル（テレビ）放送とは？**

地上波の UHF 帯を使用したデジタル放送のことです。
現在行われているアナログ方式の地上放送は、今後この地上デジタル放送に変わっていきます。

- **地上デジタル放送の特長**

これまでの地上アナログ放送に比べて、以下のメリットがあります。

(1)デジタルハイビジョン放送を中心とした高画質放送・多チャンネル放送

(2)CD 並みの高音質放送（MPEG-2 AAC 方式）

(3)ゴーストのない鮮明な映像

- **BS デジタル放送や 110 度 CS デジタル放送との違いは？**

BS デジタル放送や 110 度 CS デジタル放送の場合 .... 衛星を使った放送であり、日本全国どこでも同じ番組を楽しめます。
地上デジタル放送の場合 .... 放送は各地域の放送局から送信されます。
地域に密着した放送・番組が多く提供される予定です。

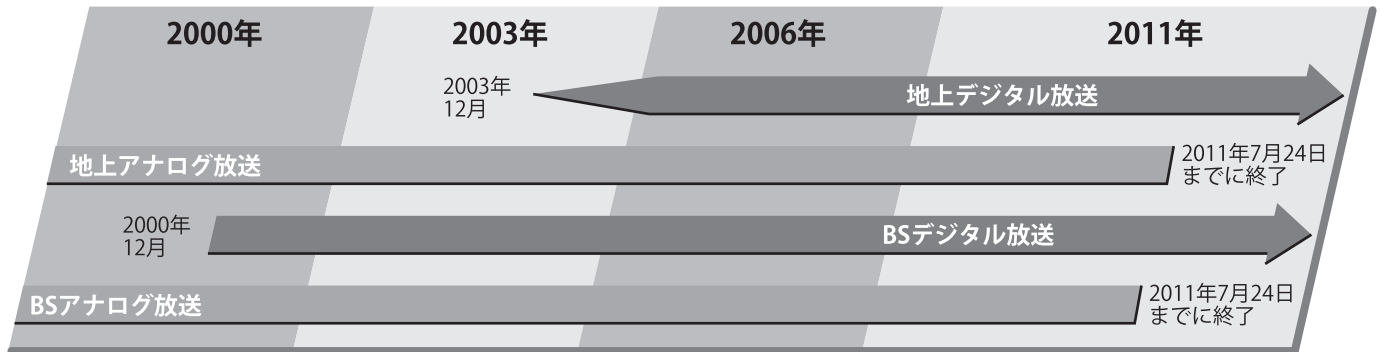
- **地上デジタル放送を受信するには**

本機のほかに、地上デジタル放送に対応した UHF アンテナが必要です。（ほかに、混合器や分波器が必要な場合もあります）

アナログ放送からデジタル放送への移行について

● デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で 2003 年 12 月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は 2006 年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログ放送及び BS アナログ放送は 2011 年 7 月 24 日までに終了することが、国の法令によって定められています。

資料

地上アナログ放送の自動設定一覧表

- 「はじめての設定」34 や「地上アナログ自動設定」52 をすると、この表にある放送局がリモコンのチャンネルボタン 1 ～ 12 に自動設定されます。
- この表にない放送局を受信するとき（受信できる場合）は、「手動設定」55 で設定してください。
- お住まいの地域がこの表に記載されていない場合は、近くの地域・都市名で「地上アナログ自動設定」をして、正しく受信できないときは「手動設定」で設定してください。
- 地上デジタル放送開始にともなう「アナログ周波数変更対策」によって、この表のチャンネルの内容が変わることがあります。その場合は「手動設定」で設定してください。
- この表に記載のお使いになる地域・都市名を「はじめての設定」や「地上アナログ自動設定」で選んで設定しても、アンテナの向きや高層物などの影響によって、正しく受信できない場合があります。その場合は 37 の説明をご覧ください。
- ダウンロード（93）によって、この表の内容（自動設定される内容）は、変わる場合があります。
- この表の内容は放送局側の運用変更によって、変わる場合があります。

2010 年 8 月現在

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
北海道	北海道・北部	旭川	2	NHK 教育	2	2
			4	テレビ北海道（TVh）	33	33
			5	北海道文化放送（UHB）	37	37
			6	北海道テレビ放送（HTB）	39	39
			7	札幌テレビ放送（STV）	7	7
			9	NHK 総合	9	9
			11	北海道放送（HBC）	11	11
		釧路	2	NHK 教育	2	2
			3	北海道テレビ放送（HTB）	61	61
			4	北海道文化放送（UHB）	59	59
			7	札幌テレビ放送（STV）	7	7
			9	NHK 総合	9	9
			11	北海道放送（HBC）	53	53
		北見	2	NHK 教育	2	2
			4	北海道テレビ放送（HTB）	61	61
			54	北海道文化放送（UHB）	59	59
			7	札幌テレビ放送（STV）	7	7
			9	NHK 総合	9	9
			11	北海道放送（HBC）	53	53
		網走	1	北海道放送（HBC）	1	1
			3	NHK 総合	3	3
			5	札幌テレビ放送（STV）	5	5
			7	北海道文化放送（UHB）	27	27
			9	北海道テレビ放送（HTB）	35	35
			12	NHK 教育	12	12
		稚内	2	北海道文化放送（UHB）	26	26
			4	NHK 総合	28	28
			6	札幌テレビ放送（STV）	22	22
			8	北海道テレビ放送（HTB）	24	24
			10	北海道放送（HBC）	10	10
			12	NHK 教育	30	30
		名寄	2	北海道文化放送（UHB）	26	26
			4	NHK 総合 4 4	4	4
			6	札幌テレビ放送（STV）	6	6
			8	北海道テレビ放送（HTB）	24	24
			10	北海道放送（HBC）	10	10
			12	NHK 教育	12	12
		根室	2	NHK 教育	2	2
			5	北海道文化放送（UHB）	62	62
			6	北海道テレビ放送（HTB）	60	60
			7	札幌テレビ放送（STV）	7	7
			9	NHK 総合	9	9
			11	北海道放送（HBC）	11	11
	北海道・南部	札幌	1	北海道放送（HBC）	1	1
			3	NHK 総合	3	3
			4	テレビ北海道（TVh）	17	17
			5	札幌テレビ放送（STV）	3	3
			7	北海道文化放送（UHB）	27	27
			10	北海道テレビ放送（HTB）	35	35
			12	NHK 教育	12	12
		函館	1	北海道文化放送（UHB）	27	27
			3	北海道テレビ放送（HTB）	35	35
			4	NHK 総合	4	4
			5	テレビ北海道（TVh）	21	21
			6	北海道放送（HBC）	6	6
			10	NHK 教育	10	10
			12	札幌テレビ放送（STV）	12	12

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
北海道	北海道・南部	帯広	1	北海道文化放送（UHB）	32	32
			3	北海道テレビ放送（HTB）	34	34
			4	NHK 総合	4	4
			6	北海道放送（HBC）	6	6
			10	札幌テレビ放送（STV）	10	10
			12	NHK 教育	12	12
		苫小牧	2	NHK 教育	49	49
			4	北海道テレビ放送（HTB）	61	61
			5	北海道文化放送（UHB）	59	59
			7	札幌テレビ放送（STV）	57	57
			9	NHK 総合	51	51
			11	北海道放送（HBC）	55	55
			12	テレビ北海道（TVh）	47	47
		小樽	2	NHK 教育	2	2
			4	北海道テレビ放送（HTB）	4	4
			5	北海道文化放送（UHB）	26	26
			7	札幌テレビ放送（STV）	7	7
			9	北海道放送（HBC）	9	9
			11	NHK 総合	11	11
			12	テレビ北海道（TVh）	24	24
		室蘭	2	NHK 教育	2	2
			4	テレビ北海道（TVh）	29	29
			5	北海道文化放送（UHB）	37	37
			6	北海道テレビ放送（HTB）	39	39
			7	札幌テレビ放送（STV）	7	7
			9	NHK 総合	9	9
			11	北海道放送（HBC）	11	11
東北	青森	青森	1	青森放送（RAB）	1	1
			3	NHK 総合	3	3
			4	青森朝日放送（ABA）	34	34
			5	NHK 教育	5	5
			12	青森テレビ（ATV）	8	8
		八戸	2	アイビーシー岩手放送（IBC テレビ）	2	2
			3	テレビ岩手	37	37
			4	岩手めんこいテレビ	29	29
			6	岩手朝日テレビ	27	27
			7	NHK 教育	7	7
			9	NHK 総合	9	9
			10	青森朝日放送（ABA）	31	31
			11	青森放送（RAB）	11	11
			12	青森テレビ（ATV）	33	33
		むつ	4	NHK 総合	4	4
			6	青森朝日放送（ABA）	56	56
			8	青森テレビ（ATV）	58	58
			10	青森放送（RAB）	10	10
			12	NHK 教育	12	12
	岩手	盛岡	1	テレビ岩手	35	35
			4	NHK 総合	4	4
			6	アイビーシー岩手放送（IBC テレビ）	6	6
			8	NHK 教育	8	8
			10	岩手めんこいテレビ	33	33
			12	岩手朝日テレビ	31	31
		釜石	2	NHK 総合	2	2
			4	岩手朝日テレビ	62	62
			6	岩手めんこいテレビ	60	60
			8	テレビ岩手	58	58
			10	アイビーシー岩手放送（IBC テレビ）	10	10
			12	NHK 教育	12	12

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
東北	岩手	二戸	2	アイビーシー岩手放送（IBC テレビ）	2	2
			4	岩手朝日テレビ	27	27
			5	NHK 総合	5	5
			8	岩手めんこいテレビ	29	29
			10	テレビ岩手	37	37
			12	NHK 教育	12	12
	宮城	仙台	1	東北放送（TBC テレビ）	1	1
			3	NHK 総合	3	3
			5	NHK 教育	5	5
			7	東日本放送	32	32
			9	宮城テレビ放送（ミヤギテレビ）	34	34
			12	テレビ北海道（TVh）	12	12
		石巻	1	東北放送（TBC テレビ）	59	59
			3	NHK 総合	51	51
			5	NHK 教育	49	49
			7	東日本放送	61	61
			9	宮城テレビ放送（ミヤギテレビ）	55	55
			12	仙台放送	57	57
		気仙沼	2	NHK 総合	2	2
			4	東北放送（TBC テレビ）	4	4
			6	仙台放送	6	6
			8	東日本放送	43	43
			10	NHK 教育	10	10
			12	宮城テレビ放送（ミヤギテレビ）	3	3
	秋田	秋田	2	NHK 教育 2 2	2	2
			5	5 秋田朝日放	31	31
			9	NHK 総合 9 9	9	9
			11	秋田放送（ABS テレビ）11	11	11
			12	秋田テレビ（AKT）	37	37
		大館	1	青森放送（RAB）	1	1
			4	NHK 総合	4	4
			5	秋田朝日放送	59	59
			6	秋田放送（ABS テレビ）	6	6
			8	NHK 教育	8	8
			12	秋田テレビ（AKT）	57	57
		大仙・横手	2	NHK 教育	43	43
			5	秋田朝日放送	41	41
			9	NHK 総合	45	45
			11	秋田放送（ABS テレビ）	47	47
			12	秋田テレビ（AKT）	51	51
	山形	山形	4	NHK 教育	4	4
			6	テレビユー山形（TUY）	36	36
			8	NHK 総合	8	8
			10	山形放送（YBC 山形放送）	10	10
			11	さくらんぼテレビジョン（さくらんぼテレビ）	30	30
			12	山形テレビ	38	38
		鶴岡・酒田	1	山形放送（YBC 山形放送）	1	1
			3	NHK 総合	3	3
			6	NHK 教育	6	6
			8	テレビユー山形（TUY）	22	22
			11	さくらんぼテレビジョン（さくらんぼテレビ）	24	24
			12	山形テレビ	39	39
		米沢	2	さくらんぼテレビジョン（さくらんぼテレビ）	60	60
			4	NHK 教育 5	50	50
			6	テレビユー山形（TUY）	56	56
			8	NHK 総合	52	52
			10	山形放送（YBC 山形放送）	54	54
			12	山形テレビ	58	58

地上アナログ放送の自動設定一覧表　つづき

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
東北	山形	新庄	2	NHK 教育	2	2
			4	さくらんぼテレビジョン（さくらんぼテレビ）	28	28
			6	テレビユー山形（TUY）	26	26
			9	NHK 総合	9	9
			11	山形放送（YBC 山形放送）	11	11
			12	山形テレビ	58	58
	福島	福島・郡山	2	NHK 教育	2	2
			4	テレビユー福島	31	31
			6	福島中央テレビ	33	33
			9	NHK 総合	9	9
			10	福島放送（KFB）	35	35
			11	福島テレビ（FTV）	11	11
		いわき	4	NHK 総合 4 4	4	4
			6	福島中央テレビ 58 58	58	58
			7	テレビユー福島 62 62	62	62
			8	福島テレビ（FTV）8 8	8	8
			10	NHK 教育 10 10	10	10
			12	福島放送（KFB）	60	60
		会津若松	1	NHK 総合 1 1	1	1
			3	NHK 教育 3 3	3	3
			4	テレビユー福島 47 47	47	47
			6	福島テレビ（FTV）6 6	6	6
			8	福島中央テレビ 37 37	37	37
			10	福島放送（KFB）	41	41
関東	茨城	水戸	1	NHK 総合	44	1
			3	NHK 教育	46	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	42	4
			6	東京放送（TBS）	40	6
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	38	8
			10	テレビ朝日	36	10
			12	テレビ東京	32	12
		日立	1	NHK 総合	52	1
			3	NHK 教育	50	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	54	4
			6	東京放送（TBS）	56	6
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	58	8
			10	テレビ朝日	60	10
			12	テレビ東京	62	12
	栃木	宇都宮	1	NHK 総合	51	1
			3	NHK 教育	49	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	53	4
			5	とちぎテレビ	31	31
			6	東京放送（TBS）	55	6
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	57	8
			10	テレビ朝日	41	10
			12	テレビ東京	44	12
		矢板	1	NHK 総合	40	1
			3	NHK 教育	30	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	36	4
			5	とちぎテレビ	33	31
			6	東京放送（TBS）	42	6
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	45	8
			10	テレビ朝日	59	10
			12	テレビ東京	61	12
	群馬	前橋	1	NHK 総合 52 1	52	1
			3	NHK 教育 50 3	50	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）54 4	54	4
			5	放送大学 40 40	40	40
			6	東京放送（TBS）56 6	56	6
			7	テレビ埼玉（テレ玉）38 38	38	38
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）58 8	58	8
			10	テレビ朝日 60 10	60	10
			11	群馬テレビ 48 48	48	48
			12	テレビ東京	62	12
		桐生	1	NHK 総合	51	1
			3	NHK 教育	57	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	53	4
			5	放送大学	40	40
			6	東京放送（TBS）	55	6
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	35	8
			10	テレビ朝日	59	10
			11	群馬テレビ	41	48
			12	テレビ東京	61	12

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
関東	埼玉	さいたま	1	NHK 総合	1	1
			3	NHK 教育	3	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	4	4
			5	放送大学	16	16
			6	東京放送（TBS）	6	6
			7	テレビ埼玉（テレ玉）	38	38
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	8	8
			10	テレビ朝日	10	10
			11	群馬テレビ	48	48
			12	テレビ東京	12	12
		熊谷・児玉	1	NHK 総合	51	1
			3	NHK 教育	35	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	53	4
			6	東京放送（TBS）	55	6
			7	テレビ埼玉（テレ玉）	30	38
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	57	8
			10	テレビ朝日	59	10
			11	群馬テレビ	48	48
			12	テレビ東京	61	12
		秩父	1	NHK 総合	14	1
			3	NHK 教育	49	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	16	4
			6	東京放送（TBS）	18	6
			7	テレビ埼玉（テレ玉）	47	38
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	29	8
			10	テレビ朝日	38	10
			12	テレビ東京	44	12
	千葉	千葉・船橋	1	NHK 総合	1	1
			2	TOKYO MX	14	14
			3	NHK 教育	3	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	4	4
			5	放送大学	16	16
			6	東京放送（TBS）	6	6
			7	テレビ神奈川（tvk）	42	42
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	8	8
			9	千葉テレビ放送（CTC）	46	46
			10	テレビ朝日	10	10
			12	テレビ東京	12	12
		銚子	1	NHK 総合	51	1
			3	NHK 教育	49	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	53	4
			6	東京放送（TBS）	55	6
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	57	8
			9	千葉テレビ放送（CTC）	39	46
			10	テレビ朝日	59	10
			12	テレビ東京	61	12
	東京	23 区	1	NHK 総合	1	1
			2	放送大学	16	16
			3	NHK 教育	3	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	4	4
			5	TOKYO MX	14	14
			6	東京放送（TBS）	6	6
			7	テレビ神奈川（tvk）	42	42
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	8	8
			9	千葉テレビ放送（CTC）	46	46
			10	テレビ朝日	10	10
			11	テレビ埼玉（テレ玉）	38	38
			12	テレビ東京	12	12
		八王子	1	NHK 総合	33	1
			3	NHK 教育	29	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	35	4
			5	TOKYO MX	40	14
			6	東京放送（TBS）	37	6
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	31	8
			10	テレビ朝日	45	10
			12	テレビ東京	62	12
		多摩	1	NHK 総合	49	1
			3	NHK 教育	47	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	51	4
			5	TOKYO MX	61	14
			6	東京放送（TBS）	53	6
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	55	8
			10	テレビ朝日	57	10
			12	テレビ東京	59	12

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
関東	神奈川	横浜・川崎	1	NHK 総合	1	1
			3	NHK 教育	3	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	4	4
			5	放送大学	16	16
			6	東京放送（TBS）	6	6
			7	テレビ神奈川（tvk）	42	42
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	8	8
			9	千葉テレビ放送（CTC）	46	46
			10	テレビ朝日	10	10
			12	テレビ東京	12	12
		横浜みなと	1	NHK 総合	52	1
			3	NHK 教育	50	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	54	4
			6	東京放送（TBS）	56	6
			7	テレビ神奈川（tvk）	48	42
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	58	8
			9	千葉テレビ放送（CTC）	46	46
			10	テレビ朝日	60	10
			12	テレビ東京	62	12
		平塚・茅ヶ崎	1	NHK 総合	33	1
			3	NHK 教育	29	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	35	4
			6	東京放送（TBS）	37	6
			7	テレビ神奈川（tvk）	31	42
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	39	8
			10	テレビ朝日	41	10
			12	テレビ東京	43	12
		小田原	1	NHK 総合	52	1
			3	NHK 教育	50	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	54	4
			6	東京放送（TBS）	56	6
			7	テレビ神奈川（tvk）	46	42
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	58	8
			10	テレビ朝日	60	10
			12	テレビ東京	62	12
		秦野	1	NHK 総合	47	1
			3	NHK 教育	49	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	51	4
			6	東京放送（TBS）	53	6
			7	テレビ神奈川（tvk）	61	42
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	55	8
			10	テレビ朝日	57	10
			12	テレビ東京	59	12
甲信越	新潟	新潟	3	UX 新潟テレビ 21（UXTV）	21	21
			4	テレビ新潟放送網（TeNY）	29	29
			5	新潟放送（BSN 新潟放送）	5	5
			8	NHK 総合	8	8
			10	新潟総合テレビ	35	35
			12	NHK 教育	12	12
		上越	1	NHK 教育	1	1
			3	NHK 総合	3	3
			6	UX 新潟テレビ 21（UXTV）	37	37
			8	テレビ新潟放送網（TeNY）	27	27
			10	新潟放送（BSN 新潟放送）	10	10
			12	新潟総合テレビ	33	33
	山梨	※	1	NHK 総合	1	1
			3	NHK 教育	3	3
			5	山梨放送（YBS）	5	5
			6	テレビ山梨（UTY）	37	37
	長野	長野（美ヶ原）	2	NHK 総合	2	2
			4	長野朝日放送（ABN）	20	20
			6	テレビ信州	30	30
			9	NHK 教育	9	9
			10	長野放送（NBS）	38	38
			11	信越放送	11	11
		長野（善光寺平）	2	NHK 総合	44	44
			4	長野朝日放送（ABN）	50	50
			6	テレビ信州	40	40
			9	NHK 教育	46	46
			10	長野放送（NBS）	42	42
			11	信越放送	48	48

※山梨は、甲府地域のチャンネルが設定されます。

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
甲信越	長野	松本	2	NHK 総合	44	44
			4	長野朝日放送（ABN）	50	50
			6	テレビ信州	48	48
			9	NHK 教育	46	46
			10	長野放送（NBS）	42	42
			11	信越放送	40	40
		飯田	3	NHK 教育	3	3
			4	NHK 総合	4	4
			6	信越放送	6	6
			8	テレビ信州	42	42
			10	長野放送（NBS）	40	40
			12	長野朝日放送（ABN）	44	44
		岡谷・諏訪	1	長野朝日放送（ABN）	61	61
			4	NHK 総合	4	4
			6	信越放送	6	6
			8	NHK 教育	8	8
			10	テレビ信州	59	59
			12	長野放送（NBS）	47	47
中部	富山	富山	1	北日本放送	1	1
			3	NHK 総合	3	3
			6	チューリップテレビ	32	32
			10	NHK 教育	10	10
			12	富山テレビ放送（BBT）	34	34
		高岡	1	北日本放送	50	1
			3	NHK 総合	48	3
			6	チューリップテレビ	42	32
			10	NHK 教育	46	10
			12	富山テレビ放送（BBT）	44	3
	石川	金沢	4	NHK 総合	4	4
			6	北陸放送（MRO）	6	6
			7	北陸朝日放送（HAB）	25	25
			8	NHK 教育	8	8
		七尾	1	テレビ金沢	57	57
			3	北陸朝日放送（HAB）	59	59
			5	NHK 教育	5	5
			7	石川テレビ放送（石川テレビ）	55	55
			9	NHK 総合	9	9
			11	北陸放送（MRO）	11	11
	福井	福井	3	NHK 教育	3	3
			9	NHK 総合	9	9
			11	福井放送（FBC テレビ）	11	11
			12	福井テレビジョン放送（福井テレビ）	39	39
		敦賀	6	NHK 総合	6	6
			8	福井放送（FBC テレビ）	8	8
			10	福井テレビジョン放送（福井テレビ）	38	38
			12	NHK 教育	12	12
	岐阜	岐阜	1	東海テレビ放送（東海テレビ）	1	1
			3	NHK 総合	3	3
			5	中部日本放送（CBC）	5	5
			6	三重テレビ放送（三重テレビ）	33	33
			7	テレビ愛知	25	25
			9	NHK 教育	9	9
			10	岐阜放送（岐阜テレビ）	37	37
			11	名古屋テレビ放送（メ～テレ）	11	11
			12	中京テレビ放送（中京テレビ）	35	35
		長良	1	東海テレビ放送（東海テレビ）	57	57
			3	NHK 総合	53	53
			5	中部日本放送（CBC）	55	55
			9	NHK 教育	49	49
			10	岐阜放送（岐阜テレビ）	61	61
			11	名古屋テレビ放送（メ～テレ）	59	59
			12	中京テレビ放送（中京テレビ）	47	47
		高山	2	NHK 教育 2 2	2	2
			3	中京テレビ放送（中京テレビ）	26	26
			4	NHK 総合	4	4
			6	中部日本放送（CBC）	6	6
			8	東海テレビ放送（東海テレビ）	8	8
			10	岐阜放送（岐阜テレビ）	38	38
			12	名古屋テレビ放送（メ～テレ）	12	12

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
中部	岐阜	各務原	1	東海テレビ放送（東海テレビ）	1	1
			3	NHK 総合	3	3
			5	中部日本放送（CBC）	5	5
			9	NHK 教育	9	9
			10	岐阜放送（岐阜テレビ）	37	37
			11	名古屋テレビ放送（メ～テレ）	11	11
			12	中京テレビ放送（中京テレビ）	35	35
		中津川	3	中京テレビ放送（中京テレビ）	26	26
			4	NHK 総合	4	4
			6	名古屋テレビ放送（メ～テレ）	6	6
			8	中部日本放送（CBC）	8	8
			10	東海テレビ放送（東海テレビ）	10	10
			11	岐阜放送（岐阜テレビ）	28	28
			12	NHK 教育	12	12
	静岡	静岡	2	NHK 教育	2	2
			4	静岡第一テレビ	31	31
			6	静岡朝日テレビ	33	33
			9	NHK 総合	9	9
			11	静岡放送（SBS テレビ）	11	11
			12	テレビ静岡	35	35
		浜松	2	静岡第一テレビ	30	30
			4	NHK 総合	4	4
			6	静岡放送（SBS テレビ）	6	6
			8	NHK 教育	8	8
			10	静岡朝日テレビ	28	28
			12	テレビ静岡	34	34
		三島・沼津	2	NHK 教育	51	51
			3	静岡第一テレビ	61	61
			5	静岡朝日テレビ	57	57
			7	テレビ静岡	59	59
			9	NHK 総合	53	53
			11	静岡放送（SBS テレビ）	55	55
		島田	1	NHK 総合 56 56	56	56
			3	NHK 教育 54 54	54	54
			5	静岡放送（SBS テレビ）62 62	62	62
			7	静岡第一テレビ 48 48	48	48
			10	静岡朝日テレビ 50 50	50	50
			12	テレビ静岡 58 58	58	58
		富士	2	NHK 教育	54	54
			3	静岡第一テレビ	27	27
			5	静岡朝日テレビ	29	29
			7	テレビ静岡	39	39
			9	NHK 総合	52	52
			11	静岡放送（SBS テレビ）	41	41
		藤枝	1	NHK 総合	42	42
			3	NHK 教育	44	44
			5	静岡放送（SBS テレビ）	40	40
			7	静岡第一テレビ	24	24
			10	静岡朝日テレビ	26	26
			12	テレビ静岡	38	38
	愛知	名古屋	1	東海テレビ放送（東海テレビ）	1	1
			3	NHK 総合	3	3
			7	中部日本放送（CBC）	5	5
			5	三重テレビ放送（三重テレビ）	33	33
			6	テレビ愛知	25	25
			7	NHK 教育	9	9
			9	岐阜放送（岐阜テレビ）	37	37
			11	名古屋テレビ放送（メ～テレ）	11	11
			12	中京テレビ放送（中京テレビ）	35	35
		豊橋	1	東海テレビ放送（東海テレビ）	56	1
			3	NHK 総合	52	3
			5	中部日本放送（CBC）	62	5
			6	三重テレビ放送（三重テレビ）	33	33
			7	テレビ愛知	52	25
			9	NHK 教育	50	9
			10	岐阜放送（岐阜テレビ）	37	37
			11	名古屋テレビ放送（メ～テレ）	60	11
			12	中京テレビ放送（中京テレビ）	58	35

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
中部	愛知	豊田	1	東海テレビ放送（東海テレビ）	57	1
			3	NHK 総合	53	3
			5	中部日本放送（CBC）	55	5
			6	三重テレビ放送（三重テレビ）	33	33
			7	テレビ愛知	49	25
			9	NHK 教育	51	9
			10	岐阜放送（岐阜テレビ）	37	37
			11	名古屋テレビ放送（メ～テレ）	61	11
			12	中京テレビ放送（中京テレビ）	59	35
	三重	津	1	東海テレビ放送（東海テレビ）	1	1
			3	NHK 総合	3	3
			5	中部日本放送（CBC）	5	5
			6	三重テレビ放送（三重テレビ）	33	33
			7	テレビ愛知	25	25
			9	NHK 教育	9	9
			10	岐阜放送（岐阜テレビ）	37	37
			11	名古屋テレビ放送（メ～テレ）	11	11
			12	中京テレビ放送（中京テレビ）	35	35
		伊勢	1	東海テレビ放送（東海テレビ）	57	1
			3	NHK 総合	53	3
			5	中部日本放送（CBC）	55	5
			6	三重テレビ放送（三重テレビ）	59	33
			7	テレビ愛知	25	25
			9	NHK 教育	49	9
			10	岐阜放送（岐阜テレビ）	37	37
			11	名古屋テレビ放送（メ～テレ）	61	11
			12	中京テレビ放送（中京テレビ）	47	35
		名張	1	東海テレビ放送（東海テレビ）	62	1
			3	NHK 総合	52	3
			5	中部日本放送（CBC）	60	5
			6	三重テレビ放送（三重テレビ）	58	33
			7	テレビ愛知	25	25
			9	NHK 教育	50	9
			10	岐阜放送（岐阜テレビ）	37	37
			11	名古屋テレビ放送（メ～テレ）	56	11
			12	中京テレビ放送（中京テレビ）	54	35
近畿	滋賀	大津	2	NHK 総合	28	2
			4	毎日放送	36	4
			6	朝日放送（ABC）	38	6
			7	京都放送（KBS 京都）	34	34
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	40	8
			9	びわ湖放送（BBC びわ湖放送）	30	30
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	42	10
			12	NHK 教育	46	12
		彦根	2	NHK 総合	52	2
			4	毎日放送	54	4
			6	朝日放送（ABC）	58	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	60	8
			9	びわ湖放送（BBC びわ湖放送）	56	56
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	62	10
			12	NHK 教育	50	12
	京都	京都	2	NHK 総合	32	2
			3	テレビ大阪	19	19
			4	毎日放送	4	4
			6	朝日放送（ABC）	6	6
			7	京都放送（KBS 京都）	34	34
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	8	8
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	10	10
			12	NHK 教育	12	12
		山科	2	NHK 総合	52	2
			4	毎日放送	54	4
			6	朝日放送（ABC）	56	6
			7	京都放送（KBS 京都）	62	62
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	58	8
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	60	10
			12	NHK 教育	50	12
		福知山	2	NHK 総合	50	2
			4	毎日放送	54	4
			6	朝日放送（ABC）	58	6
			7	京都放送（KBS 京都）	56	56
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	60	8
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	62	10
			12	NHK 教育	52	12

資料

地上アナログ放送の自動設定一覧表 つづき

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
近畿	京都	舞鶴	2	NHK 総合	51	2
			4	毎日放送	53	4
			6	朝日放送（ABC）	55	6
			7	京都放送（KBS 京都）	57	57
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	59	8
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	61	10
			12	NHK 教育	49	12
	大阪	※	2	NHK 総合	2	2
			3	テレビ大阪	19	19
			4	毎日放送	4	4
			5	サンテレビジョン（サンテレビ）	36	36
			6	朝日放送（ABC）	6	6
			7	京都放送（KBS 京都）	34	34
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	8	8
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	10	10
			12	NHK 教育	12	12
	兵庫	神戸	2	NHK 総合	28	28
			4	毎日放送	31	4
			5	テレビ大阪	19	19
			6	朝日放送（ABC）	41	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	43	8
			9	サンテレビジョン（サンテレビ）	36	36
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	47	10
			12	NHK 教育	45	12
		姫路	2	NHK 総合	50	50
			4	毎日放送	54	4
			6	朝日放送（ABC）	58	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	60	8
			9	サンテレビジョン（サンテレビ）	56	56
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	62	10
			12	NHK 教育	52	12
		明石	2	NHK 総合	52	51
			4	毎日放送	53	4
			5	テレビ大阪	19	19
			6	朝日放送（ABC）	57	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	59	8
			9	サンテレビジョン（サンテレビ）	55	55
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	61	10
			12	NHK 教育	49	12
		川西	2	NHK 総合	29	34
			4	毎日放送	35	8
			6	朝日放送（ABC）	37	30
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	39	10
			9	サンテレビジョン（サンテレビ）	33	12
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	41	2
			12	NHK 教育	54	4
		灘	2	NHK 総合	52	52
			4	毎日放送	54	4
			5	テレビ大阪	19	19
			6	毎日放送（ABC）	56	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	58	8
			9	サンテレビジョン（サンテレビ）	62	62
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	60	10
			12	NHK 教育	50	12
		長田	2	NHK 総合	44	44
			4	毎日放送	38	4
			6	朝日放送（ABC）	40	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	42	8
			9	サンテレビジョン（サンテレビ）	34	34
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	48	10
			12	NHK 教育	46	12
		北淡・垂水	2	NHK 総合	51	51
			4	毎日放送	53	4
			6	朝日放送（ABC）	57	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	59	8
			9	サンテレビジョン（サンテレビ）	55	55
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	61	10
			12	NHK 教育	49	12

※大阪は、大阪地域のチャンネルが設定されます。

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
近畿	兵庫	三木	2	NHK 総合	44	44
			4	毎日放送	34	4
			6	朝日放送（ABC）	38	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	40	8
			9	サンテレビジョン（サンテレビ）	36	36
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	42	10
			12	NHK 教育	46	12
	奈良	奈良	2	NHK 総合	2	2
			4	毎日放送	4	4
			5	京都放送（KBS 京都）	34	34
			6	朝日放送（ABC）	6	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	8	8
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	10	10
			11	奈良テレビ放送	55	55
			12	NHK 教育	12	12
		生駒	2	NHK 総合	2	2
			4	毎日放送	4	4
			6	朝日放送（ABC）	6	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	8	8
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	10	10
			11	奈良テレビ放送	26	55
			12	NHK 教育	22	12
		五條	2	NHK 総合	43	2
			4	毎日放送	33	4
			6	朝日放送（ABC）	35	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	37	8
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	39	10
			11	奈良テレビ放送	41	55
			12	NHK 教育	45	12
	和歌山	和歌山	2	NHK 総合	32	2
			4	毎日放送	42	4
			5	テレビ和歌山	30	30
			6	毎日放送（ABC）	44	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	46	8
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	48	10
			12	NHK 教育	49	12
		海南・田辺	2	NHK 総合	50	2
			4	毎日放送	54	4
			5	テレビ和歌山	56	56
			6	朝日放送（ABC）	58	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	60	8
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	62	10
			12	NHK 教育	52	12
		新宮	2	NHK 総合	44	2
			4	毎日放送	36	4
			5	テレビ和歌山	34	34
			6	朝日放送（ABC）	38	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	40	8
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	42	10
			12	NHK 教育	46	12
中国	鳥取	鳥取	1	日本海テレビジョン放送（日本海テレビ）	1	1
			3	NHK 総合	3	3
			4	NHK 教育	4	4
			10	山陰放送（BSS テレビ）	22	22
			12	山陰中央テレビジョン放送（TSK）	24	24
		米子	3	NHK 総合	42	42
			5	NHK 教育	5	5
			8	日本海テレビジョン放送（日本海テレビ）	8	8
			10	山陰放送（BSS テレビ）	10	10
			12	山陰中央テレビジョン放送（TSK）	34	34
		倉吉	1	日本海テレビジョン放送（日本海テレビ）	1	1
			3	NHK 総合	3	3
			4	NHK 教育	4	4
			8	山陰中央テレビジョン放送（TSK）	58	58
			10	山陰放送（BSS テレビ）	56	56
	島根	松江	1	日本海テレビジョン放送（日本海テレビ）	30	30
			6	NHK 総合	6	6
			8	山陰中央テレビジョン放送（TSK）	34	34
			10	山陰放送（BSS テレビ）	10	10
			12	NHK 教育	12	12

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
中国	島根	浜田	2	NHK 総合	2	2
			3	日本海テレビジョン放送（日本海テレビ）	54	54
			5	山陰放送（BSS テレビ）	5	5
			8	山陰中央テレビジョン放送（TSK）	58	58
			9	NHK 教育	9	9
	岡山	岡山	3	NHK 教育	3	3
			5	NHK 総合	5	5
			6	テレビせとうち	23	23
			7	瀬戸内海放送	25	25
			9	西日本放送	9	9
			11	山陽放送（RSK）	11	11
			12	岡山放送（OHK）	35	35
		津山	2	NHK 総合	2	2
			4	テレビせとうち	56	56
			6	瀬戸内海放送	62	62
			7	山陽放送（RSK）	7	7
			9	西日本放送	58	58
			11	岡山放送（OHK）	60	60
			12	NHK 教育	12	12
		笠岡	2	NHK 総合	2	2
			4	NHK 教育	4	4
			5	テレビせとうち	22	22
			6	山陽放送（RSK）	6	6
			9	西日本放送	34	34
			10	瀬戸内海放送	55	55
			11	岡山放送（OHK）	60	60
	広島	広島	1	テレビ新広島（TSS）	31	31
			3	NHK 総合	3	3
			4	中国放送（RCC）	4	4
			7	NHK 教育	7	7
			9	広島ホームテレビ	35	35
			12	広島テレビ放送（広島テレビ）	12	12
		福山	1	テレビ新広島（TSS）	54	54
			3	NHK 教育	3	3
			5	NHK 総合	5	5
			7	中国放送（RCC）	7	7
			9	広島ホームテレビ	57	57
			11	広島テレビ放送（広島テレビ）	11	11
		呉	1	テレビ新広島（TSS）	54	54
			3	NHK 教育	3	3
			5	NHK 総合	5	5
			7	中国放送（RCC）	7	7
			9	広島ホームテレビ	57	57
			11	広島テレビ放送（広島テレビ）	11	11
		尾道	1	NHK 総合	1	1
			3	広島ホームテレビ	24	24
			5	テレビ新広島（TSS）	26	26
			7	NHK 教育	7	7
			10	中国放送（RCC）	10	10
			12	広島テレビ放送（広島テレビ）	12	12
	山口	山口	1	NHK 教育	42	1
			6	山口朝日放送（YAB 山口朝日放送）	52	52
			7	テレビ山口（TYS）	49	49
			9	NHK 総合	44	44
			11	山口放送（KRY 山口放送）	46	46
		下関	1	NHK 教育	41	41
			3	TVQ 九州放送	23	23
			4	山口放送（KRY 山口放送）	4	4
			6	山口朝日放送（YAB 山口朝日放送）	21	21
			7	テレビ山口（TYS）	33	33
			9	NHK 総合	39	39
			10	テレビ西日本（TNC）	10	10
			12	福岡放送（FBS）	35	35
			8	山陰中央テレビジョン放送（TSK）	58	58
			10	山陰放送（BSS テレビ）	56	56
		宇部	1	NHK 教育	55	55
			6	山口朝日放送（YAB 山口朝日放送）	24	24
			7	テレビ山口（TYS）	44	44
			9	NHK 総合	58	58
			10	テレビ西日本（TNC）	10	10
			11	山口放送（KRY 山口放送）	61	61

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
中国	山口	岩国	1	NHK 教育	1	1
			6	山口朝日放送（YAB 山口朝日放送）	28	28
			7	テレビ山口（TYS）	62	62
			9	NHK 総合	9	9
			11	山口放送（KRY 山口放送）	11	11
		防府	1	NHK 教育	1	1
			6	山口朝日放送（YAB 山口朝日放送）	28	28
			7	テレビ山口（TYS）	38	38
			9	NHK 総合	9	9
			11	山口放送（KRY 山口放送）	11	11
四国	徳島	※	1	NHK 総合 3 3	1	1
			3	毎日放送 4 4	3	3
			4	朝日放送（ABC）6 6	4	4
			6	関西テレビ放送（関西テレビ）8 8	6	6
			8	読売テレビ放送（よみうりテレビ）10 10	8	8
			10	NHK 教育 38 12	10	10
			12	NHK 総合	38	12
	香川	高松	3	NHK 教育	39	39
			5	NHK 総合	37	37
			6	テレビせとうち	19	19
			7	瀬戸内海放送	33	33
			9	西日本放送	41	41
			11	山陽放送（RSK）	29	29
			12	岡山放送（OHK）	31	31
		丸亀	3	NHK 教育	40	40
			5	NHK 総合	44	44
			6	テレビせとうち	46	46
			7	瀬戸内海放送	42	42
			9	西日本放送	50	50
			11	山陽放送（RSK）	48	48
			12	岡山放送（OHK）	52	52
	愛媛	松山	2	NHK 教育	2	2
			6	NHK 総合	6	6
			8	あいテレビ	29	29
			9	愛媛朝日テレビ（EAT）	25	25
			10	南海放送（RNB）	10	10
			11	広島ホームテレビ	35	35
			12	テレビ愛媛	37	37
		今治	2	NHK 教育	30	30
			6	NHK 総合	32	32
			8	あいテレビ	27	27
			9	愛媛朝日テレビ（EAT）	17	17
			10	南海放送（RNB）	34	34
			12	テレビ愛媛	36	36
		新居浜	2	NHK 総合	2	2
			4	NHK 教育	4	4
			6	南海放送（RNB）	6	6
			7	愛媛朝日テレビ（EAT）	14	14
			8	あいテレビ	27	27
			12	テレビ愛媛	36	36
		宇和島	1	NHK 教育	1	1
			6	NHK 総合	6	6
			8	あいテレビ	25	25
			9	愛媛朝日テレビ（EAT）	16	16
			10	南海放送（RNB）	10	10
			12	テレビ愛媛	27	27
	高知	高知	4	NHK 総合	4	4
			6	NHK 教育	6	6
			8	高知放送（RKC）	8	8
			10	テレビ高知（KUTV）	38	38
			12	高知さんさんテレビ（さんさんテレビ）	40	40
		四万十	1	NHK 総合	1	1
			3	高知放送（RKC）	3	3
			6	テレビ高知（KUTV）	32	32
			8	高知さんさんテレビ（さんさんテレビ）	14	14
			11	NHK 教育	11	11
九州・沖縄	福岡	福岡	1	九州朝日放送（KBC）	1	1
			3	NHK 総合	3	3
			4	アール・ケー・ビー毎日放送（RKB）	4	4
			5	TVQ 九州放送	19	19
			6	NHK 教育	6	6
			9	テレビ西日本（TNC）	9	9
			12	福岡放送（FBS）	37	37

※徳島は、徳島地域のチャンネルが設定されます。

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
九州・沖縄	福岡	北九州	2	九州朝日放送（KBC）	2	2
			3	福岡放送（FBS）	3	3
			5	VQ 九州放送	5	5
			6	NHK 総合	6	6
			8	アール・ケー・ビー毎日放送（RKB）	8	8
			10	テレビ西日本（TNC）	10	10
			12	NHK 教育	12	12
		久留米	1	九州朝日放送（KBC）	57	57
			3	NHK 総合	46	46
			4	アール・ケー・ビー毎日放送（RKB）	48	48
			5	VQ 九州放送	14	14
			6	NHK 教育	54	54
			9	テレビ西日本（TNC）	60	60
			12	福岡放送（FBS）	52	52
		大牟田	1	九州朝日放送（KBC）58 58	58	58
			3	NHK 総合 53 53	53	53
			4	アール・ケー・ビー毎日放送（RKB）61 61	61	61
			5	TVQ 九州放送	19	19
			6	NHK 教育	50	50
			9	テレビ西日本（TNC）	55	55
			12	福岡放送（FBS）	43	43
		行橋	2	九州朝日放送（KBC）	57	57
			3	福岡放送（FBS）	43	43
			5	TVQ 九州放送	19	19
			6	NHK 総合	49	49
			8	アール・ケー・ビー毎日放送（RKB）	60	60
			10	テレビ西日本（TNC）	54	54
			12	NHK 教育	46	46
	佐賀	佐賀	2	NHK 教育	40	40
			3	福岡放送（FBS）	52	52
			4	サガテレビ	36	36
			5	TVQ 九州放送	14	14
			6	九州朝日放送（KBC）	57	57
			8	アール・ケー・ビー毎日放送（RKB）	48	48
			9	NHK 総合	38	38
			10	テレビ西日本（TNC）	60	60
			11	熊本放送（RKK）	11	11
		伊万里	1	NHK 教育	44	44
			3	福岡放送（FBS）	52	52
			4	サガテレビ	41	41
			5	TVQ 九州放送	14	14
			6	九州朝日放送（KBC）	57	57
			8	アール・ケー・ビー毎日放送（RKB）	48	48
			9	NHK 総合	51	51
	長崎	長崎	1	NHK 教育	1	1
			3	NHK 総合	3	3
			5	長崎放送（NBC）	5	5
			7	テレビ長崎（KTN）	37	37
			9	長崎文化放送（NCC）	27	27
			11	長崎国際テレビ	25	25
		佐世保	2	NHK 教育	2	2
			6	長崎文化放送（NCC）	31	31
			7	テレビ長崎（KTN）	35	35
			8	NHK 総合	8	8
			10	長崎放送（NBC）	10	10
			11	長崎国際テレビ	17	17
		諫早	1	NHK 教育	51	51
			3	NHK 総合	59	59
			5	長崎放送（NBC）	62	62
			7	テレビ長崎（KTN）	39	39
			9	長崎文化放送（NCC）	56	56
			11	長崎国際テレビ	32	32
	熊本	熊本	2	NHK 教育	2	2
			3	熊本朝日放送（KAB）	16	16
			4	熊本県民テレビ（KKT）	22	22
			6	テレビ熊本（TKU）	34	34
			9	NHK 総合	9	9
			11	熊本放送（RKK）	11	11

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
九州・沖縄	熊本	水俣	1	NHK 教育	1	1
			3	熊本朝日放送（KAB）	32	32
			4	NHK 総合	4	4
			6	熊本放送（RKK）	6	6
			8	熊本県民テレビ（KKT）	36	36
			10	テレビ熊本（TKU）	38	38
	大分	大分	3	NHK 総合	3	3
			5	大分放送（OBS）	5	5
			6	大分朝日放送（OAB 大分朝日放送）	24	24
			7	テレビ大分（TOS）	36	36
			12	NHK 教育	12	12
		中津	3	NHK 総合	3	3
			5	大分放送（OBS）	5	5
			6	大分朝日放送（OAB大分朝日放送）	24	24
			7	テレビ大分（TOS）	36	36
			12	NHK 教育	12	12
		佐伯	1	NHK 教育	1	1
			5	テレビ大分（TOS）	49	49
			6	大分朝日放送（OAB大分朝日放送）	31	31
			7	NHK 総合	7	7
			9	大分放送（OBS）	9	9
	宮崎	宮崎	3	テレビ宮崎（UMK）	35	35
			8	NHK 総合	8	8
			10	宮崎放送（MRT）	10	10
			12	NHK 教育	12	12
		延岡	2	NHK 教育	2	2
			4	NHK 総合	4	4
			6	宮崎放送（MRT）	6	6
			8	テレビ宮崎（UMK）	39	39
	鹿児島	鹿児島	1	南日本放送（MBC）	1	1
			3	NHK 総合	3	3
			5	NHK 教育	5	5
			7	鹿児島放送（KKB 鹿児島放送）	32	32
			9	鹿児島テレビ放送（KTS）	38	38
			11	鹿児島読売テレビ（KYT）	30	30
		鹿屋	2	NHK 教育	2	2
			4	NHK 総合	4	4
			6	南日本放送（MBC）	6	6
			8	鹿児島放送（KKB 鹿児島放送）	31	31
			10	鹿児島テレビ放送（KTS）	33	33
			12	鹿児島読売テレビ（KYT）	25	25
		阿久根	4	鹿児島放送（KKB 鹿児島放送）	23	23
			6	鹿児島テレビ放送（KTS）	35	35
			8	NHK 総合	8	8
			10	南日本放送（MBC）	10	10
			11	鹿児島読売テレビ（KYT）	17	17
			12	NHK 教育	12	12
	沖縄	※	2	NHK 総合 2 2	2	37
			6	琉球朝日放送（QAB）28 28	28	27
			8	沖縄テレビ放送（OTV）8 8	8	25
			10	琉球放送（RBC）10 10	10	2
			12	NHK 教育 12 12	12	31

※沖縄は、那覇地域のチャンネルが設定されます。

資料

地上デジタル放送の放送（予定）一覧表

● この表は、地上デジタル放送の放送予定を表したものです。
同時に、以下についても記載しています。

(1)域内（お住まいの地域）の放送がリモコンのチャンネルボタンに自動設定される目安

・「はじめての設定」34 や「地上デジタル自動設定」53 をすると、地上デジタル放送の受信可能なチャンネルを探してリモコンのチャンネルボタン 1 ～ 12 に放送の運用規定に基づいて自動設定されます。
この表では、その際に域内のどの放送局がどのリモコンボタンに自動設定されるのか、その目安を記載しています。

(2)番組表に表示される域内の放送局の順番（目安）

● この表をご覧の際には、次ページの「お知らせ」もよくお読みください。

● 放送局の開局の状況などによっては、この表のとおり（上記のとおり）にならない場合があります。

2010 年 8 月現在

地方名	都道府県名また地域・都市名	リモコンボタン	放送局名	番組表表示の並び順
北海道	北海道全域（区域放送開始前）	1	HBC 北海道放送	3
		2	NHK 教育・札幌	2
		3	NHK 総合・札幌	1
		5	STV 札幌テレビ	4
		6	HTB 北海道テレビ	5
		7	TVH	7
		8	UHB	6
	旭川（区域放送開始後）	1	HBC 旭川	3
		2	NHK 教育・旭川	2
		3	NHK 総合・旭川	1
		5	STV 旭川	4
		6	NHK 総合	5
		7	北海道放送（HBC）	7
		8	UHB 旭川	6
	釧路（区域放送開始後）	1	HBC 釧路	3
		2	NHK 教育・釧路	2
		3	NHK 総合・釧路	1
		5	STV 釧路	4
		6	HTB 釧路	5
		7	TVH 釧路	7
		8	UHB 釧路	6
	北見（区域放送開始後）	1	HBC 北見	3
		2	NHK 教育・北見	2
		3	NHK 総合・北見	1
		5	STV 北見	4
		6	HTB 北見	5
		7	TVH 北見	7
		8	UHB 北	6
	帯広（区域放送開始後）	1	HBC 帯広	3
		2	NHK 教育・帯広	2
		3	NHK 総合・帯広	1
		5	STV 帯広	4
		6	HTB 帯広	5
		7	TVH 帯広	7
		8	UHB 帯広	6
	札幌（区域放送開始後）	1	HBC 札幌	3
		2	NHK 教育・札幌	2
		3	NHK 総合・札幌	1
		5	STV 札幌	4
		6	HTB 札幌	5
		7	TVH 札幌	7
		8	UHB 札幌	6
	函館（区域放送開始後）	1	HBC 函館	3
		3	NHK 教育・函館	2
		4	NHK 総合・函館	1
		5	STV 函館	4
		6	HTB 函館	5
		7	TVH 函館	7
		8	UHB 函館	6
	室蘭（区域放送開始後）	1	HBC 室蘭	3
		2	NHK 教育・室蘭	2
		3	NHK 総合・室蘭	1
		5	STV 室蘭	4
		6	HTB 室蘭	5
		7	TVH 室蘭	7
		8	UHB 室蘭	6

地方名	都道府県名	リモコンボタン	放送局名	番組表表示の並び順
東北	青森	1	RAB 青森放送	3
		2	NHK 教育・青森	2
		3	NHK 総合・青森	1
		5	青森朝日放送	5
		6	ATV 青森テレビ	4
	岩手	1	NHK 総合・盛岡 ※ 3	1
		2	NHK 教育・盛岡 ※ 3	2
		4	テレビ岩手	4
		5	岩手朝日テレビ	6
		6	IBC テレビ	3
		8	めんこいテレビ	5
	宮城	1	TBC テレビ	3
		2	NHK 教育・仙台	2
		3	NHK 総合・仙台	1
		4	ミヤギテレビ	5
		5	KHB 東日本放送	6
		8	仙台放送	4
	秋田	1	秋田	1
		2	1 NHK 総	2
		4	ABS 秋田放送	3
		5	AAB 秋田朝日放送	5
		8	AKT 秋田テレビ	4
	山形	1	NHK 総合・山形	1
		2	NHK 教育・山形	2
		4	YBC 山形放送	3
		5	YTS 山形テレビ	4
		6	テレビユー山形	5
		8	さくらんぼテレビ	6
	福島	1	NHK 総合・福島 ※ 3	1
		2	NHK 教育・福島 ※ 3	2
		4	福島中央テレビ	4
		5	KFB 福島放送	5
		6	テレビユー福島	6
		8	福島テレビ	3
関東	茨城	1	NHK 総合・水戸 ※ 3	1
		2	NHK 教育・東京	2
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	TBS	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		12	放送大学 8	8
	栃木	1	NHK 総合・東京	1
		2	NHK 教育・東京	2
		3	とちぎテレビ	8
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	TBS	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		12	放送大学	9
	群馬	1	NHK 総合・東京	1
		2	NHK 教育・東京	2
		3	群馬テレビ	8
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	TBS	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		12	放送大	9

地方名	都道府県名	リモコンボタン	放送局名	番組表表示の並び順
関東	埼玉	1	NHK 総合・東京	1
		2	NHK 教育・東京	2
		3	テレ玉	8
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	TBS	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		12	放送大学	9
	千葉	1	NHK 総合・東京	1
		2	NHK 教育・東京	2
		3	チバテレビ	8
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	TBS	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		12	放送大学	9
	東京	1	NHK 総合・東京	1
		2	NHK 教育・東京	2
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	TBS	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		9	TOKYO MX	8
		12	放送大学	9
	神奈川	1	NHK 総合・東京	1
		2	NHK 教育・東京	2
		3	tvk	8
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	TBS	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		12	放送大学	9
甲信越	新潟	1	NHK 総合・新潟	1
		2	NHK 教育・新潟	2
		4	TeNY テレビ新潟	5
		5	新潟テレビ 21	6
		6	BSN	3
		8	NST	4
	山梨	1	NHK 総合・甲府 ※ 3	1
		2	NHK 教育・甲府 ※ 3	2
		4	YBS 山梨放送 3	3
		6	UTY 4	4
	長野	1	NHK 総合・長野	1
		2	NHK 教育・長野	2
		4	テレビ信州	3
		5	abn 長野朝日放送	4
		6	SBC 信越放送	5
		8	NBS 長野放送	6

地上デジタル放送の放送（予定）一覧表 つづき

地方名	都道府県名	リモコンボタン	放送局名	番組表表示の並び順
中部	富山	1	KNB 北日本放送	3
		2	NHK 教育・富山 ※3	2
		3	NHK 総合・富山 ※3	1
		6	チューリップテレビ	5
		8	BBT 富山テレビ	4
	石川	1	NHK 総合・福井 ※3	1
		2	NHK 教育・福井 ※3	2
		7	FBC テレビ	3
		8	福井テレビ	4
	福井	1	NHK 総合	4
		2	福島中央テレビ	58
		7	テレビユー福島	62
		8	福島テレビ（FTV）	8
		10	NHK 教育	10
		12	福島放送（KFB）	60
	静岡	1	NHK 総合・静岡	1
		2	NHK 教育・静岡	2
		4	静岡第一テレビ	5
		5	静岡朝日テレビ	6
		6	SBS	3
		8	テレビ静岡	4
	愛知	1	東海テレビ	3
		2	NHK 教育・名古屋	2
		3	NHK 総合・名古屋	1
		4	中京テレビ	6
		5	CBC	4
		6	メ～テレ	5
		10	テレビ愛知	7
	三重	1	東海テレビ	3
		2	NHK 教育・名古屋	2
		3	NHK 総合・津 ※3	1
		4	中京テレビ	6
		5	CBC	4
		6	メ～テレ	5
		8	三重テレビ	7
	岐阜	1	東海テレビ	3
		2	NHK 教育・名古屋	2
		3	NHK 総合・岐阜 ※3	1
		4	中京テレビ	6
		5	CBC	4
		6	メ～テレ	5
		8	岐阜テレビ	7
近畿	滋賀	1	NHK 総合・大津 ※3	1
		2	NHK 教育・大阪	2
		3	BBC びわ湖放送	7
		4	MBS 毎日放送	3
		6	ABC テレビ	4
		8	関西テレビ	5
		10	読売テレビ	6
	京都	1	NHK 総合・京都 ※3	1
		2	NHK 教育・大阪	2
		4	MBS 毎日放送	3
		5	KBS 京都	7
		6	ABC テレビ	4
		8	関西テレビ	5
		10	読売テレビ	6
	大阪	1	NHK 総合・大阪	1
		2	NHK 教育・大阪	2
		4	MBS 毎日放送	3
		6	ABC テレビ	4
		7	テレビ大阪	7
		8	関西テレビ	5
		10	読売テレビ	6
近畿	兵庫	1	NHK 総合・神戸 ※3	1
		2	NHK 教育・大阪	2
		3	サンテレビ	7
		4	MBS 毎日放送	3
		6	ABC テレビ	4
		8	関西テレビ	5
		10	読売テレビ	6
	奈良	1	NHK 総合・奈良 ※3	1
		2	NHK 教育・大阪	2
		4	MBS 毎日放送	3
		6	ABC テレビ	4
		8	関西テレビ	5
		9	奈良テレビ	7
		10	読売テレビ	6
	和歌山	1	NHK 総合・和歌山 ※3	1
		2	NHK 教育・大阪	2
		4	MBS 毎日放送	3
		5	テレビ和歌山	7
		6	ABC テレビ	4
		8	関西テレビ	5
		10	読売テレビ	6
中国	鳥取	1	日本海テレビ	5
		2	NHK 教育・鳥取 ※3	2
		3	NHK 総合・鳥取 ※3	1
		6	BSS テレビ	4
		8	山陰中央テレビ	3
	島根	1	日本海テレビ	5
		2	NHK 教育・松江 ※3	2
		3	NHK 総合・松江 ※3	1
		6	BSS テレビ	4
		8	山陰中央テレビ	3
	岡山	1	NHK 総合・岡山 ※3	1
		2	NHK 教育・岡山 ※3	2
		4	RNC 西日本テレビ	3
		5	KSB 瀬戸内海放送	4
		6	RSK テレビ	5
		7	テレビせとうち	6
		8	OHK テレビ	7
	広島	1	NHK 総合・広島	1
		2	NHK 教育・広島	2
		3	RCC テレビ	3
		4	広島テレビ	4
		5	広島ホームテレビ	5
		8	TSS	6
	山口	1	NHK 総合・山口 ※3	1
		2	NHK 教育・山口 ※3	2
		3	tys テレビ山口	4
		4	KRY 山口放送	3
		5	yab 山口朝日	5
四国	徳島	1	四国放送	3
		2	NHK 教育・徳島 ※3	2
		3	NHK 総合・徳島 ※3	1
	香川	1	NHK 総合・高松 ※3	1
		2	NHK 教育・高松 ※3	2
		4	RNC 西日本テレビ	3
		5	KSB 瀬戸内海放送	4
		6	RSK テレビ	5
		7	テレビせとうち	6
		8	OHK テレビ	7
	愛媛	1	NHK 総合・松山	1
		2	NHK 教育・松山	2
		4	南海放送	3
		5	愛媛朝日	4
		6	あいテレビ	5
		8	テレビ愛媛	6
	高知	1	NHK 総合・高知	1
		2	NHK 教育・高知	2
		4	高知放送	3
		6	テレビ高知	4
		8	さんさんテレビ	5
九州・沖縄	福岡	1	KBC 九州朝日放送	3
		2	NHK 教育・福岡 NHK 教育・北九州 ※2	2
		3	NHK 総合・福岡 NHK 総合・北九州 ※2	1
		4	RKB 毎日放送	4
		5	FBS 福岡放送	5
		7	TVQ 九州放送	6
		8	TNC テレビ西日本	7
	佐賀	1	NHK 総合・佐賀 ※3	1
		2	NHK 教育・佐賀 ※3	2
		3	STS サガテレビ	3
	長崎	1	NHK 総合・長崎 ※3	1
		2	NHK 教育・長崎 ※3	2
		3	NBC 長崎放送	3
		4	NIB 長崎国際テレビ	6
		5	NCC 長崎文化放送	5
		8	KTN テレビ長崎	4
	熊本	1	NHK 総合・熊本 ※3	1
		2	NHK 教育・熊本 ※3	2
		3	RKK 熊本放送	3
		4	KKT くまもと県民	5
		5	KAB 熊本朝日放送	6
		8	TKU テレビ熊本	4
	大分	1	NHK 総合	1
		2	NHK 総合・大分 ※3	2
		3	NHK 教育・大分 ※3	3
		4	OBS 大分放送	4
		5	TOS テレビ大分	5
	宮崎	1	NHK 総合・宮崎 ※3	1
		2	NHK 教育・宮崎 ※3	2
		3	UMK テレビ宮崎	4
		6	MRT 宮崎放送	3
	鹿児島	1	MBC 南日本放送	3
		2	NHK 教育・鹿児島 ※3	2
		3	NHK 総合・鹿児島 ※3	1
		4	KYT 鹿児島読売 TV	6
		5	KKB 鹿児島放送	5
		8	KTS 鹿児島テレビ	4
	沖縄	1	NHK 総合・那覇	1
		2	NHK 教育・那覇	2
		3	RBC テレビ	3
		5	QAB 琉球朝日放送	4
		8	沖縄テレビ（OTV）	5

■ 表中の「リモコンボタン※1」の項目について
- 「初期スキャン」や「再スキャン」をしたときに、その放送局がリモコンのどのチャンネルボタンに設定されるかを表します。

■ 表中の「※ 2」が記載されている放送局の放送について
- 「初期スキャン」や「再スキャン」の際に、入力レベルの高いほうの放送がチャンネルボタンに設定されます。（これは、放送の運用規定によるものです）

■ 表中の「※ 3」が記載されている放送局（NHK）の放送について
- 「初期スキャン」や「再スキャン」の際に受信できなかった場合は、受信できた域外（お住まいの地域以外）の NHK 放送がチャンネルボタンに設定されます。（設定される放送は、地域によって決められています）
その後「※ 3」の放送が受信できると、新しい放送に設定が変更されます。（これは、放送の運用規定によるものです）

用語について

● ［☞］は該当の用語を使用している代表的なページです。
● 用語によっては、他の分野で別の意味で使用している場合があります。

■ ABC順

DNSサーバー（48☞）
ドメイン名（×××.co.jpなど）をIPアドレスに置き換える機能を持つサーバーで、本機では自動的に取得されます。自動で取得できない場合は、手動で、プロバイダーからの資料で指定されたDNSアドレスを「プライマリ」に入力します。二つある場合は、もう一方を「セカンダリ」に入力します。
（例：111.112.xxx.xxx）
※ ご契約のプロバイダーによっては、「ネームサーバー」、「DNS1/DNS2サーバー」、「ドメインサーバー」などと呼ばれることがあります。

IPアドレス（48☞）
インターネットに接続する場合に、端末に割り当てられる固有の番号です。形式は、最大3ケタの数字4組を点で区切った形になっています。（例：111.112.xxx.xxx）

MACアドレス（49☞）
イーサネット回線上につながっている機器の識別のために、各機器ごとに割り当てられる固有の番号です。本機の値を確認する必要がある場合は、表示させることができます。

■ アイウエオ順

ア行

アイコン（95☞）
各種情報の機能などを、簡単な図・マークなどで表示したものです。

カ行

ご案内チャンネル（89☞）
放送についての説明や、契約のしかたなどを説明しているチャンネルのことです。未契約の有料放送チャンネルを選局した場合には、このご案内チャンネルを簡単な操作で見ることができます。

サ行

サブネットマスク（48☞）
ネットワークを区切るために、端末に割り当てられるIPアドレスの範囲を限定するためのものです。
（例：255.255.xxx.xxx）

タ行

ダウンロード（93☞）
放送波やインターネットを使って、ソフトウェアなどを端末に転送することです。

ナ行

（放送の）ネットワーク（73☞「番組情報の取得」）
デジタル放送の放送の単位。チャンネルや番組についての情報は、このネットワークごとに送られてきます。

ハ行

プロキシ（49☞）
ご契約のプロバイダーから指定があるときだけ設定してください。
（例：proxy.xxx.xxx.xxx）
この設定をすると、HTTPプロキシサーバーからファイアウォール（外部からの不正侵入防護壁）を越えて通信先のブラウザにデータを高速で送ることができます。

ラ行

ルート証明書（62☞）
サーバーを認証する第三者機関（認証局）を証明するものです。この証明書をもとにして、「サーバ証明書」のデジタル署名を検証し、「サーバ証明書」が信頼できることを確認します。

ソフトウェアのライセンス情報

日立液晶テレビ L32-C05 ソフトウェアのライセンス情報

日立液晶テレビに組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに第三者の著作権が存在します。

日立液晶テレビは、第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメントあるいは著作権通知（以下、「EULA」といいます）に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするよう求めているものがあります。当該「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関するお問い合わせは、以下のホームページをご覧いただくようお願いいたします。

ホームページアドレス　　http://av.hitachi.co.jp/tv/support/reference.html

また、日立液晶テレビのソフトウェアコンポーネントには、第３者が自ら開発もしくは作成したソフトウェアも含まれており、これらソフトウェア及びそれに付帯したドキュメント類には、第３者の所有権が存在し、著作権法、国際条約条項及び他の準拠法によって保護されています。「EULA」の適用を受けない第３者が自ら開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネンツは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

ご購入いただいた日立液晶テレビは、製品として、弊社所定の保証をいたします。ただし、「EULA」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントには、著作権者または弊社を含む第三者の保証がないことを前提に、お客様がご自身でご利用になられることが認められるものがあります。この場合、当該ソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は一切ありません。著作権やその他の第三者の権利等については、一切の保証がなく、“as is”（現状）の状態で、かつ、明示か黙示であるかを問わず一切の保証をつけないで、当該ソフトウェアコンポーネントが提供されます。ここでいう保証とは、市場性や特定目的適合性についての黙示の保証も含まれますが、それに限定されるものではありません。当該ソフトウェアコンポーネントの品質や性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとします。また、当該ソフトウェアコンポーネントに欠陥があるとわかった場合、それに伴う一切の派生費用や修理・訂正に要する費用は、日立は一切の責任を負いません。適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。著作権者や第三者が、そのような損害の発生する可能性について知らされていた場合でも同様です。なお、ここでいう損害には、通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます（データの消失、又はその正確さの喪失、お客様や第三者が被った損失、他のソフトウェアとのインタフェースの不適合化等も含まれますが、これに限定されるものではありません）。当該ソフトウェアコンポーネンツの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「EULA」をお読みください。

日立液晶テレビに組み込まれた「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントは、以下のとおりです。これらソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用いただく場合は、対応する「EULA」をよく読んでから、ご利用くださるようお願いいたします。なお、各「EULA」は日立以外の第三者による規定であるため、原文（英文）を記載します。

日立液晶テレビで使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント　原文（英文）。

対応ソフトウェアモジュール	関連ソフトウェア使用許諾契約書
Linux Kernel Busybox	Exhibit A
Glibc Gcc	Exhibit B
Malloc	Exhibit C
YAMON	YAMON

ソフトウェアのライセンス情報 つづき

Exhibit A- 日立液晶テレビ L32-C05 フリーソフトウェアモジュールに関するソフトウェア使用許諾契約書原文 (英文)

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software – to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modifi ed by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not refl ect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifi cations and/ or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modifi cation".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modifi cation are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; Keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifi cations or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified fi les to carry prominent notices stating that you changed the fi les and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part there of, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifi able sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, does not apply to those sections when you distribute them as separate works. Butwhen you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any thirdparty, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete

machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange;or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifi cations to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface defi nition fi les, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program. If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/ donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/ or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifi es a version number of this License which applies to it and “any later version”, you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program doesnot specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/ OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source fi le to most effectively convey the exclusion of warranty; and each fi le should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

ソフトウェアのライセンス情報 つづき

<One line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright © 19yy <name of author>
This program is free software; you can redistribute it and/ or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.
This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.
You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright c 19yy name of author
Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouseclicks or menu items – whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a “copyright disclaimer” for the program; if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.
<signature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program. You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

Exhibit B- 日立液晶テレビ L32-C05 フリーソフトウェアモジュールに関するソフトウェア使用許諾契約書原文 (英文)

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1, February 1999

Copyright © 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc. 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the fi rst released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software – to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages – typically libraries – of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you fi rst think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object fi les to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/ or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author’s reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specifi ed in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General PublicLicense. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fi ts its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the “Lesser” General Public License because it does Less to protect the user’s freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing nonfree programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in nonfree programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/ Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users’ freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modifi ed version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a “work based on the library” and a “work that uses the library”. The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called “this License”). Each licensee is addressed as “you”.

A “library” means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The “Library”, below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A “work based on the Library” means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifi cations and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term “modifi cation”.)

“Source code” for a work means the preferred form of the work for making modifi cations to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface defi nition fi les, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modifi cation are not covered by thisLicense; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library’s complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifi cations or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) The modifi ed work must itself be a software library.

b) You must cause the fi les modifi ed to carry prominent notices stating that you changed the fi les and the date of any change.

c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

d) If a facility in the modifi ed Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modifi ed work as a whole. If identifi able sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

ソフトウェアのライセンス情報 つづき

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections

1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machinereadable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfi es the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables..

When a "work that uses the Library" uses material from a header fi le that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially signifi cant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defi ned by law.

If such an object fi le uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object fi le is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifi cations.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/ or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modifi ed executable containing the modifi ed Library. (It is understood that the user who changes the contents of defi nitions fi les in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modifi ed defi nitions.)

b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modifi ed version of the library, if the user installs one, as long as the modifi ed version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specifi ed in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specifi ed materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library sideby- side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library", the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they

do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder whoplaces the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/ or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifi es a version number of this License which applies to it and “any later version”, you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/ OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY “AS IS” WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/ OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source fi le to most effectively convey the exclusion of warranty; and each fi le should have at least the “copyright” line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library’s name and a brief idea of what it does.>

Copyright © <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under□the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a “copyright disclaimer” for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names: Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob’ (a library for tweaking knobs) written by James andom Hacker.

<signature of Ty Coon>,1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That’s all there is to it!

ソフトウェアのライセンス情報 つづき

Exhibit C- 日立液晶テレビ L32-C05 フリーソフトウェアモジュールに関するソフトウェア使用許諾契約書原文 (英文)

This is a version (aka dlmalloc) of malloc/free/realloc written by Doug Lea and released to the public domain. Use, modify, and redistribute this code without permission or acknowledgement in any way you wish. Send questions, comments, complaints, performance data, etc to dl@cs.oswego.edu

VERSION 2.7.2 Sat Aug 17 09:07:30 2002 Doug Lea (dl at gee)
Note: There may be an updated version of this malloc obtainable at
ftp://gee.cs.oswego.edu/pub/misc/malloc.c
Check before installing!

YAMON - 日立液晶テレビ L32-C05 フリーソフトウェアモジュールに関するソフトウェア使用許諾契約書原文 (英文)

IMPORTANT- This Agreement legally binds you (either an individual or an entity), the end user ("Licensee"), and MIPS Technologies, Inc. ("MIPS") whose street address and fax information is 1225 Charleston Road, Mountain View, California 94043, Fax Number (650) 567-5154.

1. DEFINITIONS-The following definitions apply to this Agreement:

"Authorized Product" shall mean a product developed by MIPS or under a license that was granted by MIPS.

"Documentation" shall mean documents (including any updates provided or made available by MIPS solely at its discretion), and any information, whether in written, magnetic media, electronic or other format, provided to Licensee describing the Software, its operation and matters relating to its use.

"GPL Materials" shall mean any source or object code provided by MIPS to Licensee under the terms of the GNU General Public License, Version 2, June 1991 or later ("GNU GPL").

"IP Rights" shall mean intellectual property rights including, but not limited to, patent, copyright, trade secret and mask work rights.

"Licensee Code Modifications" shall mean any modifications to YAMON Code and/or other code provided to Licensee by MIPS, made by or on behalf of Licensee.

"MIPS Code Modifications" shall mean modifications to YAMON Code and/or other code provided to Licensee by MIPS or any third party licensed by MIPS, wherein such third party grants back to MIPS a license under such code modifications with the rights to sublicense and grant further sublicenses.

"MIPS Deliverables" shall mean the Software, Documentation and any other information or materials provided by MIPS to Licensee pursuant to this Agreement except for GPL Materials.

"Software" shall mean software containing YAMON Code, any other source and/or object code provided by MIPS at its sole discretion, and any Documentation contained in such software at MIPS' sole discretion.

"YAMON Code" shall mean source and/or object code for the YAMON monitor software, Ver. 1.01, or later (including any updates provided or made available by MIPS solely at its discretion).

2. MIPS LICENSE GRANTS

(a) Subject to Licensee's compliance with the terms and conditions of this Agreement and payment of any fees owed to MIPS, MIPS grants to Licensee a non-exclusive, worldwide, non-transferable, royalty-free, fully-paid limited right and license to:

(i) use the MIPS Deliverables at Licensee's facilities solely for Licensee's internal evaluation and development purposes (and to use, copy and reproduce and have reproduced Documentation solely to facilitate those uses of MIPS Deliverables that are allowed hereunder), and to sublicense Licensee's rights granted in this Subsection 2(a)(i) to Licensee's consultants for their use of the MIPS Deliverables at their facilities for their internal evaluation and development purposes;

(ii) make, use, import, copy, reproduce, have reproduced, modify, create derivative works from YAMON Code only in conjunction with making, using, importing, offering for sale and selling or otherwise distributing Authorized Product and only for use exclusively with such Authorized Product, and to sublicense its rights granted in this Subsection 2(a)(ii), including the right to grant further sublicenses, provided that with respect to any sublicensee, (A) any IP Rights arising in any modification or derivative work created by such sublicensee shall be licensed back to MIPS together with the right by MIPS to sublicense such rights and grant further sublicenses, and (B) the obligations of Subsection 2(c) below shall apply equally to any YAMON Code modified and/or sublicensed by such sublicensee. These obligations shall be deemed to have been satisfied by Licensee's delivery of a copy of this Agreement to its sublicensee(s).

(b) MIPS further grants to Licensee a non-exclusive, worldwide, non-transferable, royalty-free, fully-paid limited right and license under MIPS' IP Rights in any MIPS Code Modifications in existence now or at any time during the term of this Agreement (including those IP Rights assigned to MIPS or licensed to MIPS with sufficient sublicensing rights to satisfy the license grant in this Subsection 2(b)) to the limited extent that Licensee may make, use and import such MIPS Code Modifications only in conjunction with making, using, importing, offering for sale and selling or otherwise distributing Authorized Product and only for use exclusively with such Authorized Product, and sublicense its rights granted in this Subsection 2(b), including the right to grant further sublicenses under the preconditions set forth in Subsection 2(a)(ii) above. Licensee acknowledges and agrees that MIPS (or any third party) is under no obligation to deliver MIPS Code Modifications; rather, this license right is intended solely to provide a freedom to use such modifications when created independently by Licensee or any sublicensee thereof.

(c) Any YAMON Code modified and/or sublicensed pursuant to this Agreement must (i) contain all copyright and other notices contained in the original YAMON Code provided by MIPS to Licensee, (ii) cause modified files to carry prominent notices stating that Licensee (or any sublicensee) changed the files and the date of any change, and (iii) be sublicensed under terms that disclaim all warranties from MIPS and limit all liability of MIPS pursuant to Sections 8, 9, 11 and 12 herein.

(d) All other rights to the MIPS Deliverables not stated in this Section 2 are reserved to MIPS. Except as set out in this Section 2, Licensee shall not rent, lease, sell, sublicense, assign, loan, or otherwise transfer or convey the MIPS Deliverables to any third party. These license grants are effective as of the Effective Date. No license is granted for any other purpose.

(e) To the extent MIPS provides any GPL Materials to Licensee, use of such materials shall, notwithstanding any provision of this Agreement to the contrary, be governed by the GNU GPL.

3. LICENSEE CODE MODIFICATIONS

In partial consideration for the rights and licenses granted under Section 2 herein, Licensee agrees to grant and does hereby grant to MIPS a perpetual, irrevocable, non-exclusive worldwide, royalty-free, fully-paid limited right and license under Licensee's IP Rights in any Licensee Code Modifications (including those IP Rights assigned to Licensee or licensed to Licensee with sufficient sublicensing right to satisfy the license grant in this Section 3) to the extent that MIPS may make, use and import such Licensee Code Modifications only in conjunction with

making, using, importing, offering for sale and selling or otherwise distributing Authorized Product and only for use exclusively with such Authorized Product, and sublicense its rights granted in this Section 3, including the right to grant further sublicenses. MIPS acknowledges and agrees that Licensee (or any third party) is under no obligation to deliver Licensee Code Modifications; rather, this license right is intended solely to provide a freedom to use such modifications when created independently by MIPS or any sublicensee thereof.

4. OWNERSHIP AND PREVENTION OF MISUSE OF MIPS DELIVERABLES

(a) This Agreement does not confer any rights of ownership in or to the MIPS Deliverables to Licensee; Licensee does not acquire any rights, express or implied, in the MIPS Deliverables other than those specified in Section 2 above. Licensee agrees that all title and IP Rights in the MIPS Deliverables remain in MIPS (subject only, if and to the extent applicable, to the rights of a MIPS supplier with respect to a particular MIPS Deliverable(s)). Licensee agrees that it shall take all reasonable steps to prevent unauthorized copying of the MIPS Deliverables.

(b) MIPS owns all right, title and interest in the YAMON Code and other MIPS Deliverables (subject only, if and to the extent applicable, to the rights of a MIPS supplier with respect to a particular MIPS Deliverable(s)). Licensee shall own all right, title and interest in the modifications and derivative works of the YAMON Code created by Licensee, subject to MIPS' rights in the underlying original YAMON Code as provided under this Agreement.

(c) Licensee agrees to provide reasonable feedback to MIPS including, but not limited to, usability of the MIPS Deliverables. All feedback made by Licensee shall be the property of MIPS and may be used by MIPS for any purpose.

(d) Licensee shall make all reasonable efforts to discontinue distribution, copying and use of any MIPS Deliverables that are replaced by a new, upgraded or updated version of any such MIPS Deliverables, including distribution to any sublicensee of such new, upgraded or updated versions.

(e) Licensee shall not make any statement of any kind or in any format, that any MIPS Deliverable is certified, or that its performance in connection with any product is warranted, indemnified or guaranteed in any way by MIPS or any party on MIPS' behalf. (f) Neither YAMON, MIPS nor any other trademark owned or licensed in by MIPS may be used by Licensee, any sublicensee thereof or any party on their behalf without prior written consent by MIPS, including at MIPS' sole discretion a trademark license agreement preapproved by MIPS.

5. ASSIGNMENT

Licensee may not assign or otherwise transfer any of its rights or obligations under this Agreement to any third party without MIPS' prior written consent, and any attempt to do so will be null and void. This prohibition against Licensee's assignment shall apply even in the event of merger, re-organization, or when a third party purchases all or substantially all of Licensee's assets. Subject to the foregoing, this Agreement will be binding upon and will inure to the benefit of the parties and their respective permitted successors and assigns.

6. LIMITATIONS OF MIPS' SUPPORT-RELATED OBLIGATIONS

This Agreement does not entitle Licensee to hard-copy documentation or to support, training or maintenance of any kind from MIPS, including documentary, technical, or telephone assistance.

7. TERM AND TERMINATION

(a) This Agreement shall commence on the Effective Date. If Licensee fails to perform or violates any obligation under this Agreement, then upon thirty (30) days written notice to Licensee specifying such default (the "Default Notice"), MIPS may terminate this Agreement without liability, unless the breach specified in the Default Notice has been cured within the thirty (30) day period. This 30-day period may be extended upon mutual, written consent between the parties.

(b) Upon the termination of this Agreement due to Licensee's material breach hereof, Licensee shall (1) immediately discontinue use of the MIPS Deliverables, (2) promptly return all MIPS Deliverables to MIPS, (3) destroy all copies of MIPS Deliverables made by Licensee, and (4) destroy all copies of derivative works of MIPS Deliverables made by Licensee while in breach of this Agreement. All licenses granted hereunder shall terminate as of the effective date of termination.

(c) The rights and obligations under this Agreement which by their nature should survive termination, including but not limited to Sections 3 - 16, will remain in effect after expiration or termination hereof. Subject to Licensee's compliance with the surviving sections of this Agreement identified herein, any sublicenses rightfully granted and derivative works rightfully developed pursuant to Section 2 shall survive the termination of this Agreement.

8. DISCLAIMER OF WARRANTIES

THE MIPS DELIVERABLES ARE PROVIDED "AS IS". MIPS MAKES NO WARRANTIES WITH REGARD TO ANY OF THE MIPS DELIVERABLES, AND EXPRESSLY DISCLAIMS ALL WARRANTIES, WHETHER EXPRESS, IMPLIED, STATUTORY OR OTHERWISE, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF TITLE, MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS.

9. LIMITATION OF LIABILITY AND REMEDY

(a) Licensee acknowledges the MIPS Deliverables are provided to Licensee only for the purpose set forth in Section 2. Licensee shall hold harmless and indemnify MIPS from any and all actual or threatened liabilities, claims or defenses based on the sublicensing, use, copying, installation, demonstration and/or modification of any of the MIPS Deliverables by Licensee, any sublicensee of Licensee or any party on their behalf. Licensee shall have sole responsibility for adequate protection and backup of any data and/or equipment used with the MIPS Deliverables, and Licensee shall hold harmless and indemnify MIPS from any and all actual or threatened liabilities, claims and defenses for lost data, re-run time, inaccurate output, work delays or lost profits resulting from use and/or modification of the MIPS Deliverables, or any portion thereof, under this Agreement. Licensee expressly acknowledges and agrees that any research or development performed with respect to the MIPS Deliverables is done entirely at Licensee's own risk.

(b) NEITHER PARTY SHALL BE LIABLE TO THE OTHER PARTY OR TO ANY THIRD PARTY FOR ANY DAMAGES INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, PUNITIVE, INDIRECT, EXEMPLARY OR INCIDENTAL DAMAGES, WHETHER SUCH DAMAGES ARISE UNDER A TORT, CONTRACT OR OTHER CLAIM, OR DAMAGES TO SYSTEMS, DATA OR SOFTWARE, EVEN IF SUCH PARTY HAS BEEN INFORMED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. THIS LIMITATION ON LIABILITY SHALL SURVIVE EVEN IF THE LIMITED REMEDY PROVIDED HEREIN FAILS OF ITS ESSENTIAL PURPOSE. IN NO CASE WILL MIPS' LIABILITY FOR DAMAGES UNDER THIS AGREEMENT EXCEED THE AMOUNTS RECEIVED BY MIPS AS FEES UNDER THIS AGREEMENT.

10. WAIVER; MODIFICATION

Any waiver of any right or default hereunder will be effective only in the instance given and will not operate as or imply a waiver of any

other or similar right or default on any subsequent occasion. No waiver or modification of this Agreement or of any provision hereof will be effective unless in writing and signed by the party against whom such waiver or modification is sought to be enforced.

11. HAZARDOUS APPLICATIONS

The MIPS Deliverables are not intended for use in any nuclear, aviation, mass transit, medical, or other inherently dangerous application. MIPS EXPRESSLY DISCLAIM ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY OF FITNESS FOR SUCH USE. LICENSEE REPRESENTS AND WARRANTS THAT IT WILL NOT USE THE MIPS DELIVERABLES FOR SUCH PURPOSES.

12. SEVERABILITY

In the event any provision of this Agreement (or portion thereof) is determined to be invalid, illegal or otherwise unenforceable, then such provision will, to the extent permitted, not be voided but will instead be construed to give effect to its intent to the maximum extent permissible under applicable law and the remainder of this Agreement will remain in full force and effect according to its terms. IN THE EVENT THAT ANY REMEDY HEREUNDER IS DETERMINED TO HAVE FAILED OF ITS ESSENTIAL PURPOSE, ALL LIMITATIONS OF LIABILITY AND EXCLUSIONS OF DAMAGES SHALL REMAIN IN EFFECT.

13. RIGHTS IN DATA

Licensee acknowledges that all software and software related items licensed by MIPS to Licensee pursuant to this Agreement are "Commercial Computer Software" or "Commercial Computer Software Documentation" as defined in FAR 12.212 for civilian agencies and DFARS 227.7202 for military agencies, and that in the event that Licensee is permitted under this Agreement to provide such items to the U.S. government, such items shall be provided under terms at least as restrictive as the terms of this Agreement.

14. MISCELLANEOUS

(a) The MIPS Deliverables and GPL Materials may be subject to U.S. export or import control laws and export or import regulations of other countries. Licensee agrees to comply strictly with all such laws and regulations and acknowledges that it has the responsibility to obtain such licenses to export, re-export, or import as may be required after delivery to Licensee. Licensee shall indemnify, defend and hold MIPS harmless from any damages, fees, costs, fines, expenses, charges and any actual or threatened civil and/or criminal claims or defenses arising from any failure of Licensee and/ or its customers to comply with any obligations arising under this Section 14(a).

(b) Any notice required or permitted by this Agreement must be in writing and must be sent by email, by facsimile, by recognized commercial overnight courier, or mailed by United States registered mail, effective only upon receipt, to the legal departments of MIPS or Licensee (if Licensee has no legal department, then to an officer of Licensee, a contact person specified by Licensee or Licensee's place of business).

(c) The headings contained herein are for the convenience of reference only and are not intended to define, limit, expand or describe the scope or intent of any clause or provision of this Agreement.

(d) The parties hereto are independent contractors, and nothing herein shall be construed to create an agency, joint venture, partnership or other form of business association between the parties hereto.

(e) Licensee acknowledges that, in providing Licensee with the MIPS Deliverables, MIPS has relied upon Licensee's agreement to be bound by the terms of this Agreement. Licensee further acknowledges that it has read, understood, and agreed to be bound by the terms of this Agreement, and hereby reaffirms its acceptance of those terms.

15. GOVERNING LAW AND JURISDICTION

This Agreement shall be governed by the laws of the State of California, excluding California's choice of law rules. With the exception of MIPS' rights to enforce its intellectual property rights in the MIPS Deliverables, all disputes arising out of this Agreement shall be subject to the exclusive jurisdiction and venue of the state and federal courts located in Santa Clara County, California, and the parties consent to the personal and exclusive jurisdiction and venue of these courts. The parties expressly disclaim the application of the United Nations Convention on the International Sale of Goods to this Agreement.

16. ENTIRE AGREEMENT

This Agreement and the GNU GPL constitute the entire agreement between MIPS and Licensee regarding the MIPS Deliverables and GPL Materials provided to Licensee hereunder, and shall supersede and control over any other prior or contemporaneous shrinkwrap and/or clickwrap agreements regarding the same. Any additions or modifications must be made in a subsequent, written agreement signed by both parties.

オープンソース・ソフトウェア

【オープンソース・ソフトウェアの使用条件が記載された URL】

(a)ijgjpeg	http://www.ijg.org/
(b)zlib	http://www.zlib.net/zlib_license.html
(c)libpng	http://www.libpng.org/pub/png/src/libpng-LICENSE.txt

【本契約締結時点のでオープンソース・ソフトウェアの使用条件】

<Image Decoder Modules>
(a) ijgjpeg
(b) zlib
(c) libpng

(a) ijgjpeg

ijgjpeg License Terms

The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided "AS IS", and you, its user, assume the entire risk as to its quality and accuracy.
This software is copyright (C) 1991-1998, Thomas G. Lane.
All Rights Reserved except as specified below.
Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software (or portions thereof) for any purpose, without fee, subject to these conditions:

(1) If any part of the source code for this software is distributed, then this README file must be included, with this copyright and no-warranty notice unaltered; and any additions, deletions, or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation.

(2) If only executable code is distributed, then the accompanying documentation must state that "this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group".

(3) Permission for use of this software is granted only if the user accepts full responsibility for any undesirable consequences; the authors accept NO LIABILITY for damages of any kind.

These conditions apply to any software derived from or based on the IJG code, not just to the unmodified library. If you use our work, you ought to acknowledge us.

Permission is NOT granted for the use of any IJG author's name or company name in advertising or publicity relating to this software or products derived from it. This software may be referred to only as "the Independent JPEG Group's software".

We specifically permit and encourage the use of this software as the basis of commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor.

ansi2knr.c is included in this distribution by permission of L. Peter Deutsch, sole proprietor of its copyright holder, Aladdin Enterprises of Menlo Park, CA. ansi2knr.c is NOT covered by the above copyright and conditions, but instead by the usual distribution terms of the Free Software Foundation; principally, that you must include source code if you redistribute it. (See the file ansi2knr.c for full details.) However, since ansi2knr.c is not needed as part of any program generated from the IJG code, this does not limit you more than the foregoing paragraphs do.

The Unix configuration script "configure" was produced with GNU Autoconf. It is copyright by the Free Software Foundation but is freely distributable. The same holds for its supporting scripts (config.guess, config.sub, ltconfig, ltmain.sh). Another support script, install-sh, is copyright by M.I.T. but is also freely distributable.

It appears that the arithmetic coding option of the JPEG spec is covered by patents owned by IBM, AT&T, and Mitsubishi. Hence arithmetic coding cannot legally be used without obtaining one or more licenses. For this reason, support for arithmetic coding has been removed from the free JPEG software. (Since arithmetic coding provides only a marginal gain over the unpatented Huffman mode, it is unlikely that very many implementations will support it.)

So far as we are aware, there are no patent restrictions on the remaining code.

The IJG distribution formerly included code to read and write GIF files.

To avoid entanglement with the Unisys LZW patent, GIF reading support has been removed altogether, and the GIF writer has been simplified to produce "uncompressed GIFs". This technique does not use the LZW algorithm; the resulting GIF files are larger than usual, but are readable by all standard GIF decoders.

We are required to state that

"The Graphics Interchange Format(c) is the Copyright property ofCompuServe Incorporated. GIF(sm) is a Service Mark property ofCompuServe Incorporated."

(b) zlib

zlib License Terms

/* zlib.h -- interface of the 'zlib' general purpose compression library version 1.2.3, July 18th, 2005

Copyright (C) 1995-2005 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.

2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.

3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly jloup@gzip.org

Mark Adler madler@alumni.caltech.edu

*/

(c)libpng

COPYRIGHT NOTICE, DISCLAIMER, and LICENSE:

If you modify libpng you may insert additional notices immediately following this sentence.

libpng versions 1.2.6, August 15, 2004, through 1.2.18, May

15, 2007, are Copyright (c) 2004, 2006-2007 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.2.5 with the following individual added to the list of Contributing Authors

Cosmin Truta

libpng versions 1.0.7, July 1, 2000, through 1.2.5 - October 3, 2002, are Copyright (c) 2000-2002 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.0.6 with the following individuals added to the list of Contributing Authors

Simon-Pierre Cadieux
Eric S. Raymond
Gilles Vollant

and with the following additions to the disclaimer:

There is no warranty against interference with your enjoyment of the library or against infringement. There is no warranty that our efforts or the library will fulfill any of your particular purposes or needs. This library is provided with all faults, and the entire risk of satisfactory quality, performance, accuracy, and effort is with the user.

libpng versions 0.97, January 1998, through 1.0.6, March 20, 2000, are Copyright (c) 1998, 1999 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.96, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

Tom Lane
Glenn Randers-Pehrson
Willem van Schaik

libpng versions 0.89, June 1996, through 0.96, May 1997, are Copyright (c) 1996, 1997 Andreas Dilger Distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.88, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

John Bowler
Kevin Bracey
Sam Bushell
Magnus Holmgren
Greg Roelofs
Tom Tanner

libpng versions 0.5, May 1995, through 0.88, January 1996, are Copyright (c) 1995, 1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

For the purposes of this copyright and license, "Contributing Authors" is defined as the following set of individuals:

Andreas Dilger
Dave Martindale
Guy Eric Schalnat
Paul Schmidt
Tim Wegner

The PNG Reference Library is supplied "AS IS". The Contributing Authors and Group 42, Inc. disclaim all warranties, expressed or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability and of fitness for any purpose. The Contributing Authors and Group 42, Inc.

assume no liability for direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, which may result from the use of the PNG Reference Library, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this source code or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

1. The origin of this source code must not be misrepresented.

2. Altered versions must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source.

3. This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

The Contributing Authors and Group 42, Inc. specifically permit, without fee, and encourage the use of this source code as a component to supporting the PNG file format in commercial products. If you use this source code in a product, acknowledgment is not required but would be appreciated.

A "png_get_copyright" function is available, for convenient use in "about" boxes and the like:

```
printf("%s",png_get_copyright(NULL));
```

Also, the PNG logo (in PNG format, of course) is supplied in the files "pngbar.png" and "pngbar.jpg (88x31) and "pngnow.png" (98x31).

Libpng is OSI Certified Open Source Software. OSI Certified Open Source is a certification mark of the Open Source Initiative.

Glenn Randers-Pehrson
glennrp at users.sourceforge.net
May 15, 2007

● B-CAS カードに登録されている番号をテレビ画面で確認することができます。

1 ◯メニュー **を押す**

2 **▲·▼ で「各種設定」を選び、決定 を押す**

3 **▲·▼ で「初期設定」を選び、決定 を押す**

4 **▲·▼ で「B-CAS カード番号表示」を選び、決定 を押す**

● テレビ画面に B-CAS カードの情報が表示されます。

B-CAS カード ID 番号記入欄

● 下欄に B-CAS カードの ID 番号をご記入ください。お問い合わせの際に役立ちます。

保証とアフターサービス（必ずご覧ください。）

修理を依頼されるときは
(出張修理)

84 ～ 90 ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証書（別添）
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。

保証期間……お買い上げの日から１年です。

補修用性能部品の保有期間
テレビの補修用性能部品の保有期間は、製造打切後８年です。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は
修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りの「ご相談窓口」にお問い合わせください。

部品について 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。修理のために交換した部品は回収させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	日立液晶テレビ
形　名	本　体 ：L32-C05
リモコンの形名	C-RV1
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご 住 所	付近の目印なども 合わせてお知らせください。
お 名 前	
電話番号	
訪問ご希望日	

保証期間中は
修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

技術料　故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費などが含まれています。

＋

部品代　修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。

＋

出張料　製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ご購入店名、ご購入日を記入しておいてください。サービスを依頼されるときに便利です。

ご購入店名	ご購入年月日
電話（　　　）	年　月　日

長年ご使用のテレビの点検をぜひ！

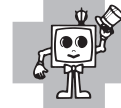
熱、湿気、ほこりなどの影響や、使用度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全を損なって事故につながることもあります。

愛情点検

このような症状はありませんか
- ●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- ●上下、または左右の映像が欠けて映る。
- ●映像が時々、消えることがある。
- ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- ●内部に水や異物が入った。

ご使用中止
故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずし必ず販売店にご相談ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

資料

お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

ホームページに「よくあるご質問」について掲載しておりますので、ご活用ください。
http://kadenfan.hitachi.co.jp/q_a/index.html

修理などアフターサービスに関するご相談は
エコーセンターへ
TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87
（受付時間）
9：00 ～ 19：00（365 日）
携帯電話、PHS からもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
お客様相談センターへ
TEL 0120-3121-11
FAX 0120-3121-34
（受付時間）9：00 ～ 17：30（月～土）、9：00 ～ 17：00（日、祝日）
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHS からもご利用できます。

保証期間中は	修理に際しましては、保証書をご提示ください。 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
保証期間が過ぎているときは	修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。
保証期間	お買い上げ日から 1 年です。

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記エコーセンターまたはお客様相談センターにて、各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- 本窓口等で取得致しましたお客様の個人情報は、お客様のご相談及びサポート等への対応を目的として利用し、適切に管理します。
- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確に回答するために通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、弊社のグループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

※弊社の「個人情報保護に関して」は、下記をご参照ください。

http://www.hitachi-ce.co.jp/privacy/index.html

廃棄時にご注意ください。
家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ（ブラウン管式、液晶式、プラズマ式）を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

ユーザー登録のお願い

バージョンアップや今後のサービスなど、お客様に大切なご案内をさせていただく場合がございますので、ユーザー登録にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。
お手数ですが、ご登録は下記 URL よりお願い致します。

http://av.hitachi.co.jp/entry/01.html

修理などアフターサービスに関するご相談は
エコーセンターへ
TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87
（受付時間）
9：00 ～ 19：00（365 日）
携帯電話、PHS からもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
お客様相談センターへ
TEL 0120-3121-11
FAX 0120-3121-34
（受付時間）9:00 ～ 17:30（月～土）、9:00 ～ 17:00（日、祝日）
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHS からもご利用できます。

修理などアフターサービスに関するご相談の前に、「困ったときは」84 ～ 90 をご覧ください。

● 本窓口等で取得致しましたお客様の個人情報は、お客様のご相談及びサポート等への対応を目的として利用し、適切に管理します。
● お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確に回答するために通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
● ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、弊社のグループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供し対応させていただくことがあります。

※弊社の「個人情報保護に関して」は、下記をご参照ください。
http://www.hitachi-ce.co.jp/privacy/index.html

PRINTED WITH SOY INK

● この印刷物は環境に配慮した植物性 大豆油インキを使用しています。
● この印刷物は再生紙を使用しています。

日立コンシューマエレクトロニクス株式会社
〒 100-0004　東京都千代田区大手町二丁目 2 番 1 号 新大手町ビル

Printed in China

HDJ88W3202I
TE07201Ⓐ